

タジキスタン共和国
アフガニスタン・タジキスタン国境
バダフシャー地域における
農村開発プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 26 年 8 月
(2014年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

農 村
J R
14-086

タジキスタン共和国
アフガニスタン・タジキスタン国境
バダフシャー地域における
農村開発プロジェクト
中間レビュー調査報告書

平成 26 年 8 月
(2014年)

独立行政法人国際協力機構
農村開発部

序 文

日本国政府は、タジキスタン共和国からの要請に基づき、同国のバダフシャーン地域を対象に「アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャーン地域における農村開発プロジェクト」を実施することを決定し、2012（平成 24）年 2 月 1 日に討議議事録(R/D)の署名を行い、3 年間のプロジェクトとして実施しています。

今般、中間レビュー調査団を派遣し、タジキスタン共和国政府及び関係機関との間で、プロジェクトの進捗の確認と今後の方向性に係る協議を行いました。本報告書は、同調査団による協議結果、評価結果を取りまとめたもので、当プロジェクト及び類似プロジェクトの実施にあたり広く活用されることを願います。

終わりに、本調査に対しご協力とご支援を頂いた内外関係者の皆様に、心からの感謝の意を表します。

平成 26 年 8 月

独立行政法人国際協力機構
農村開発部長 北中 真人

目 次

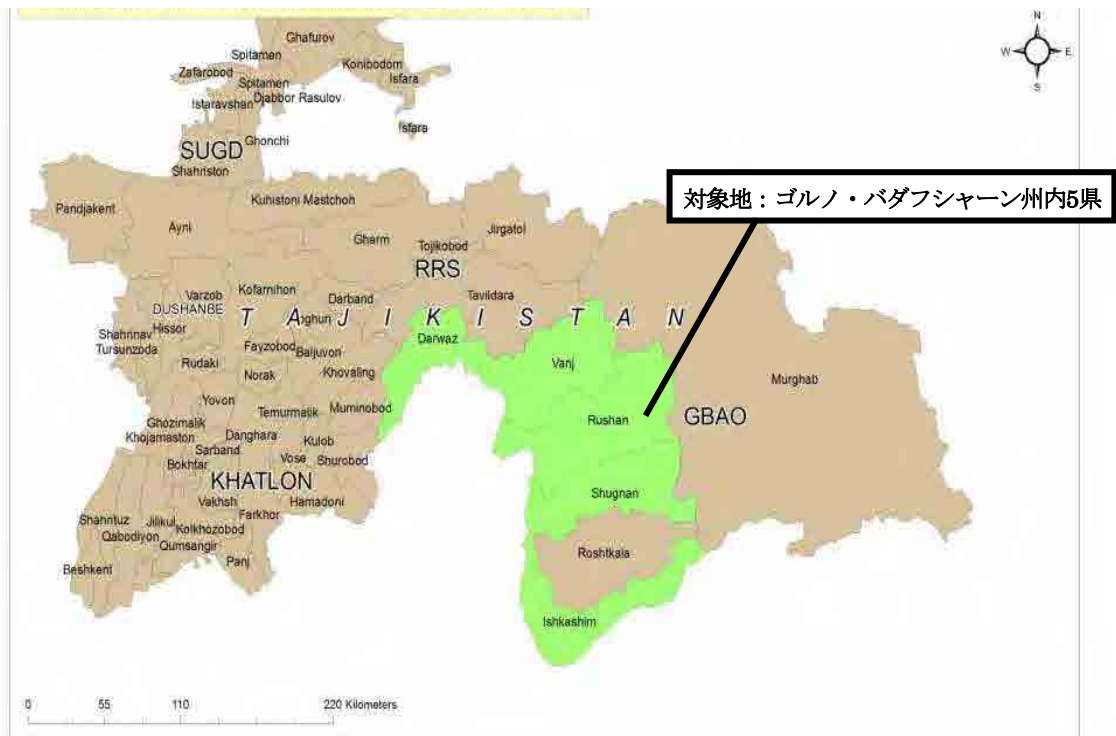
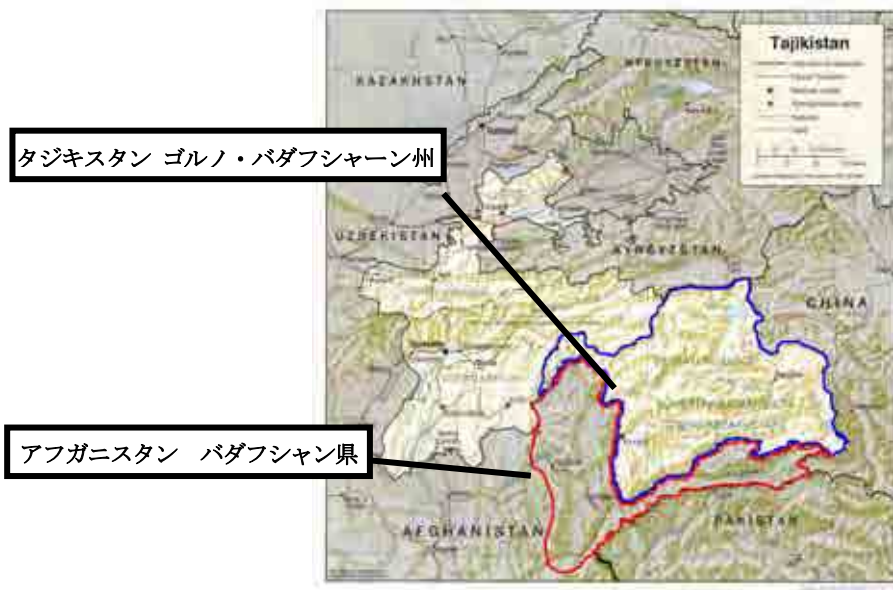
序 文
目 次
地 図
写 真
略語表

評価調査結果要約表

第1章 中間レビューの概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成と日程	2
1-3 対象プロジェクトの概要	2
第2章 中間レビューの方法	4
2-1 評価の枠組み	4
2-2 主な調査項目とデータ収集方法	4
2-2-1 主な調査項目	4
2-2-2 データ収集・分析方法	6
第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス	8
3-1 投入実績	8
3-1-1 日本側投入実績	8
3-1-2 タジキスタン側投入	9
3-2 成果の達成状況	9
3-2-1 成果1	9
3-2-2 成果2	13
3-2-3 成果3	16
3-3 プロジェクト目標の達成見込み	19
3-4 実施プロセス	20
第4章 評価結果	22
4-1 評価5項目による評価結果	22
4-1-1 妥当性：高い	22
4-1-2 有効性：比較的高い	22
4-1-3 効率性：高い	24
4-1-4 インパクト：高い	24
4-1-5 持続性：中程度	25
4-2 結 論	26
第5章 提 言	27

第6章 教訓	29
第7章 団長所感	31
付属資料	
1. 調査日程	35
2. 実施体制図	36
3. Mid-term Review Report and Annexes	37
4. サブプロジェクト44件概要 (Subproject Profile)	83
5. 面談者リスト	105

地 図



写



シュグナン県Barsem村 修復済の車道橋 (全長35m)

真



シュグナン県Spinz村 新設道路 (全長2km)



シュグナン県Sokcharve村飲料水設備



Sokcharve村住民への聞き取り



シュグナン県Vozom村メディカルポイント建設現場
(3診療室)



Vozm村Village Doctorへの聞き取り



ダルバズ県Yoged村小規模灌漑施設



ダルバズ県Sangevni Daroz村小学校増設現場（4教室）



ゴルノ・バダフシャーン州知事表敬



対象5県のADUSVOへのインタビュー



シュグナン県クロスボーダーマーケット



同左（手前は石けん、奥は薬草、化粧品を販売）

略 語 表

略 語	正式名称	和 訳
AKF-A	Aga Khan Foundation Afghanistan	アガハーン財団アフガニスタン事務所
AKF-T	Aga Khan Foundation Tajikistan	アガハーン財団タジキスタン事務所
ASUDVO	Association of SUDVOs	村落開発社会組合連合（県レベル）
CBC	Cross-border Committee	クロスボーダー委員会
CBM	Cross-border Market	クロスボーダーマーケット
CBO	Community-Based Organisation	地域住民組織
CBRD	Cross-border Rural Development (The Project For Rural Development Project in Tajik – Afghan Border Area of Gorno – Badakhshan Autonomous Oblast)	プロジェクト名称「アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャー地域における農村開発プロジェクト」の略称
CDC	Community Development Council (Afghanistan)	コミュニティ開発評議会（アフガニスタン）
CLDC	Cluster Level Development Council (Afghanistan)	クラスターレベル開発評議会（アフガニスタン）
CSO	Civil Society Organisation	市民社会組織
C/P	Counterpart	カウンターパート
DAC	Development Assistance Committee (a committee in the Organisation for Economic Co-operation and Development)	経済協力開発機構 開発援助委員会
DDA	District Development Assembly (Afghanistan)	郡開発評議会（アフガニスタン）
DDP	District Development Plan	県開発計画
GBAO	Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast	ゴルノ・バダフシャー自治州
GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit	ドイツ国際協力公社
GoJ	Government of Japan	日本政府
GoT	Government of the Republic of Tajikistan	タジキスタン共和国政府
JCC	Joint Coordination Committee	合同調整委員会
JDP	Jamoat (Sub-District) Development Plan	郡開発計画
KfW	Bank aus Verantwortung	ドイツ復興金融公庫
LSIS	Living Standard Improvement Strategy	生活水準改善戦略
MLO	Micro Lending Organization	小規模融資機関
MRRD	Ministry of Rural Rehabilitation and Development	農林復興開発省

MSDSP	Mountain Societies Development Support Programme	山岳地域開発支援プログラム（アガハーン財団の一実施部門）
NDS	National Development Strategy	国家開発戦略2015
NGO	Non-governmental Organizations	非政府組織
OVOP	One Village One Product (activities/project)	一村一品（活動/プロジェクト）
PDM/PLF	Project Design Matrix/Project Logical Framework (used interchangeably)	プロジェクト・デザイン・マトリックス/プロジェクト・ロジカルフレームワーク
PO	Plan of Operations	活動計画書
PRS	Poverty Reduction Strategy	貧困削減戦略
SDC	Swiss Agency for Development and Cooperation	スイス開発協力機構
SUDVO	Social Unions for the Development of Village Organizations	村落開発社会組合（郡レベル）
TVG	Technical Verification Group (at the oblast level)	テクニカル・ベリフィケーション・グループ（州に設置）
TWG	Technical Working Group (at the district level)	テクニカル・ワーキング・グループ（各県に設置）
UCA	University of Central Asia	中央アジア大学（アガハーン開発ネットワーク系列大学）
USAID	United States Agency for International Development	米国国際開発庁
VDP	Village Development Plan	村落開発計画
VO	Village Organization	村落組織
WFP	United Nations World Food Programme	国連食糧計画
WUA	Water Users Association (at sub-district level)	水管理組合（郡レベル）
WUC	Water Users Committee (at village level)	水管理委員会（村落レベル）

交換レート

USD1 ≙ TJS 5（タジキスタン・ソモニ）

TJS 1 ≙ JPY20

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：タジキスタン共和国	
案件名：アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャー地域における農村開発プロジェクト [通称：CBRD (Cross Border Rural Development) プロジェクト]	
分野：農村開発	援助形態：技術協力プロジェクト
所管部署：農村開発部	協力金額（評価時）：3億3,000万円
協力期間：2012年2月～2015年2月 (36カ月)	先方実施機関：ゴルノ・バダフシャー自治州 (GBAO) 政府
	日本側実施機関：N/A
1-1 協力の背景と概要 <p>アフガニスタン・タジキスタンの両国にまたがるバダフシャー地域は、天然資源、文化、言語等を共有し、地理的にも中央アジア、中華人民共和国（以下、「中国」と記す）、パキスタン・イスラム共和国（以下、「パキスタン」と記す）をつなぐ通商、文化の中継地として開発ポテンシャルを有する。タジキスタン側のゴルノ・バダフシャー自治州（Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast：GBAO）では、2007年の貧困人口比率は84%¹と全国平均を大幅に上回っている。家族1名以上が州外で出稼ぎ労働中の世帯が全世帯の半数に上り、家計は外国、特にロシアからの仕送りに依存している。このため最貧農村地域の活性化を支える基礎的な社会サービスの充実と地元経済の成長を牽引する経済活動の活性化が喫緊の課題となっている。</p> <p>同地域では、タジキスタン国内24県（District）の1,350の村落組織（Village Organizations：VOs）においてエネルギー、教育、保健、経済など幅広い分野の社会開発事業を手掛けてきた国際NGOアガハーン財団（Aga Khan Foundation：AKF-T）が、1990年代から活動を展開している。本プロジェクトは、同地域で十分な実績と実施体制をもつアガハーン財団タジキスタン事務所（Aga Khan Foundation Tajikistan：AKF-T）及びその実働部門である山岳地域開発支援プログラム（Mountain Societies Development Support Programme：MSDSP）との連携により、JICA単独ではアクセスできなかったアフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャー地域のうち、国境に隣接するGBAO内5県を対象として①コミュニティ・インフラ整備、②ローカルガバナンス組織の能力強化、③タジキスタン、アフガニスタンの経験交流、協力体制の構築を柱とする協力を実施してきた。</p> <p>GBAOではAKF/MSDSPの支援の下、1990年代後半に村落レベルの住民組織としてVOsが、また2004年に最少行政単位である郡（sub-district/jamoat）レベルの住民組織として村落開発社会組合（Social Unions for the Development of Village Organizations：SUDVOs）が形成されており、本プロジェクトはそれら上位となる各県に村落開発社会組合連合（Associations of SUDVOs：ASUDVOs）を設置した。これらローカルガバナンスの仕組みに則り、本プロジェクトではVOによる村落開発計画（Village Development Plan：VDP）の策定・更新、VDPに基づく開発ニーズの洗い出し、郡/県レベルでのスクリーニング、州レベルの承認を経て、小規模インフラ事業</p>	

¹ National Development Strategy for the Republic of Tajikistan for the Period to 2015, 2007.

の実施・モニタリングを行ってきた。またその過程を通じ、行政（郡/県/州）及び住民組織（VO/SUDVO/ASUDVO）の能力強化を図ってきた。

なお、アフガニスタン側では、コミュニティ主導型開発に係る農村復興開発省（Ministry of Rural Rehabilitation and Development : MRRD）の実施体制強化に資する包括的な人材育成支援として、アフガニスタンコミュニティ開発支援体制強化プロジェクトを実施している（2011年3月～2015年2月）。プロジェクトのコンポーネントのひとつとしてアガハーン財団アフガニスタン事務所（Aga Khan Foundation Afghanistan : AKF-A）との連携を通じ、国境ピアンジ川を挟み、CBRDプロジェクト対象地域の対岸に位置するアフガニスタン側バダフシャン県において、7郡を対象にコミュニティ開発事業を2011年11月から2015年2月までの予定で実施中である。

1-2 協力内容

本プロジェクトは、ゴルノ・バダフシャーン自治州内5郡において、住民の開発ニーズに基づいた参加型の開発事業を担うローカルガバナンス組織を設置・強化し、同組織を通じたインフラ整備を行うことにより、住民への社会サービスの向上を図り、もって住民の生活の質の向上に寄与することを目的としたものである。

(1) 上記目標

対象地域（ゴルノバダフシャーン自治州5県）において住民の生活が向上する。

(2) プロジェクト目標

対象地域における住民への社会サービスが向上する。

(3) 成果

- 1 農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する。
- 2 ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力（ニーズ発掘、計画策定、事業管理）を備える。
- 3 タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される。

(4) 投入

<日本側>

1) AKF-T への委託事業 280万 USD（3年間）

表-1のとおり委託金額の8割近くが能力強化活動とインフラ整備事業で構成される事業費に充てられ、オペレーション経費、間接経費は2割程度に抑えられている。

表－1 AKF 委託事業費 内訳 (USD)

会計年度 費 目	契約時 配分額	2011 年度 (執行済)	2012 年度 (執行済)	2013 年度 (執行済)	2014 年度 (執行予定)	最新 配分額	%
人件費	193,422	3,433	53,869	62,767	74,269	194,338	7
旅費・交通費	187,101	589	31,202	34,548	50,500	116,839	4
事業費	2,057,600	394	63,669	648,561	1,433,292	2,145,915	76.7
能力強化事業	(207,600)	(394)	(63,669)	(66,496)	(51,468)	(182,026)	(6.5)
インフラ整備費	(1,850,000)	(0)	(0)	(582,065)	(1,381,824)	(1,963,889)	(70.2)
事務所備品等	16,423	0	15,958	0	3,300	19,258	0.7
その他業務費	90,906	140	20,780	10,672	40,539	72,131	2.6
間接費	254,547	0	17,759	63,587	170,173	251,518	9
合計 (US\$)	2,800,000	4,555	203,238	820,135	1,772,072	2,800,000	100

出所：プロジェクト会計報告に基づき作成

- 1) 長期専門家 1名 (業務調整/コミュニティ開発) 2012年9月～2014年9月
- 2) 短期専門家 1名 (参加型ファシリテーション) 2014年8月～2MM (予定)
- 3) 研修員受入 (本邦研修「JICA-NGO 連携による実践的参加型コミュニティ開発」) 2名

<タジキスタン側>

- 1) カウンターパートの配置 (ゴルノ・バダフシャーン自治州経済開発・計画局)
- 2) ローカルコスト負担 調査時点における先方政府負担なし (住民による一部負担あり)

2. 評価調査団の概要

調査者	総 括 協力企画 AKF-A 事業評価 AKF-A 事業評価 評価分析	大島 歩 横田 千映子 川瀬 友裕 Dr. Mudassir 松浦 由佳子	JICA 農村開発部水田地帯第二課課長 JICA 農村開発部水田地帯第二課職員 JICA アフガニスタン事務所 所員 JICA アフガニスタン事務所 在外専門 調査員 国際開発ソリューションズ 開発コンサ タント
調査期間	2014年5月11日～30日		評価種類：中間レビュー調査

3. 評価結果の概要

3-1 実績の確認

3-1-1 成果1：農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する
指 標

- 1) 整備された基礎インフラ事業数が42件以上となる。
- 2) 基礎インフラへのアクセス率が24%まで改善する。
- 3) 基礎インフラの利用住民の満足度が上がる。

達成状況：多少の遅延があるが、以下のとおり達成に向けて比較的順調に進捗している。

- 対象地域内にある計 326 の村落組織 (Village Organizations : VO) のうち、324 の VO が既存の村落開発計画 (VDP) を更新し、うち 298 の VO から計画に基づくコミュニティ・インフラ整備事業 (サブプロジェクト) 計 498 件が申請された。郡→県→州の各段階で郡/県行政と住民組織 SUDVOs/ASUDVOs が協働で事業内容の検討・審査を行い、最終的に 44 件に絞り込まれた。選定基準として裨益率、直面する課題の深刻度が検討され、各県 TWG における選定では、Pairwise Ranking Matrix (PRM) が用いられた。

表-2 サブプロジェクトの内訳

インフラ種類	件数 (%)	インフラ種類	件数 (%)
飲料水供給施設設置	11 件 (25%)	橋梁修復	3 件 (7%)
小規模灌漑施設設置	7 件 (16%)	小水力発電施設 (一部) の改修	3 件 (7%)
学校の改修・教室拡張	7 件 (16%)	スポーツ施設設置	1 件 (2%)
保健施設設置・改修	6 件 (14%)	公衆トイレ設置	1 件 (2%)
道路整備	4 件 (9%)	護岸工事	1 件 (2%)

出所：プロジェクト資料より作成

- 選定過程では、シュグナン県では県政府の戦略計画 (Strategic Plan) に既に掲載され、予算措置のめどがたっている事業は除外され、また選定された事業は新たに戦略計画に反映された。村落のニーズがボトムアップで郡、県に共有され、県レベルの政策に生かされるメカニズムがインフラ整備過程で形成された。
- 44 件のうち、25%は完工済、あるいは完成間近である。一方、冬期の豪雪により資材の搬入が遅れた影響で、未着工の事業が 4 件あるが (灌漑 2 件、学校増設 1 件、小水力発電用水路 1 件)、近日中に着工し、全件とも 2014 年内に完工する見込みである。プロジェクトはスケジュールどおり 2014 年 2 月に完了できることを AKF/MSDSP に確認した。
- サブプロジェクト実施過程で、工事契約とは別に、建設業者、VO、SUDVO、ASUDVO、郡/県政府、MSDSP 間で、それぞれの役割、責任を明確化した合意文書が結ばれ、各者の密な情報交換の下に実施管理・モニタリングがなされている。
- 技術的な施工管理は、MSDSP のエンジニアが詳細設計書に照らし合わせ、定期的に行っていることが確認された。サイト踏査には通常 VO 長と SUDVO が同行し、問題がある場合は、書面による改善指導が業者になされ、MSDSP 各県事務所が業者の対応状況をモニタリングし、適切なモニタリング・施工管理体制がとられている。
- インフラ工事では、大半の VO が労働力や土地、資金 (VO メンバー会費による VO 基金からの拠出) を提供している。また県政府が資材不足を補填した事例や、道路整備で当初工事区間に加え、近隣村落までの延長区間分の建設工事費用を県政府主導で資金調達を行った事例が報告された。建設業者と住民間のもめ事が生じている事例もあるが、郡/県政府が ASUDVO、MSDSP とともに仲裁に入るなど、インフラ整備に対する住民、行政双方の主体性、オーナーシップの高まりが観察された。
- すべてのインフラ施設は、完工検査ののち各県行政の所定部局 (灌漑・水事業局、コ

コミュニティ・サービス局、保健局、教育局、道路維持管理事業局等)に引き渡される。完工検査は MSDSP のエンジニアと各県政府の建築技師が実施し、瑕疵がなければ、MSDSP が引き渡しレターを VO 及び県政府に対して発行する。日常的な維持管理は各 VO が担う。給水、灌漑施設は VO 内に水管理組合が設置され、利用料を徴収し、維持管理に充てられる。

- ・ 指標 2) インフラへのアクセス率は、2013 年 3 月の JCC で改善の目標値が 24%に設定された。しかしその後の 2013 年 5 月に提出されたベースライン調査報告書では、基礎インフラへの物理的なアクセス率は、以下のとおり、それを優に超える高い数値であった。数値だけをみれば、不当に低い目標値が設定されたことになる。一方、これらインフラはソ連時代に設置され、老朽化が著しく、全面改修や大幅な修繕の必要性があり、インフラの質も加味して 24%という数値が設定されたことが判明した。インフラ種別ごとのアクセス率のばらつきも踏まえ、質面の改善効果も含めた主要インフラごとの指標の必要性があるため、調査団は 3-5 提言 (4) に記載のとおり適切な指標の設定を求めた。

表－3 主要インフラへのアクセス率 (%)

District	Road	Energy	Bridge	Irrigation Canal	Drinking Water
Darwaz	100	100	56.5	77.9	79.8
Vanj	100	98	76.3	99	32.7
Rushan	100	98	73.3	81.1	64.2
Shugnan	99	99	73.3	100	73.2
Ishkashim	99	100	72.4	96.2	45.7
Total	99.6	99	70.4	90.8	59.1

出所：CBRD ベースライン調査報告書 2013 年 5 月

3-1-2 成果 2：ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力（ニーズ発掘・計画策定、事業管理）を備える

指標：

- 1) 対象地域住民の 75%が ASUDVOs の提供した事業に満足する。
- 2) 対象地域住民の 70%が郡政府 (Jamoats) の提供した事業に満足する。
- 3) 対象地域住民の 65~70%が県政府の提供した事業に満足する。
- 4) ASUDVOs、Jamoats、県政府おのおのの自己評価が上がる (1~5 段階評価)。
- 5) ローカルガバナンス組織間の連携が増える (1~5 段階評価)

達成状況：達成に向けて以下のとおり順調に進捗している。

- ・ プロジェクト開始前から活動している VO、SUDVO に加え、本プロジェクトでは、県レベルでコミュニティ開発を統括する ASUDVO を設置し、地域開発において行政とコミュニティを結ぶフォーカル機関として能力強化を行った。
- ・ また県レベルの開発計画・事業を協議する場としてテクニカル・ワーキング・グループ

ブ（Technical Working Group：TWG、構成員は県助役、各局長、ASUDVO）が各県に設置され、県政府及び住民代表が協働・協議する開発事業運営のメカニズムが構築された。TWG はサブプロジェクト選定、工事実施管理、運営・管理の各ステージで調整機能を担い、経験を蓄積している。

- ・ ボトムアップで吸い上げられた住民のニーズが TWG を通じて県政府の開発計画（District Strategic Plan）に反映された好例もあり、本プロジェクト開始前は個別に進められてきた住民主導型開発と行政主導の開発計画策定が、本プロジェクトを通じて、統合される気運が生じている。また行政、住民組織それぞれのステークホルダーの役割・責任の明確化、多様なステークホルダーの巻き込みによる主体性の向上、透明性の確保といった効果がみられている。
- ・ 各県の ASUDVO はサブプロジェクトの実施管理に加え、より広範なコミュニティのニーズに応えるため、主体的にファンドレイジング活動を行い、他ドナーや政府からの支援を得て、食料配布（シュグナン県、イシュカシム県）や洪水対策（シュグナン県）、健康保健事業（ルシヤン県、イシュカシム県）、幼児教育事業（全県）等が既に実施されている。また定期的に各村落を巡回し、農業技術や生活・生計向上に係る情報発信を行うとともに、村落の状況を TWG にフィードバックしている。こうした AUSUDVO の活動は、訪問サイトのシュグナン県では、政府、住民双方から高い評価を得ていることが確認された。
- ・ AUDVO を中心とする TWG メンバーは、開発計画策定・管理、問題解決等のための研修を受講し、域内での経験共有・交流のほか、キルギス共和国（以下、「キルギス」と記す）、パキスタンの地域開発事業の視察を行った。今後、モニタリング・報告レポート研修、域内での経験共有機会が予定されている。一方で、主要なステークホルダーである郡行政担当者及び SUDVO に対する研修や能力強化の機会は、これまで本プロジェクトでは提供されていない。

3-1-3 成果 3 タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される

指 標：

- 1) クロスボーダー委員会の構成員によるタジキスタン、アフガニスタン両国の連携に対する満足度が 60%以上となる。
- 2) クロスボーダー会合、経験交流機会がローカルガバナンス組織参加の下、定期的開催される。

達成状況：達成に向けて以下のとおり順調に進捗している。

- ・ クロスボーダー委員会をシュグナン県・ロシヤン県合同で 2013 年 9 月、ダルバズ県・ヴァンジ県合同で 2013 年 11 月に計 2 回開催し、今年度はイシュカム県にて開催予定である。またタジキスタン側及びアフガニスタン側の地域開発に係る住民組織、行政がクロスボーダーマーケット近くで一同に会し、本プロジェクトの経験交流のみならず、双方の地域開発やローカルガバナンスの現状・課題を協議・意見交換している。

このような場の設定を通じて、国境をまたぐ課題への対応の必要性が認識されている。

- ・ 州レベルでは、2014年2月にタジキスタン側 GBAO 政府とアフガニスタン側バダフシャーン県政府が AKF、他ドナーの同席の下、会合を開催し、クロスボーダー協力分野の洗い出しが行われ（インフラ整備を含む経済開発、教育・文化、保健、農業・農村開発等）、定期的な会合や相互訪問が予定されている。
- ・ 県レベルでは、シュグナン県、イシュカシム県は VO、SUDVO、ASUDVO が四半期ごとにクロスボーダー事業の優先課題（農業、教育、保健等）について意見交換し、ビジネスチャンスとしてのクロスボーダーマーケットの活用を地元農民・商人に売り込む活動を ASUDVO が行っている。
- ・ アフガニスタン住民のタジキスタン側への越境制限がタジキスタン側国境管理警察により課せられるケースが時折生じているが、県政府が治安当局に協力依頼を发出するなど、クロスボーダー交流が妨げられないよう取り組みがなされている。また政治イベントや感染症のアウトブレイク等の理由で、国境が一時的に封鎖されることもあったが、長期国境封鎖につながる重大な事態にはなっておらず、今後も障害となる問題は観察されなかった。
- ・ クロスボーダー橋やマーケットの有無など地理的条件により、関心度合いに多少のばらつきはあるが、おしなべて行政、住民組織ともにクロスボーダー協力に前向きであり、政府レベル及びコミュニティ代表間で社会的及び経済的交流が促進されることが期待される。

3-2 プロジェクト目標達成の見込み

プロジェクト目標：対象地域における住民への社会サービスが向上する。

指 標：

- 1) 対象地域の住民の 80%以上が社会サービスやガバナンスの仕組みを理解している。
- 2) ローカルガバナンス組織について、住民の 70%以上が「住民の声を吸い上げている (responsive、inclusive)」と評価している。

達成状況：各成果の達成状況は良好であり、サブプロジェクトが計画どおり完工した場合には、プロジェクト目標である住民の社会サービスの向上は達成される見込みである。

インフラ・サブプロジェクトに関しては、選定及び実施プロセスに住民が主体的に参加しており、施設の運営・維持管理に対しても VO のオーナーシップやコミットメントは非常に高い。完工後、インフラ施設は県政府の管理下に置かれるが、VO による維持管理を行政が技術的に支援することが確認されている。なお、行政による保健・教育施設への家具、資材の提供や、道路・橋梁等で今後 VO では対応できない規模の修繕が必要となる場合の行政による支援の確約を、MSDSP を通じ確認していくことが、今後のプロジェクト期間内の課題である。

開発実施体制面では、県レベルで住民側と行政側の調整役として能力強化を行った

ASUDVO は適切に役割を果たしており、他ドナーから資金を獲得し、新たな事業にも着手するなど、住民組織、行政双方からの信頼を得て、その活動・機能は定着している。また県政府内に設置された TWG は、CBRD プロジェクトの実施管理のみならず、シュグナン県では他ドナーの事業の承認・実施管理まで活動範囲を拡大しており、県政府の制度として定着しつつある。このモデルの他県への拡大が期待される。

またクロスボーダー委員会の設置や相互視察・交流によって、州や県行政、住民組織の各レベルでタジキスタン、アフガニスタンの相互理解が促進され、クロスボーダー協力を展開していくうえでの基盤が形成されつつある。

3-3 評価結果の要約

(1) 妥当性：高い

アフガニスタンとのクロスボーダー協力の推進を見据えた国境地域開発は、タジキスタン政府及び GBAO 政府の政策と合致する。また国境地域における平和と安定への貢献、人間の安全保障の推進を掲げるわが国政府の ODA 政策にも整合し、タジキスタンにおける JICA の協力重点分野にも位置づけられている。

また GBAO 政府、ドナーの支援が届きにくい山岳地帯のコミュニティに対し、老朽化したインフラの改修・整備を通じて住民への社会サービス向上をめざすプロジェクトデザインは適切であり、地域に密着した活動基盤・実績をもつ AKF/MSDSP と連携して、JICA 単独ではアクセスが困難な地域に支援を展開したアプローチは妥当である。

(2) 有効性：比較的高い

各成果の実績・達成状況は良好であり、サブプロジェクト 44 件が計画どおり完工すれば、プロジェクト目標である住民への社会サービスの向上は達成される見込みが高い。直接的にプロジェクト目標に貢献するインフラ整備を面的に展開するとともに、サブプロジェクト実施プロセスを通じて、参加型開発実施体制を構築したことが、本プロジェクトの有効性を高めている。

プロジェクトが取り組んだボトムアップアプローチ（開発ニーズ発掘→計画策定→優先事業の実施・モニタリング）による参加型コミュニティ開発の推進体制の構築は、住民のオーナーシップ、コミットメントを促し、住民自身による生活向上活動をも促すものとなっている。また従来は接点のなかった行政による地域開発戦略/計画の策定作業と、住民組織が外部資金を得て直接実施してきた開発事業との間を調整する機能として、本プロジェクトによって、政府と住民組織の橋渡し役である ASUDVO が育成され、県行政と ASUDVO が調整・合意形成・協働する場として TWG が十分に稼働していることが評価される。

能力強化は ASUDVO に偏りがちで郡・県行政担当者、また SUDVO への機会提供が限られた。今後、郡政府、SUDVO が研修に参加できる機会が提供できれば、より有効性が高まる可能性がある。

またアフガニスタンとのクロスボーダー協力では、県政府、住民組織が各レベルで意見交換、経験交流機会をもっているほか、州、県レベルで具体的な連携活動に向けたイニシアティブがとられ、今後も継続される見込みである。

(3) 効率性：高い

GBAO での 20 年近いコミュニティ開発の実績をもち、幅広いネットワークと強固な実施体制をもつ AKF/MSDSP と連携することで、人材、知見、ネットワーク、資材など現地にある資源を最大限に活用でき、オペレーションコスト、間接費を押さえ、実質的なプログラム活動に委託事業費の 8 割近くを充てられたことが確認された。また山岳地に点在する貧困集落にまで裨益対象を面的に拡大できたことから、効率性は高いと判断される。

一方、JICA、AKF/MSDSP 双方にとり、連携事業は初めての経験であり、経理、調達手続き面で、共通認識の形成に時間を要した。特に入札・調達手続きに関し、課題の共有・相談が適時に行われていれば、より効率性が向上したと思われるケースが一部観察された。

(4) インパクト：高い

正のインパクトは以下のとおり高く、負のインパクトは発現していない。

現時点ではサブプロジェクトの完工は部分的であり、上位目標達成の見込みを判断する具体的な変化は確認できていないものの、良好な兆しを確認された。今後残りの期間で、上位目標達成に向けた基盤を整えていくことが重要である。

VO のオーナーシップは総じて高く、サブプロジェクト完工後はコミュニティが主体となって維持管理を行い、必要に応じて SUDVO、郡/県政府、ASUDVO と調整を通じて修繕等に対応していくことが期待される。VDP に基づき、VO 基金をインフラの設置・修繕に活用したり、他ドナーや郡/県政府から資金を調達する事例もあった。ASUDVO のファシリテーションにより、VO が今後も活発にコミュニティ活動に取り組む可能性は極めて高く、上位目標の達成に貢献するものと思われる。

ASUDVO や TWG の機能の有効性は AKF/MSDSP 及び州/県政府に認められ、また ASUDVO 自身は活動の継続に意欲的であるが、両者が現在の形態で継続するかは、AKF/MSDSP 及び州/県政府の今後の対応・判断による。ASUDVO 及び TWG の機能が何らかの形で継承されれば、ボトムアップによる参加型開発の継続・定着につながるとともに、政府の開発計画に住民のニーズが反映され、長期的には政府予算の確保、外部資金の確保の実現に資するものとなり、持続的な社会サービスの向上、生活の質の向上が期待できる。

(5) 持続性：中程度

ASUDVO の機能とその活動実績は、郡/県行政、住民組織（VO/SUDVO）からも高く評価され、その活動の継続が望まれている一方で、プロジェクト終了後の活動費のめどは現時点ではたっていない。ASUDVO はそれぞれに、本プロジェクト終了後を見据えて財政基盤の確立に向けた活動を開始し、他ドナーのプロジェクト予算からの費用捻出、SUDVO の出資金や小規模融資機関（Micro Lending Organization : MLO）の配当金による経費負担、ASUDVO 自身が公共性の高いサービス事業を副業として起業し活動に充てる、AKF/MSDSP による継続雇用等が検討されている。プロジェクト終了までに、AKF/MSDSP が州/県政府と調整のうえ、今後の ASUDVO の位置づけの確認及び持続性の担保が必要である。

サブプロジェクトで整備されたインフラ施設は、制度的には各県行政に引き渡され、所

管部局の管理下に置かれるが、実質的な維持管理は各 VO が担う。県財政の現状を踏まえると、県行政が充当できる維持管理費は限られており、教育施設、保健施設の人件費は担保されているが、引き渡し時の備品、資材・教材等が工面できない可能性もある。このため各施設の完工時まで、これら資機材が手当てされるよう AKF/MSDSP に調整が求められる。また、将来的に大がかりな修繕が必要となる可能性の高い橋、道路等も、あらかじめ MSDSP と州・県政府が対策を合意し、関係者に周知しておく必要がある。

クロスボーダー活動については、タジキスタン側 GBAO 政府とアフガニスタン側バダフシャン県政府の間で、クロスボーダー協力を推進すべく合意書が署名されており、定期的な会合や相互訪問が予定されている。今後も政府レベル及びコミュニティ代表間で社会的及び経済的交流が促進されることが期待される。

3-4 結 論

天候や治安による多少の活動の遅延はあるものの、調査時点で懸念される大きな障害もなく、対象コミュニティ、県/州政府から高い評価を得る活動が本プロジェクトによって行われてきた。これまでに存在した村落から郡までのボトムアップアプローチによる参加型開発の仕組みが、ASUDVO の設置により県レベルにまで引き上げられた。また参加型で吸い上げられた住民のニーズが、各県の TWG で、県政府、住民代表である ASUDVO によって議論され、県主導の開発計画と住民主導の開発計画のすり合わせが可能となり、調整・協働メカニズムとして機能していることが確認された。

各成果レベルで既に目に見えるインパクトが発現しており、予定どおり活動が実施され、また以下の提言が取り入れられれば、プロジェクト終了までにプロジェクト目標が達成される見込みである。

3-5 提 言

(1) サブプロジェクトの進捗管理及び維持管理体制の確立

残る協力期間では、サブプロジェクトの進捗管理をより徹底し、インフラ施設の持続的な運用を担保する維持管理体制を確立することが非常に重要である。とりわけ未着工のサブプロジェクト 4 件は、モニタリングを強化し、進捗管理を適切に行う必要がある。8 月末をめぐりに全サブプロジェクトの進捗を再度、JICA、AKF/MSDSP で再確認し、仮に遅延が生じた場合の対応を検討する予定である。

施設の引き渡しでは、維持管理における VO、SUDVO、郡政府、ASUDVO、県政府、建設業者、MSDSP 関係者の役割を明確化し、文書で合意することを提案する。飲料水供給施設、小規模灌漑施設については、おおむねどの村落でも、水管理委員会の設置による利用料の徴収、日常的なメンテナンスや簡易な補修を行う体制のめどがたっているものの、技術的なサポートは郡/県政府が提供することが必要である。教育、保健施設には、他セクターと比較して県政府の開発予算が優先的に配賦されるという話ではあったが、視察先の医療施設では最低限の備品・薬品の補給もままならない状況がみられたため、引き続き MSDSP から県政府に対し、必要備品の設置・補充を申し入れる必要がある。また橋梁、道路は、日々のメンテナンス、小規模な修理はコミュニティ共同で行うも、規模の大きな修繕は引き渡し先である県（道路維持管理事業局）が責任をもつ必要があり、県ない

し州政府が一定程度の維持管理費を予算化すべく働きかけることが望ましい。運用・維持管理体制の確立に向け、MSDSP が適切なファシリテーション及びモニタリングを行うことが求められる。

(2) ASUDVO の持続性、財政基盤の確保

県行政と住民組織をつなぎ、またファンドレイザー等の役割も果たす ASUDVO の機能は、今後も維持されることが望ましいが、現時点ではプロジェクト終了後の財政的後ろ盾がない。AKF/MSDSP が必要経費を負担して持続する、SUDVO の出資金やコミュニティのマイクロファイナンス配当金から経費を負担する、ASUDVO 自身が資金を獲得する等の方策、いくつかのアイデアが ASUDVO 自身、また AKF/MSDSP により検討されている最中であるが、プロジェクト終了までに AKF/MSDSP が州/県政府とも調整し、今後の ASUDVO の位置づけ及び持続性の担保の方策を固める必要がある。

(3) サブプロジェクト完工調査

AKF では、すべてのプロジェクトにおいてインパクト調査を実施することであるが、この調査はプロジェクトの直接的な受益者のみならず、ランダムに選定された対象者に対して幅広く行われるものであるため、必ずしも CBRD プロジェクトの成果・インパクトが十分に確認できない可能性がある。したがって、この調査と平行してサブプロジェクトによるインフラ整備の成果を的確に把握するため、完工調査を実施することを提案する。方法論や実施時期は JICA と AKF/MSDSP で早急に調整することとし、ASUDVO が主体となって完工調査に係るデータ収集を行い、インフラへのアクセスや質の向上の変化を分析することを提案する。この場合、近々に予定される「モニタリング・レポーティング研修」で情報収集内容・方法・分析手法を研修するのが望ましい。

(4) 成果 1 インフラ整備状況を測る指標及び目標値の変更

ベースライン調査結果より、対象地域における基礎インフラへのアクセスは、3-1-1 成果 1 の記載のとおり、かなり高いことが判明している。このため、「基礎インフラへのアクセス率が 24%まで改善する」とした目標値及び指標自体を適切なものに変更する必要がある。既存インフラの老朽化による質面での問題が指摘されている点や、インフラ種別によりアクセス率に大きな開きがあることも踏まえ、主要インフラごとに施設の品質も加味したアクセス (accessibility) と有用性 (usability) を測る指標と目標値の提案を AKF/MSDSP に求める。

(5) 郡政府、SUDVO の能力強化

合意されている事業費内で対応可能であれば、研修、交流事業の対象となっていなかった郡政府 (jamoat) 及び SUDVO にも、モニタリング・レポーティング研修への参加機会を与え、また可能であれば、既に ASUDVO、TWG に対し実施済みの能力強化研修を追実施することを提案する。

3-6 教 訓

(1) JICA にとっての AKF/MSDSP とのパートナーシップの意義

AKF/MSDSP とのパートナーシップは、現地に根ざした実力のある NGO と連携すれば、アクセスが困難な難易度の高い地域のニーズに応え、効率的、効果的な事業展開が可能となることを実証する好例となった。JICA 単独ではアクセスできない GBAO のなかでも、より支援の行き届いていない山岳村落への裨益が可能となったのは、同地域で長年にわたるコミュニティへのサービスデリバリーの実績があり、行政を含む各方面からの信頼も厚い AKF/MSDSP の存在によるところが大きい。MSDSP は各県に事務所を構え、ASUDVO/SUDVO や郡/県政府との現場レベルの協働が可能な実施体制を備え、コミュニティに対するきめ細かい事業実施が効果的に行われた。またその機動力や実施体制は、2012 年 7 月の騒乱や本調査期間中の 2014 年 5 月の住民と政府の衝突等における危機管理や事業管理にも発揮され、事業への影響が最小限にとどめられていることが確認されている。

一方で、JICA、AKF/MSDSP 双方にとって初の共同プロジェクトであったため、経理、調達等の手続きの理解や合意形成に時間を要した。また、調達面で柔軟な対応を行うべき局面で、問題の共有や改善の提案がタイムリーに伝達されず、ルールの見直しが行われなない事案があった。今後問題が予見される場合、前広に JICA 側と情報共有を行い、対応を検討することが望ましい。

(2) AKF/MSDSP にとっての行政を巻き込むアプローチの意義

従来の AKF/MSDSP のコミュニティ開発事業では、事業として政府の承認は得るも、住民の要望に応える事業を MSDSP が直営する形で進められていた。本プロジェクトでは、ニーズの把握や案件形成をボトムアップで行い、事業の優先順位づけや実施管理の過程にテクニカル・ベリフィケーション・グループ (Technical Verification Group : TVG) や TVG の設置を通じて政府 (県・州) を巻き込み、政府と住民の協働メカニズムを確立しており、またそのプロセスが各ステークホルダーにとって学びと経験蓄積の場になった。行政を巻き込み、能力強化の対象とした事業は AKF/MSDSP にとっても新しい試みであり、効果発現及び持続担保の観点からも、有効であることが確認された。

一方、本プロジェクトの能力強化の主な対象は ASUDVO であり、県・郡政府職員の能力強化も行われたが、TWG メンバーの一部に限定された。SUDVO メンバーや、県・郡政府の職員なども含むコミュニティ開発を担うステークホルダーに幅広く能力強化を行うことで、よりボトムアップアプローチの強化を図ることができたと考えられる。

(3) 村落開発計画の上位計画への反映

本プロジェクトにおけるボトムアップアプローチの実践を通じて、村落開発計画 (VDP) が郡開発計画 [Jamoat (Sub-District) Development Plan : JDP]、県開発計画 (District Development Plan : DDP) へと上位計画に反映されていく仕組みが構築されたことは、行政のガバナンスやアカウンタビリティの強化につながると考えられる。一方で、これら住民主導で策定した開発計画は、村落基金以外に予算配分がないことから、行政による事業実施につなげるためには県政策計画 (District Strategic Plan) に反映される必要がある。シュグナン県ではそのような取り組みが既に始まっているが、他県でもシュグナン県をモデル

として活用・普及されることが期待される。

(4) コミュニティ開発における事業規模、裨益範囲の設定

本プロジェクトでは、44件の村落レベルの小規模インフラを広範囲に実施した。ドナーや政府の目の届きにくい村落のニーズを拾い上げ、生活環境に目の見える変化をもたらすとともに、住民組織と行政との協働機会の提供により、両者の信頼関係の構築に貢献した意義がある。一方で、選定、調達、実施の手続きが煩雑となり、想定以上の時間・手間を要した点は否めない。このため、一部関係者からは、県レベルで事業規模を設定すべきだったとの声も聞かれた。

事業規模の拡大により手続きは効率化するが、住民のニーズへのきめ細かい対応が不十分となる可能性もある。よって事業規模はあくまで目的や状況に応じ、柔軟に考えることが重要との考察にいたった。また将来的には、経済開発を牽引する大型インフラへの投資と、公平な社会開発に資する生活インフラ整備とのバランスをどうとるか、GBAO全体の開発ニーズを俯瞰し、検討すべき課題と推察される。

第1章 中間レビューの概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

アフガニスタン・イスラム共和国・タジキスタン共和国（以下、「アフガニスタン」「タジキスタン」と記す）の両国にまたがるゴルノ・バダフシャー地域は、天然資源、文化、言語等を共有し、地理的にも中央アジア、中国、パキスタンをつなぐ通商、文化の中継地として開発ポテンシャルを有する。他方、タジキスタン側のゴルノ・バダフシャー自治区では、2007年の貧困人口比率は84%と全国平均を大幅に上回る。家族1名以上が州外で出稼ぎ労働中の世帯が全世帯の半数に上り、家計は外国、特にロシアからの仕送りに依存している。このため最貧農村地域の活性化を支える基礎的な社会サービスの充実と地元経済の成長を牽引する経済活動の活性化が喫緊の課題となっている。

同地域では、タジキスタン国内24県(District)の1,350の村落組織(Village Organizations: VOs)においてエネルギー、教育、保健、経済など幅広い分野の社会開発事業を手掛けてきた国際NGOアガハーン財団(AKF)が、1990年代から活動を展開している。タジキスタン政府の要請を受け、「アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャー地域における農村開発プロジェクト(以下、CBRDプロジェクト: Cross Border Rural Development)」では、同地域で十分な実績と実施体制をもつアガハーン財団タジキスタン事務所(AKF-T)及びその実働部門である山岳地域開発支援プログラム(Mountain Societies Development Support Program: MSDSP)との連携により、JICA単独ではアクセスできなかったアフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャー地域のうち、アフガニスタン国境に隣接する同自治州内5県を対象として①コミュニティ・インフラ整備、②ローカルガバナンス組織の能力強化、③タジキスタン、アフガニスタンの経験交流、協力体制の構築を柱とするCBRDプロジェクトを実施している。ゴルノ・バダフシャー自治州(GBAO)政府は住民参加型の地域開発を推進しており、AKF/MSDSPの支援の下、最少行政単位各郡に村落開発社会組合(Social Unions for the Development of Village: SUDVOs)¹を形成し、さらに各県に村落開発社会組合連合(Associations of SUDVO: ASUDVOs)を設置している。本事業では上記ローカルガバナンスの仕組みに則り、村落開発計画策定、SUDVO/ASUDVOによる優先順位づけ/承認、小規模インフラ事業の実施・モニタリングのプロセスを通じたステークホルダーの能力強化を図っている。

なお、アフガニスタン側では、コミュニティ主導型開発に係る農村復興開発省(MRRD)の実務実施体制の強化に資する包括的な人材育成支援として、アフガニスタンコミュニティ開発支援体制強化プロジェクト(Afghanistan Institute of Rural Development, Strengthening Community - Led rural Development support system: AIRDSCLDプロジェクト)を2012年2月～2015年2月を協力期間として実施している。プロジェクトのコンポーネントのひとつとしてアガハーン財団アフガニスタン事務所(AKF-A)との連携を通じ、JICAが単独ではアクセスできないバダフシャー州において、タジキスタン国境に隣接する7郡を対象として、コミュニティ開発事業をパイロットプロジェクトとして2011年11月から2015年2月までの予定で実施中である。

今般、本プロジェクトの活動進捗、計画達成度の確認、評価5項目の観点からの検証を行うとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、合同中間レビュー報

¹ 10～20のVillage Organizationsを統括

告書に取りまとめ、合意することを目的として、中間レビュー調査団を派遣することとなった。

1-2 調査団の構成と日程

担当事項	氏名	所属	日程
総括	大島 歩	JICA 農村開発部水田地帯第二課 課長	2014年5月18日～27日※※
評価分析	松浦 由佳子	国際開発ソリューションズ 開発コンサルタント	5月11日～27日
協力企画	横田 千映子	JICA 農村開発部水田地帯第二課 職員	5月18日～27日
AKF-A 事業評価	川瀬 友裕	JICA アフガニスタン事務所 所員※	5月18日～30日
AKF-A 事業評価	Dr. Mudassir	JICA アフガニスタン事務所 在外専門調査員※	5月18日～28日

※ タジキスタン側との経験共有、アフガニスタン側ステークホルダーへの聞き取りを目的としてアフガニスタン事務所から参团。

※※ 当初5月30日まで調査を実施予定であったが、5月21日に調査先のホログ市にて警察と地元住民の間で発砲、襲撃を含む騒擾事案が発生したため、調査を中断してドゥシャンベに退避した。調査期間を一部短縮せざるを得ない状況となり、レビュー結果に係る先方との協議やJCCは実施されなかった。

1-3 対象プロジェクトの概要

(1) 協力期間

2012年2月～2015年2月

(2) 協力相手先機関

ゴルノ・バダフシャーン州 (GBAO) 政府及び対象県政府

事業委託先：アガハーン財団タジキスタン事務所 (AKF-T) 及びその実働部門である山岳地域開発支援プログラム (Mountain Societies Development Support Program : MSDSP)

(3) 事業実績

約3億3,000万円 (※2014年度分は概算)

(4) プロジェクトサイト

アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャーン地域内の5県 (ダルバズ県、バンジ県、ロシャン県、シュグナン県、イシュカシム県)

(5) 上位目標

対象地域 (ゴルノ・バダフシャーン自治州5県) において住民の生活が向上する。

(6) プロジェクト目標

対象地域における住民への社会サービスが向上する。

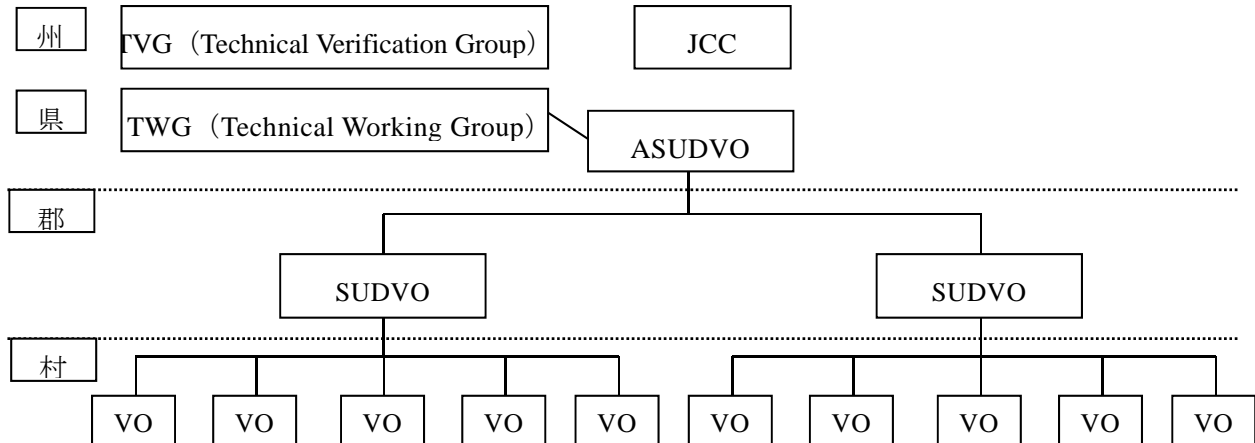
(7) 成果

- 1 農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する。
- 2 ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力（ニーズ発掘計画策定、事業管理）を備える。
- 3 タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される。

＜参考＞協力対象県データ

県名	ダルバズ Darwaz	バンジ Vanj	ロシヤン Rushan	シュグナン Shugnan	イシュカシム Ishkashim	合計
人口	23,600	30,400	25,300	38,000	28,400	145,700
世帯数	3,281	4,191	4,551	5,348	3,613	20,984
VOs 数	58	71	56	71	74	330
SUDVOs 数	4	6	7	7	7	31

＜参考＞実施体制図（詳細は付属資料 2 参照）



第2章 中間レビューの方法

2-1 評価の枠組み

本中間レビューでは、『新 JICA 事業評価ガイドライン第1版』に基づき、CBRD プロジェクトの中間地点での①実績の検証、②実施プロセスの検証、③因果関係の検証、④評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の視点による考察を行った。達成度、実施プロセス、評価5項目ごとに具体設問をまとめた評価グリッド（付属資料3 ANNEX8）を作成し、レビューを進めた。

CBRD プロジェクトは、R/D の段階から、プロジェクト・デザイン・マトリックス（Project Design Matrix：PDM）と同様のプロジェクト管理ツールで、名称が異なるプロジェクト・ロジカル・フレームワーク（Project Logical Framework：PLF）を用いてきた。本レビューでは、PLF と活動計画書（Plan of Operations：PO）に照らし、実績・実施プロセスの把握、効果発現の状況を確認し、評価5項目の視点による評価を行った。PLF は、指標目標値が設定された2013年3月の合同調整委員会（Joint Coordination Committee：JCC）で合意された最新版（付属資料3 ANNEX2）を用いた。

既存情報の分析を現地調査前に行い、現地調査期間前半に、①実績の検証、②実施プロセスの検証を主眼として、プロジェクト関係者（州・県・郡政府職員、AKF/MSDSP 関係者、専門家）からの聞き取り、サブプロジェクトサイト踏査による裨益住民、住民組織代表へのインタビューを行った。これを踏まえ、現地調査後半に GBAO 政府、AKF/MSDSP を交えた協議を行い、合同で③因果関係の検証、④評価5項目の視点による考察を行う予定だった。

しかし、2014年5月21日（水）にホログ市内で警察と地元住民の間で騒擾事案が発生し調査団はドゥシャンベに退避したため、GBAO での調査・協議の続行及び JCC における合同評価報告書の合意が困難となった。このため調査団は、途中段階のレビュー所見を関係者（AKF、日本大使館、JICA タジキスタン支所）に報告し、帰国した。調査団としての評価結果報告書 *the Mid-Term Review Report on the Project for Rural Development Project in Tajik-Afghan Border Area of Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast* をまとめ、後日、GBAO 政府、AKF/MSDSP に提出した。

2-2 主な調査項目とデータ収集方法

本中間レビューにおける主な調査項目及びデータ収集方法は以下のとおりである。

2-2-1 主な調査項目

(1) 成果ごとの主な調査・確認事項

成果1 農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する。

- ・ サブプロジェクトの選定過程、入札・調達過程、工事進捗及び施工管理/モニタリング体制
- ・ 運営維持管理体制と期待される施設効果

<p>成果 2 ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力（ニーズ発掘・計画策定、事業管理）を備える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ開発での VO、SUDVO、ASUDVO、郡/県/州政府、TWG、TVG の機能・役割分担 ・ 成果 1 の取り組み過程での関係者の稼働・協働状況、信頼関係の変化 ・ 実施した能力強化研修及び経験交流事業の概要、参加者の内訳 ・ ASUDVO の選定経緯、活動状況、費用負担、抱える課題、今後の活動継続性 ・ その他各ステークホルダーの活動状況、財政的状況、制度的位置づけ、課題等
<p>成果 3 タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クロスボーダー経験交流の実施状況、参加者の内訳 ・ クロスボーダーマーケットの状況（環境・条件、物流品目・量、行商人・訪問者数等） ・ 外部条件の影響有無

(2) 評価 5 項目に係る主な調査・確認事項

<p>妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開発ニーズの把握（コミュニティ及び郡/県/州政府のニーズ） ・ タジキスタン政府、GBAO 政府の政策変化 ・ 日本政府及び JICA の政策及び重点課題の変化
<p>有効性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サブプロジェクトの選定結果と開発ニーズとの整合 ・ サブプロジェクトの選定過程への住民関与、参加度合い ・ クロスボーダー事業の内容、必要性、政府/住民の意向 ・ 各成果とプロジェクト目標達成の関係性、外部条件の影響
<p>効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投入のタイミング、規模、質、量 ・ サブプロジェクトの調達・工事プロセス（入札・契約・工事施工管理） ・ 他の資金源による事業との連携 ・ プロジェクト管理における貢献/阻害要因（自然条件、治安等）
<p>インパクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置インフラのもたらした/もたらし得る短期・長期的効果（社会経済効果） ・ 政府/住民組織の意思決定・行動変容（協働・連携の好事例、失敗事例等） ・ 上記 2 点と上位目標達成との関係性 ・ 政治、社会、環境への正負の影響
<p>持続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置インフラの運営・維持管理体制（技術面、財政面、人的配置、関係機関の役割分担） ・ 住民参加型開発の実施体制の定着度合い（関係者モチベーション、制度的バックアップ） ・ クロスボーダー事業の定着度合い、継続見込み（関係者モチベーション、政策/制度的バックアップ、政治・治安面での阻害条件）

(3) 実施プロセス

- ・ プロジェクト・マネジメント状況 [モニタリング体制、意思決定過程、発生した問題の原因・対処・結果、関係者（JICA、AKF/MSDSP、GBAO 政府）間の意思疎通]
- ・ 政府の関与度合い、モチベーション、オーナーシップの変化
- ・ 他ドナーによる活動との連携・相乗効果
- ・ AKF/MSDSP（国際 NGO）への業務委託事業の特徴、優位性

2-2-2 データ収集・分析方法

(1) 既存文献レビュー・分析

- ・ AKF/MSDSP 各種報告書（四半期報告書、年次報告書、会計報告書、JCC・ワークショップ等議事録、インフラ事業進捗報告書、ベースライン調査報告書等）
- ・ 長期専門家月次報告書、出張報告書
- ・ タジキスタン政府国家開発戦略
- ・ タジキスタンにおけるローカルガバナンス関係資料

(2) インタビュー

- ・ タジキスタン支所長
- ・ プロジェクト長期専門家
- ・ UNDP タジキスタン事務所次長及びローカルガバナンス事業従事スタッフ 3 名
- ・ AKF 代表及びシニアプログラムオフィサー
- ・ AKF チーフファイナンスオフィサー
- ・ MSDSP 代表及び CBRD プロジェクト従事スタッフ 6 名
- ・ GBAO 州知事
- ・ シュグナン県知事、副知事及び TWG メンバー（県政府職員） 4 名
- ・ シュグナン県 ASUDVO 1 名

(3) グループインタビュー

- ・ ASUDVO 5 名（ダルバズ、バンジ、ロシヤン、シュグナン、イシュカシム各県）

(4) インフラ・サブプロジェクトのサイト調査

- ・ 全 44 件中 シュグナン県 8 カ所、ダルバズ県 2 カ所

表 2-1 調査団踏査サイト一覧

No	県名	郡名	村名	進捗 (%) ²	事業名
1	シュグナン	Darmorakht	Nishusp	30	飲料水供給施設整備
2	シュグナン	Darmorakht	Ghojak	30	小規模灌漑施設増設
3	シュグナン	Suchon	Barsem	95	車両通行用橋梁修復
4	シュグナン	Suchon	Bogev	40	飲料水供給施設整備
5	シュグナン	Suchon	Spinz	75	村落道路新設
6	シュグナン	Sokhcharv	Sokhcharv	60	飲料水供給施設整備
7	シュグナン	Sokhcharv	Chokhkandez /Dasht	0	小規模灌漑施設修復
8	シュグナン	Porshinev	Vozm	50	メディカル・ポイント建設
9	ダルバズ	Kalai-Khumb	Sangevni Daroz	40	学校増設
10	ダルバズ	Nulvand	Yoged	10	小規模灌漑施設整備

(5) AKF アフガニスタンによるプレゼンと質疑応答

- ・ AKF-A ホログ事務所 プログラムマネジャー
- ・ AKF-A ホログ事務所 プロジェクト・マネジメント支援オフィサー
- ・ AKF-A ホログ事務所 北部地域財務担当オフィサー
- ・ AKF-A カブール事務所 人材・組織開発オフィサー

² 現地調査開始時（2014年5月8日時点）の進捗率

第3章 プロジェクトの実績と実施プロセス

3-1 投入実績

3-1-1 日本側投入実績

(1) AKF-T への委託事業：280 万 USD（3 年間）

案件が開始された 2012 年 2 月から 2014 年 3 月末までに 102 万 7,928USD が執行され、最終年度となる 2014 年度に 177 万 2,072USD が執行予定である。表 3-1 のとおり委託金額の 8 割近くが能力強化活動とインフラ整備事業で構成される事業費に充てられ、オペレーション経費、間接経費は 2 割程度に抑えられている。

表 3-1 AKF 委託事業費 内訳 (USD)

会計年度 費目	契約時 配分額	2011 年度 (執行済)	2012 年度 (執行済)	2013 年度 (執行済)	2014 年度 (執行予定)	最新 配分額	%
人件費	193,422	3,433	53,869	62,767	74,269	194,338	7
旅費・交通費	187,101	589	31,202	34,548	50,500	116,839	4
事業費	2,057,600	394	63,669	648,561	1,433,292	2,145,915	76.7
能力強化事業	(207,600)	(394)	(63,669)	(66,496)	(51,468)	(182,026)	(6.5)
インフラ整備費	(1,850,000)	(0)	(0)	(582,065)	(1,381,824)	(1,963,889)	(70.2)
事務所備品等	16,423	0	15,958	0	3,300	19,258	0.7
その他業務費	90,906	140	20,780	10,672	40,539	72,131	2.6
間接費	254,547	0	17,759	63,587	170,173	251,518	9
合計 (US\$)	2,800,000	4,555	203,238	820,135	1,772,072	2,800,000	100

出所：プロジェクト会計報告に基づき作成

(2) 専門家派遣

AKF への委託事業の進捗管理、モニタリング及び、タジキスタン政府、GBAO 政府、コミュニティ関係者、JICA 本部、タジキスタン支所、アフガニスタン事務所との連絡調整を担う「コミュニティ開発・業務調整」長期専門家 1 名が AKF ドシャンベオオフィスに配属されている。GBAO における事業の進捗管理及びモニタリングは出張ベースで行われている。

また今後、2014 年度第 2 四半期に「参加型ファシリテーション」の短期専門家 1 名の派遣（2MM 程度）が予定されている。

表 3-2 専門家派遣実績及び今後の派遣計画

専門分野	派遣期間
長期専門家 コミュニティ開発・業務調整	2012 年 9 月～2014 年 9 月（12 月まで延長予定）
短期専門家 参加型ファシリテーション	2014 年 8 月～1MM（予定）

出所：農村開発部資料より作成

(3) 研修員受入

2013 年度に本邦で実施された集団研修「JICA-NGO 連携による実践的参加型コミュニティ開発」に表 3-3 のとおり MSDSP の主要スタッフが参加した。

表 3-3 研修員受入れ実績

研修員名	研修員職位	研修期間
Mr. Shodomon Hojibekov	Deputy General Manager, MSDSP	2013.8.19～10.5
Mr. Bakhtiyor Azizmamadov	Regional Manager, MSDSP	2013.8.19～10.5

3-1-2 タジキスタン側投入

- (1) カウンターパートの配置：ゴルノ・バダフシャーン自治州（GBAO）経済開発・計画局（カウンターパートリスト 付属資料 3 Annex 4）
- (2) ローカルコスト負担 なし

3-2 成果の達成状況

3-2-1 成果 1

成果 1 農村生活や生計向上の基盤となる基礎インフラの整備状況が改善する。

指 標：

- 1) 整備された基礎インフラ事業数が 42 件以上となる。
- 2) 基礎インフラへのアクセス率が 24%まで改善する。
- 3) 基礎インフラの利用住民の満足度が上がる。

【達成状況：多少の遅延はあるが、以下のとおり達成に向けて比較的順調に進捗している】

(1) インフラ整備事業の選定過程

- 対象地域内にある計 326 の村落組織（Village Organization：VO）のうち、324 の VO が既存の村落開発計画（VDP）³を更新し、うち 298 の VO から計画に基づくコミュニティ・インフラ整備事業（サブプロジェクト）計 498 件が申請された。VO レベルでは、コミュニティ構成員である老若男女の幅広いニーズの聞き取りに注意が払われた。課題により郡（jamoat）政府、MSDSP、ASUDVO、VO リーダーが調整役を果たした。郡（jamoat）レベルの選定会議では、すべての VO リーダーが提出案件のプレゼンを行い、住民が近隣村のニーズ、課題を把握・共有する機会となった。
- 郡→県→州の各段階で郡/県行政と住民組織 SUDVOs/ASUDVOs が協働で事業内容の検討・審査を行い、最終的に 44 件に絞り込まれた。選定基準として裨益率、直面する課題の深刻度が検討され、各県 TWG における選定では、Pairwise Ranking Matrix（PRM）が用いられた。

³ VDP は 1997 年にスイス開発協力機構（Swiss Agency for Development Cooperation：SDC）の支援を受けて、MSDSP が導入した。定型様式があり、主な記載内容は以下のとおり。1) 人口・構成員、公共財（自然資源含む property）、経済状況・経済活動、開発ポテンシャル、既存インフラ、2) VO と外部組織とのネットワーク（MSDSP、県政府、NGO、ドナー等）の現状、3) 必要な支援・事業リスト〔①人材配置（医師、建築士、教師等）、②インフラ整備〕と必要理由。

- ・ サブプロジェクトの内訳は下表 3-4 となり、1 件当たりの平均単価は約 4 万 4,700USD、最大はイシュカシム県中等学校改修（ホール含む 16 室）12 万 7,363USD、最小はイシュカシム県小規模灌漑施設改修（3km）1 万 268USD となっている。

表 3-4 サブプロジェクト 44 件の内訳

インフラ種類	件数 (%)	インフラ種類	件数 (%)
飲料水供給施設設置	11 件 (25%)	橋梁修復	3 件 (7%)
小規模灌漑施設設置	7 件 (16%)	小水力発電施設（一部）の改修	3 件 (7%)
学校改修・教室拡張	7 件 (16%)	スポーツ施設設置	1 件 (2%)
保健施設設置・改修	6 件 (14%)	公衆トイレ設置	1 件 (2%)
道路整備	4 件 (9%)	護岸工事	1 件 (2%)

- ・ 選定過程では、県政府の戦略計画（Strategic Plan）に既に掲載され、予算措置のめどがたっているものは、CBRD での支援対象から除外され、また CBRD により選定された事業は新たに戦略計画に反映された。村落のニーズがボトムアップで郡、県に共有され、県レベルの政策に生かされるメカニズムがインフラ整備過程で形成された。

(2) 調達・実施管理

- ・ 入札はタジキスタン政府及び JICA のルールに則り、MSDSP が実施した。行政規則により、公共施設は政府登録設計業者によって詳細設計される必要がある。このため設計業者の入札・設計を経て、セクターごとの工事業者の入札を行い、計 6 回の入札で 93 社の応札があった。公告はホログ及び首都ドシャンベでも行われ、開札は GBAO 政府、MSDSP、JICA の立ち会いの下、適正な手続き⁴により行われた。
- ・ 地方都市ホログでの工事に GBAO 外に拠点のある業者の関心が集まらず⁵、また小水力発電等の一部セクターでは、施工可能な業者数が限られる等の理由で、入札成立を満たせないケースがあった。また落札業者が当該工事に必要な経験、技術を有しないため、再入札も生じた⁶。問題発生時における調達ルールの弾力的運用が必要であり、プロジェクトと JICA との間でより密な情報交換が必要だった可能性がある。

(3) 工事進捗状況

- ・ 44 件のうち、25%の事業は完工済、あるいは完成間近である。一方、冬期の豪雪によ

⁴ 入札告示は新聞（全国・ローカル）、UNDP ウェブサイトで行い、行政ルールに基づき tendering committee を設置し、入札には州政府を含む JCC メンバーが参加した。選定結果は VO を含む関係者及びすべての参加業者に通知・説明された。入札手続きに不慣れな業者もあったが、入札ルールの説明や、提出書類に不備がないよう助言を行うなど、現地業者への指導、キャパシティビルディングも適宜行われたことが MSDSP 担当者の聞き取りから確認された。

⁵ 大半の工事は、GBAO にある地元業者が請け負ったが、一部ドシャンベの業者が落札したものもある。シュグナン県灌漑水路修復工事では、ドシャンベの落札業者が、仕様の合わない資材を搬入し、資材の再調達・再搬入の手配が遅れている事例があり、MSDSP、郡長等が対応中である。現地調査サイトで各 VO から聞き取った限りでは、総じて地元施工業者のほうに実情にあった適正技術や工事実績があり、また輸送・通信コスト面でも有利であるように観察された。

⁶ 複数案件を受注した業者が、結果的にキャパシティオーバーとなり、一部案件の契約撤回が生じ、再入札となった事例も報告された。

り資材の搬入が遅れた影響で、未着工の事業が4件あるが（灌漑2件/シュグナン県及びイシュカシム県、学校増設1件/ダルバズ県、小水力発電用水路1件/ルシャン県）、近日中に着工し、全件とも2014年以内に完工する見込みである。プロジェクトはスケジュールどおり2014年2月に完了できることをAKF/MSDSPに確認した。

- ・ サブプロジェクト実施過程で、工事契約とは別に、建設業者、VO、SUDVO、ASUDVO、郡/県政府、MSDSP間で、それぞれの役割、責任を明確化した合意文書が結ばれ、各者の密な情報交換の下に実施管理・モニタリングがなされている。
- ・ 技術的な施工管理は、MSDSPのエンジニア（5名体制）が詳細設計書に照らし合わせ、定期的実施していることが確認された。サイト踏査には通常VO長とSUDVOが同行し、問題がある場合は、書面による改善指導が業者になされ、MSDSP各県事務所が業者の対応状況をモニタリングし、適切なモニタリング・施工管理体制がとられている⁷。

(4) インフラ整備事業における住民の貢献

- ・ 調査団が訪問したシュグナン県の8つのVOすべてにおいて、住民がインフラ工事のために、送水路/側溝掘削作業等の労働力や土地、労働者の食事など、何らかの支援を提供している⁸。またバンジ県では、これらのほか、資金（VOメンバー会費によるVO基金からの拠出）の提供もなされ、住民の高いイニシアティブやオーナーシップが確認された。

(5) 政府と住民（住民組織）との連携・協働

- ・ 工事中に郡/県政府が資材不足を補填した事例⁹や、道路整備で当初工事区間に加え、近隣村落までの延長区間分の建設工事費用を県政府主導で資金調達を行った事例が報告された。建設業者と住民間のもめ事が生じた事例¹⁰もあるが、郡/県政府がASUDVO、MSDSPとともに仲裁に入るなど、インフラ整備に対する住民、行政双方の主体性、オーナーシップの高まりが観察されている。

⁷ モニタリングの過程で、詳細設計の変更の必要が生じた事例もあるが、適切な対応がとられている。シュグナン県のスポーツ施設改修工事で、住民の要請に応じ、施設からの隣家への落雪を回避するため、屋根の形状を変更する必要が生じた。建設業者と関係者が協議のうえ、設計会社による設計修正を経て、変更案をVOリーダー、SUDVO、MSDSPが再確認し、工事が再開された。また同県の橋梁補修では、木製橋板仕様の設計がなされたが、車両用の橋梁であることから、住民から鉄板への変更要請があり、住民、MSDSP、ASUDVOを交え協議のうえ、要請が受け入れられた。一方、工程管理については、灌漑施設全7件中少なくとも2件について、7～8月の渇水時までには完工するよう住民からの要望が寄せられており、今後、より密な工程管理が必要であることを調査団より指摘した。学校の改修では、学期中の授業への支障が生じないよう工程管理上の配慮がなされていることがサイト視察、関係者の聞き取りから確認された。

⁸ シュグナン県Spinz村の全長2kmの山岳道路新設工事では、住民の申し出により、道路建設用地が無償で提供された。また一部200mの工事は岩場のため建設機械を数台搬入して行ったが、同時並行で住民がボランティアで、落石防止壁を道路谷川に設置し、道路幅を拡張する等の作業を支援した。作業地より下降の幹線道路にある他村の民家より、工事中の落石への懸念・クレームが寄せられたために講じられた対応である。このほかにも、多くの住民による工事支援の事例が確認された。

⁹ ダルバズ県Yoged村の灌漑施設サイトでは、当初想定以上にセメントが必要となることが判明し、協議の結果、県政府が2tのセメントを提供している。

¹⁰ イシュカシム県Andarob村の給水事業では、村人達が業者に委託せず、自分たちで工事を行うと主張したが、県政府が仲介し、建設基準を満たすために、業者の必要性を説得し、工事が再開されている。

(6) インフラ完工後の引き渡しと維持管理体制

- ・ 完工検査は MSDSP のエンジニアと各州政府の建築技師が実施し、瑕疵がなければ、MSDSP が引き渡しレターを VO 及び州政府に対して発行する予定である。
- ・ すべてのインフラ施設は、完工検査後、各県行政の所定部局（灌漑・水事業局、コミュニティ・サービス局、保健局、教育局、道路維持管理事業局等）の管轄下に置かれるが、日常的な維持管理は各 VO が担うことが確認された。VO は村内公共施設の維持管理やその他の活動のために VO 基金を設定しており、訪問した VO のいくつかは、既に 6 万～10 万ソモニの VO 基金を運用している。通常、世帯ごとの徴収額は 5～10 ソモニ/月だが、世帯の家計状況が配慮されている。また VO 基金には、出稼ぎ労働者からも出資がある。給水、灌漑施設では VO 内に水管理組合が設置され、利用料（3～5 ソモニ程度）を徴収し、維持管理に充てられる。維持管理費から有償で水管理担当者を配置する VO もある¹¹。

(7) インフラへのアクセス率の指標

- ・ 2013 年 3 月の JCC でアクセス率改善の目標値が 24%に設定された。その後、2013 年 5 月に提出されたベースライン調査報告書¹²では、基礎インフラへの物理的なアクセス率はそれを優に超える高い数値であった。数値だけをみれば、不当に低い目標値が設定されたことになる。一方、これらインフラはソ連時代に設置され、老朽化が著しく、全面改修や大幅な修繕の必要性があり、インフラの質も加味して 24%という数値が設定されたことが判明した。インフラ種別ごとのアクセス率のばらつきも踏まえ、質面の改善効果も含めた主要インフラごとの指標の必要性があるため、調査団は第 5 章提言に記載のとおり適切な指標の設定を求めた。

表 3-5 主要インフラへのアクセス率 (%)

県名	道路	エネルギー	橋梁	灌漑施設	飲料水施設
ダルバズ	100	100	56.5	77.9	79.8
バンジ	100	98	76.3	99	32.7
ルシャン	100	98	73.3	81.1	64.2
シュグナン	99	99	73.3	100	73.2
イシュカシム	99	100	72.4	96.2	45.7
平均値	99.6	99	70.4	90.8	59.1

出所：CBRD ベースライン調査報告書 2013 年 5 月

¹¹ 調査団が訪問したシュグナン県の VO では、世帯ごとの給水施設利用料は 3～5 ソモニ/月が一般的であったが、バンジ県の ASUDVO からは 10 ソモニ/月を徴集し、専従管理者を配置している事例が紹介された。

¹² ベースラインサーベイでは、調査員を採用・訓練のうえ、無作為抽出によって選ばれた世帯に対し、質問表を使った聞き取り調査が行われた。サブプロジェクトの内容が固まる前に、ベースラインサーベイの方法が決まっていたために、サブプロジェクトの効果検証に必要なサブプロジェクトごとのベースラインサーベイができなかったことが、MSDSP Regional office の monitoring and evaluation officer の聞き取りから判明した。なお AKF/MSDSP 内でモニタリング/サーベイ実施機能が分散しており、MSDSP Central office（ドシャンベ）の monitoring and evaluation 部門がベースライン調査・モニタリングの方法論やツールを開発、データ分析を行い、Regional office（ホログ）の monitoring and evaluation officer が主に情報収集を担当する。また AKF の monitoring and evaluation 部門が規模の大きなインパクト調査を担う分担体制である。またベースライン、エンドライン調査ともに実施にあたり州政府の事前承認が必要となる。

成果2: ローカルガバナンス組織が住民の必要に基づいた社会サービスを提供できる能力(ニーズ発掘・計画策定、事業管理)を備える。

指 標 :

- 1) 「対象地域住民の75%がASUDVOsの提供した事業に満足する。
- 2) 対象地域住民の70%が郡政府(Jamoats)の提供した事業に満足する。
- 3) 対象地域住民の65~70%が郡政府の提供した事業に満足する。
- 4) ASUDVOs、Jamoats、県政府おのおのの自己評価が上がる(1~5段階評価)。
- 5) ローカルガバナンス組織間の連携が増える(1~5段階評価)。

【達成状況：達成に向けて以下のとおり順調に進捗している】

(1) ローカルガバナンス組織の定着

- ・ プロジェクト開始前から活動している VO¹³、SUDVO に加え、本プロジェクトでは、県レベルでコミュニティ開発を統括する ASUDVO を設置¹⁴し、地域開発において行政とコミュニティを結ぶフォーカル機関として能力強化を行った。
- ・ また県レベルの開発計画・事業を協議する場としてテクニカル・ワーキング・グループ(Technical Working Group : TWG、構成員は県副知事、各行政局長、ASUDVO)が各県に設置され、県政府及び住民代表が協働・協議する開発事業運営のメカニズムが構築された。TWG はサブプロジェクト選定、工事实施管理、運営・管理の各ステージで調整機能を担い、経験を蓄積している。ダルバズ県では隔週に、その他4県では毎月、TWG 会合が開催されている。
- ・ ボトムアップで吸い上げられた住民のニーズが TWG を通じて県政府の開発戦略計画(District Strategic Plan)に反映された好例もあり(シュグナン県)、プロジェクト開始前は別個に進められてきた住民主導型開発と行政主導の開発計画策定が、本プロジェクトを通じて、統合される気運が生じている。また行政、住民組織それぞれのステークホルダーの役割・責任の明確化、多様なステークホルダーの巻き込みによる主体性の向上、透明性の確保といった効果がみられている。
- ・ 各県の ASUDVO はサブプロジェクトの実施管理に加え、より広範なコミュニティのニーズに応えるため、主体的にファンドレイジング活動を行い、他ドナーや政府からの支援を得て、食料配布(シュグナン県、イシュカシム県)や洪水対策(シュグナン

¹³ 調査団が訪問したシュグナン県内の VO はいずれも、管理・運営部、青年部、婦人部、宗教部、農業部等が組織され、村落活動が行われていた。定期的に全体及び部ごとの会合が開催され、集落内の課題や活動状況が共有されている。

¹⁴ ASUDVO は州法務局に登録された市民組織という位置づけとなる。現在活動中の5名の選出経緯は以下のとおり。<シュグナン>SUDVO、MLO でボランティア活動を行ってきた経緯から、SUDVO により選出。<イシュカシム>公募により選出。前職は MSDSP のファシリテーターで Community-based Saving Group 事業を立ち上げた。<ダルバズ>前任者が県政府教育局に転職のため、2013年8月に着任。前職は VO リーダーだが、それ以前は県政府教育局勤務経験あり。SUDVO が4名の応募者のなかからテストを経て選出。<ルシャン>ソ連時代は郵便局勤務でコミュニティに近い仕事に従事。1998年に新設された VO で、当初は VO 会計担当、のちに VO リーダーを務めたあと、SUDVO メンバーに選出。今回は SUDVO メンバーからの推薦で ASUDVO に。<バンジ>8年間、MSDSP 県オフィスで Participatory development officer として勤務後、ASUDVO に選出。

県)、医療保健事業(ルシヤン県、イシュカシム県)、幼児教育事業(全県)等が実施されている¹⁵。また定期的に各村落を巡回し、農業技術や生活・生計向上に係る情報発信を行うとともに、村落の状況を TWG にフィードバックしている。こうした ASUDVO の①プロジェクト実施管理、②プロジェクト形成・ファンドレイジング、③政府・ドナーに対する働きかけ(ロビーイング)といった活動は、政府、住民双方から高い評価を得ていることが確認された。

- 一方、ホログに隣接するシュグナン県以外の ASUDVO からはファンドレイジングの難しさを指摘する声もあった。州都ホログ以外ではドナー動向やファンド情報の入手が困難で、地方での英語通訳・翻訳者の不足からプロポーザルの準備が語学面でも時間面でも大きな制約を受けている。また ASUDVO が新設され間もない組織であり、財政基盤が弱い点で、信用を得ることが難しいケースもあり、ファンド獲得上のハンディとして指摘された。

(2) 能力強化研修、経験交流の実施状況

- ASUDVO を中心とする TWG メンバーは、表 3-6、3-7 のとおり開発計画策定・管理、問題解決等のための研修を受講し、域内での経験共有・交流のほか、キルギス、パキスタンの地域開発事業の視察を行った。GBAO 州経済開発局長、投資局長が、キルギス、パキスタンでの域外研修に参加したことで、カウンターパート(Counterpart : C/P)としてのモチベーションに好影響を与え、単に報告を受けるだけの受け身の姿勢から、CBRD プロジェクトに対する自発的オーナーシップが高まり、以後、トラブルシューティングにも協力的になったことが専門家から報告されている。
- 今後、モニタリング・レポーティング研修、域内での経験共有機会が予定されているが、これに郡行政(Jamoat)担当者及び SUDVO を含めることを検討中である。

表 3-6 ASUDVO 及び TWG 向け能力強化研修(実績と今後の予定)

	Training Title	Conducted by	Period	Target Group	Participants No.
1	Visioning Exercise	MSDSP PG specialist	1 day in April to June 2012	ASUDVOs	5 males
2	District-Level Priority Planning	MSDSP PG specialist	1 day in July to September 2012	ASUDVOs, TWGs & MSDSP Districts	13 males 2 females

¹⁵ 例えばシュグナン県 ASUDVO は、CBRD サブプロジェクト内で実施された住民の無償労働に対し、国連食糧計画(United Nations World Food Programme : WFP)から Food for Work(給水事業 7 件、灌漑事業 2 件)による支援を引き出したほか、県内へき地に対する Vulnerable Group Feeding Programme で、2013 年に 8 万 9,500USD、2014 年に 5 万 2,000USD の食料支援を実施している。またイシュカシム県では、CBRD の対象外の 10 の VO で SDC 支援による給水事業を実施し、このなかで実施される住民の労働に対し、WFP の Food for Work による支援を獲得した。また Aga Khan Health Service の Community-based Health Finance(CBHF)を 8 つのへき地にある VO で実施し、救急医療(搬送費、治療費、薬代)のための保険システムを導入中。ルシヤン県でもイシュカシム県同様に、CBHF を展開。当初 15 の VO から開始したモデルを現在までに 36 の VO に拡大し、今後全域に展開予定。このほかに AKF Education の下で、県内ほぼ全 VO に Early Childhood Development Center を設置済。

3	Project Cycle Management (PCM)	NGO Kalam experienced specialist/trainers	2 days in October – December 2012	ASUDVOs & TWGs	10 males
4	Conflict Resolution	NGO Kalam experienced specialist/trainers	2 days in April - June 2013	ASUDVOs & TWGs	11 males
5	Gender for Development	Two qualified experienced trainers	2 days in April - June 2013	ASUDVOs & TWGs	10 males 1 female
6	Common Property Resource Management	A trainer with PhD in Economic science, Head of Economic, Management and Finance Department of Public Administration Institute under the President of the Republic of Tajikistan	2 days in October - December 2013	ASUDVOs & TWGs	10 males
1	Monitoring and Report Writing	MSDSP PMEU specialists will conduct the training	(planned) 1 day in April - June 2014	ASUDVOs & TWGs	TBD

出所：プロジェクト作成資料

表 3 - 7 域内経験交流・海外視察研修（実績）

Activity Title	Place/Location	Host Organisation	Date visit	Target Group	Participants No.
In-country experience sharing visit	Shugnan district, GBAO	MSDSP	11 of January 2013	ASUDVOs, TWGs & NGOs	13 males
Experience sharing visit to Kyrgyz	Kyrgyz (Bishkek, Issyk-kul, Osh)	AKF Krg. & MSDSP Krg. JICA OVOP project	5 to 12 February 2013	ASUDVOs, TWGs and JCC	11 males 1 female
Experience sharing visit to Islamabad/Pakistan	Islamabad	Rural Support Programme Network	16 to 25 January 2014	ASUDVOs, TWGs and JCC	10 males

出所：プロジェクト作成資料

- ・ 能力強化の度合いには個人差があると思われるが、ASUDVO のなかからは、コミュニティが抱える真の課題を探ることへの挑戦とその難しさを実感しているとの話も聞かれた。事例として、VO からのメディカル・ポイントの要請に際し、村人の話を聞くなかで、当該村落が抱える課題は医療サービス体制の改善ではなく、安全な水の確保（給水事業）によって村人を感染症から守ることだと気づいたことが挙げられた。限られた資金源により、より本質的な課題解決につながる対応を模索する様子が見えた。
- ・ また GBAO における Community mobilization やそのための能力強化事業が直面する課題として、ASUDVO や SUDVO を通じて育成したコミュニティの若者が出稼ぎに出てしまい、コミュニティ運営の適材が常に VO には限らない現実があることへの言及が MSDSP 担当者からあった。短期的にみればキャパビル成果の流出となるこれらの事態は、別の側面では、同人が出稼ぎ先でスキルを提供し、送金という形でコミュニティに還元されているとも同担当者は指摘しており、長期にわたる出稼ぎ移民の多い GBAO における能力強化のインパクトは多面的に、また長期的にとらえる必要があると思われる。

3-2-3 成果3

成果3：タジキスタン側行政組織とアフガニスタン側行政組織の協力体制が強化される。

指 標：

- 1) クロスボーダー委員会の構成員によるタジキスタン、アフガニスタン両国の連携に対する満足度が60%以上となる。
- 2) クロスボーダー会合、経験交流機会がローカルガバナンス組織参加の下、定期的で開催される。

【達成状況：達成に向けて以下のとおり順調に進捗している。】

(1) クロスボーダー経験交流の実施状況

- ・ クロスボーダー委員会をシュグナン県・ロシャン県合同で2013年9月、ダルバズ県・バンジ県合同で2013年11月に計2回で開催し、2014年度はイシュカム県にて開催予定である。事前準備会合を含めた交流実績は表3-8のとおりである。

表3-8 クロスボーダー経験交流実施実績

Activity Title	Location of activity	Host Organisation	Date visit	Target Group	Participants No. (M/F)	Remarks / Findings
Cross-border experience sharing	Shugnan Afghanistan	AKFA.	11-12 June 2012	MSDSP GBAO & CO	4 males	
Cross-border experience sharing	Shugnan district, GBAO	MSDSP	13-15 June 2012	AKFA	7 males	

Pre-conference experience sharing visit	Shugnan Afghanistan	AKFA.	01 - December 2012	ASUDVOs & TWGs from Shugnan and Rushan districts, JCC, MSDSP	12 males	Meeting with local government, DDAs, CDCs and CLDCs of Afghan Shugnan
Pre-conference experience sharing visit	Ishkashim Afghanistan	AKF-A	March 2013	ASUDVOs & TWGs from Ishkashim, Vanj & Darwaz districts, MSDSP	10 males 2 females	Meeting with local government, DDAs, CDCs and CLDCs of Afghan Ishkashim
Cross-border Conference	Khorog Cross-border Market territory, Tajikistan	MSDSP	17 August 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP (Shugnan and Rushan districts)	12 males 3 females	Cross-border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, local governments and CLDCs of Shugnan and Darwaz in Afghanistan
Cross-border Conference	Darwaz Cross-border Market territory, Tajikistan	MSDSP	21 December 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP (Darwaz and Vanj districts)	10 males 2 females	Cross-border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, Local Governments and CLDCs of Shugnan and Darwaz in Afghanistan

出所：プロジェクト作成資料

- またタジキスタン側及びアフガニスタン側の地域開発に係る住民組織、行政がクロスボーダーマーケット近くで一同に会し、本プロジェクトの経験交流のみならず、双方の地域開発やローカルガバナンスの現状・課題を協議・意見交換している。このような場の設定を通じて、国境をまたぐ課題への対応の必要性が認識されている。

(2) 州レベルのイニシアティブ

- 州レベルでは、2014年2月にタジキスタン側 GBAO 政府とアフガニスタン側バダフシャン県政府が AKF、他ドナーの同席の下、会合を開催し、クロスボーダー協力分野の洗い出し（インフラ整備を含む経済開発、教育・文化、保健、農業・農村開発等）が行われた。今後も定期的な会合や相互訪問が予定されている。なお、同会議には、軍、治安、税務局、国境警備隊等も含め、多様な関係者が参加しており、従来クロス

ボーダー協力に距離を置いていた関係者の間でも、協力に向けた理解が促される機会となった。

(3) 県レベルのイニシアティブ

- ・ シュグナン県、イシュカシム県では、VO、SUDVO、ASUDVO が四半期ごとにクロスボーダー事業の優先課題について、意見交換している。シュグナン県の優先分野は農業（種子・果樹の交換）、保健（アフガニスタン人向け救急医療の提供¹⁶）、教育（中央アジア大学へのアフガニスタン人留学生の受け入れ）等である。またマーケットチャンスとして、シュグナン・クロスボーダーマーケット¹⁷の活用を地元農民・商人に売り込む活動を ASUDVO が行っている。
- ・ ダルバズ県¹⁸のクロスボーダーマーケットには、アフガニスタン・バダフジャンのみならず、クンドゥズやタジキスタン・ハトロン州からも売買人が訪れ、タジキスタン側マーケットでイモ価格が高騰した折は、アフガニスタンのイモが重宝されたことがあった。

(4) 国境管理等

- ・ アフガニスタン住民のタジキスタン側への越境の制限がタジキスタン側国境管理警察により課せられるケースが時折生じているが、クロスボーダー交流が妨げられないよう県政府が治安関連部局に協力依頼のレターを発出するなど、支援を行っていることが確認された。
- ・ またこのほかにも、大統領選挙等の政治イベントや感染症の発生等の理由で、国境が一時的に封鎖されることがあったが、長期にわたる国境封鎖につながるような重大な事態にはなっておらず、今後も障害となる問題は観察されなかった。

(5) クロスボーダー協力に係る地域差

- ・ クロスボーダー橋やマーケットの有無など地理的条件により、関心度合いに多少のばらつきはあるが、おしなべて行政、住民組織ともにクロスボーダー協りに前向きであり、政府レベル及びコミュニティ代表間で社会的及び経済的交流が促進されることが期待される。

¹⁶ 既に保健分野では、妊婦など緊急性の高いアフガニスタン人患者はビザや書類がなくても、タジキスタン側で緊急医療が受けられる体制がシュグナン県、ダルバズ県では整っている。

¹⁷ 毎週土曜日の午前中に国境橋の両側で開催されており、タジキスタン側マーケットには、アフガニスタン人商人約 200 名、タジキスタン商人約 100 名程度が出店し、ホログ住民のショッピングサイトとして賑わう。視察時の客足 200～300 人程度。出店者は、マーケット運営を委託されている地元 NGO の Melal Inter に登録し、利用料(1 ソモニ/ブース)を支払うが、アフガニスタン女性は出店料不要。以前より、週 2 回に増設の話があるが実現はしていない。扱われる品物は、アフガニスタン商人は、布地、生活用品、アクセサリー、本、ハーブ、楽器、星占いなど（アフガニスタン側からの食品持ち込みは禁止）、タジキスタン商人の品物は、食品、衣類、ジュース・ケバブコーナー等で、場内にはアフガニスタン、タジキスタン双方の国境警察が巡回する。

¹⁸ このほか、ダルバズ県ではドイツ復興金融公庫（Bank aus Verantwortung : KfW）の支援で、クロスボーダー給水事業が予定されている。水源がタジキスタン側にある 2 地点でタジキスタン→アフガニスタンに送水、逆に水源がアフガニスタン側にある 1 地点でアフガニスタン→タジキスタンに送水し、相互に融通しあう体制の構築に向けて MSDSP とダルバズ県がアフガニスタン側と調整を行っている。

3-3 プロジェクト目標の達成見込み

プロジェクト目標：対象地域における住民への社会サービスが向上する。

指標：

- 1) 対象地域の住民の 80%以上が社会サービスやガバナンスの仕組みを理解している。
- 2) ローカルガバナンス組織について、住民の 70%以上が「住民の声を吸い上げている (responsive、inclusive)」と評価している。

【達成見込み：各成果の達成状況は良好であり、第 5 章提言に盛り込まれた活動が実施され、サブプロジェクトが計画どおり完工し、ASUDVO が活動を中断しなければ、プロジェクト目標である住民の社会サービスの向上は達成される見込みである。】

ボトムアップアプローチで提案・選定された 44 件のサブプロジェクトのうち、20%は完工間近、4 件は冬期の豪雪の影響で未着工であるが近日中に着工予定であり、全件が 2014 年内に完工の見込みで進められていることが確認された。インフラ整備が住民生活に与える直接的・間接的効果は多々想定されるが、最も件数の多い給水施設では、多くの村落が現在、水路や川の水を飲料水、農業、家畜用に使っており、衛生状態が悪く、チフス、肝炎等が多く発生している。また冬期は凍結した川で氷を割って水汲みしていた子どもが割れ目に落ち、亡くなった事例¹⁹も報告されており、こうした状況が大幅に改善される。小規模灌漑では、野菜（イモ、トマト、キュウリ等）、果樹、家畜飼料の生産量の増加が見込まれるほか、橋梁や道路整備では公共施設やマーケットへのアクセスが改善され、野菜、果樹、ジャム等の加工品の販売増も見込まれる²⁰。

プロジェクトの選定及び実施プロセスに住民が主体的に参加しており、施設の運営・維持管理に対しても VO のオーナーシップやコミットメントは非常に高い。完工後、インフラ施設は県政府の管理下に置かれるが、VO による維持管理を行政が技術的に支援することが確認されている。なお、行政による保健・教育施設への家具、資材の提供や、道路・橋梁等で、今後 VO では対応できない規模の修繕が必要となる場合の行政による支援の確約を、MSDSP を通じ確認していくことが、今後のプロジェクト期間内の課題である。

開発実施体制面では、県レベルで住民側と行政側の調整役として能力強化を行った ASUDVO は適切に役割を果たしており、他ドナーから資金を獲得し、新たな事業にも着手するなど、住民組織、行政双方からの信頼を得て、その活動・機能は定着している。また県政府内に設置された TWG は、CBRD プロジェクトの実施管理のみならず、シュグナン県では他ドナーの事業の承認・実施管理まで活動範囲を拡大しており、県政府の制度として定着しつつある。このモデルの他県への拡大が期待される。

またクロスボーダー委員会の設置や相互視察・交流によって、州や県行政、住民組織の各レベルでタジキスタン、アフガニスタンの相互理解が促進され、クロスボーダー協力を展開していくうえでの基盤が形成されつつある。

¹⁹ 子どもが亡くなった事例はシュグナン県 Bogevev 村での聞き取りによる。

²⁰ シュグナン県 Barsem 村では、CBRD で車両用橋梁を修復するまでは歩道橋（吊り橋）1 本のみがホログ市に続く幹線道のある対岸へのアクセスであった。また同県 Spinz 村では、幹線道路までの近道 2km の新設により、従来の悪路 8km の工程が短縮され、マーケットのみならず、病院など基礎インフラへのアクセスを大幅に改善するとともに、冬期は豪雪のため利用が極めて困難だった旧道に比べ、地形的に新設道は冬期も通行可能となる予定である。

3-4 実施プロセス

(1) 意思決定メカニズム及びモニタリング体制

プロジェクトの最高意思決定機関として、合同調整委員会（Joint Coordinating Committee : JCC）が設置され、プロジェクトの活動進捗及び成果達成状況と次期活動計画内容の確認・承認の機能を担っている。2013年3月に開催された第1回のJCCでは、サブプロジェクトリストが承認された。第2回は調査団滞在中の2014年5月に実施予定であったが、ホログでの騒擾事案発生のため、開催中止となった。

またJCCの下で、サブプロジェクトの選定、実施、モニタリングを担う州レベルの協議機関として、テクニカル・ベリフィケーション・グループ（Technical Verification Group : TVG）、県レベルの協議機関としてテクニカル・ワーキング・グループ（Technical Working Group : TWG）が設定された。

業務調整専門家の着任が2013年2月の案件開始から約半年遅れ、またJICAの行動規制により、当初GBAOへの渡航が制限された。このため初期の活動モニタリングはドシャンベからメール、電話ベースを通じた遠隔作業となった。第2年次以降は現地渡航が可能となり、これまでにサブプロジェクト44件中32件のサイトを訪問し、進捗をモニタリングしている。

サブプロジェクトの技術的施工管理、モニタリングはMSDSPエンジニア（5名体制）及びTWG建築技師が担っている。またASUDVO、SUDVO、郡長も定期的にサイトを訪問し、連携して進捗確認、問題解決にあっている。

なお、AKFとMSDSPモニタリング上の役割分担は、前者は主に中央政府、州政府との調整が必要な課題につきモニタリング、統括を行い、後者は現場レベルの情報収集、日々の活動管理を担う。CBRDプロジェクトの進捗管理モニタリングのほぼ9割はMSDSPによる。

(2) 住民参加の仕組み

VOは1990年代後半に設立され、以来、住民参加によるコミュニティ活動を実施してきた。訪問したすべてのVOは、VO基金（VO会費の積み立て）や住民による奉仕活動、また政府、ドナーの援助を得て、地域の生活改善、生計向上に積極的に取り組んでいた。また給水施設や小規模灌漑施設の管理を目的とする自助水管理組織 Water Users Association（郡レベル）/Committee（村落レベル）等もVOによっては設置済み、あるいは施設の稼働とともに設置予定で、インフラ施設の維持管理についても、高い主体性がみられた。

本プロジェクト開始前までに、VO（村落）からSUDVO（郡）までのボトムアップのコミュニケーションラインがあったが、本プロジェクトがASUDVOを各県に設置し、住民組織代表としてASUDVOがTWGに参加することを通じ、県までのボトムアップラインが繋がった。またシュグナン県では、県戦略計画²¹とVDPの調整がなされており、参加型の開発行政に向けた第一歩となり得る。

また、本プロジェクトの対象5県のうち、ダルバズ県、バンジ県は他県に比べ厳格なイスラム教徒も多く居住する地域で女性の行動範囲に一部制限があり、男女共同の会合や研修ができない村落もある。このため、サブプロジェクトの実施にあたり、必要に応じて、男女別

²¹ Strategic Development Plan は Ministry of Economic Development and Trade 管轄下で作成される県の開発プランで、県政府内では、Economic Development Department が所掌。

にコミュニティでのミーティングを開催する等の、ジェンダー配慮も行われている。

(3) 行政の巻き込み

CBRD で設置した州レベルの TVG 及び県レベルの TWG は、他のドナーや州政府予算による開発事業等、CBRD 以外のプロジェクトの選定、実施にも少しずつ関与しはじめている。CBRD を通じて、政府職員が開発事業管理における「参加型」アプローチを理解し、ニーズの優先順位づけの方法を学び、これまでのような住民と距離のある形ではなく、友好的にコミュニティ開発事業の実施管理に携わるようになった変化を MSDSP の幹部も実感しており、また州、県、郡政府ともに参加型開発の重要性を認識し、TWG の設置を高く評価している。行政の最小単位である郡政府 (Jamoat) は、主に村落の社会、経済、文化にかかわる領域で県政府より権限を委譲されている。郡政府は VO にとっての行政窓口となるが、活動予算の配賦を受けていないため、開発行政では村落間の紛争解決や郡への情報伝達等のコミュニケーション、また登録・認証業務が主な機能である。

一方、県には中央政府より、保健、医療等を中心とする社会開発予算が割り当てられている²²。本プロジェクトにおいても、インフラ施設の運用・維持管理を主管することになっているが、人件費以外の施設運営に係る予算配分が十分でない一面がある。

しかし、本プロジェクトでは、3-2-1「成果の達成状況 (成果 1)」にも記載のとおり、インフラ整備中の資材の不足時に県予算から補助が手当てされ、また住民・業者間トラブルの発生時に県が仲裁に入るなど、県行政の積極的な関与が確認されている。またクロスボーダー協力についても、州及び県政府のコミットメントは非常に高い。治安、政治、外交的判断、配慮が不可欠となるクロスボーダー協力を推進するにあたり、州、県政府の積極的関与があることは特に重要である。

なお、2013 年秋のタジキスタン大統領選挙後に、州知事を筆頭に GBAO 政府、県政府の職員の人事異動が行われた。これに伴い、TWG メンバーの交代が発生し、MSDSP や ASUDVO は新メンバーへの CBRD の説明、協力依頼等の対応に迫られたが、これまでに大きな問題もなく、新体制での活動に切替えられていることが確認された。

²² 複数関係者からの聞き取りよれば、県政府予算の 80～85%は中央政府から配分され、15%～20%が県内歳入となっている。

第4章 評価結果

4-1 評価5項目による評価結果

4-1-1 妥当性：高い

(1) タジキスタン政府、GBAO 政府の政策との整合性

2015年を目標としたタジキスタン政府の長期戦略「国家開発戦略2015」(National Development Strategy : NDS)は、官民連携によるアフガニスタンとの地域協力の推進を打ち出している。またNDS達成のため中期戦略として本プロジェクトの開始時に言及された「貧困削減戦略2010-2012 (Poverty Reduction Strategy : PRS2010-2012)」は、開発課題のひとつとして「国民に対する基礎的な社会サービスの向上と人材開発」を打ち出し、優先活動のひとつに地域協力の推進、とりわけアフガニスタンとの協力の拡大を挙げている。後継戦略となる「生活水準改善戦略」(Living Standard Improvement Strategy 2013-2015:LSIS)では、地域間協力への言及はないものの、GBAO州知事との面談では、引き続きクロスボーダー協力の重要性が指摘されている。よってアフガニスタンとのクロスボーダー協力の推進を見据えた本プロジェクトの国境地域開発は、タジキスタン政府及びGBAO政府の政策と合致する。

(2) 日本の開発援助政策との整合性

2012年12月に発表された「対タジキスタン国別援助方針」には、タジキスタンの政治・経済の安定は、ユーラシア大陸全体の安定化に不可欠であり、隣国アフガニスタンの自立と安定に取り組むうえでも重要な課題であると明記されている。また地方における貧困削減への対応、特に経済インフラの老朽化・未整備への対応の必要性を指摘しており、これに定める本プロジェクトのインフラ整備支援は、国境地域における長期的な平和と安定への貢献、人間の安全保障の推進を掲げるわが国政府のODA政策に整合する。

JICAの対タジキスタン支援は、格差の是正及びインフラ整備を通じた貧困削減と持続的経済成長を目標としており、アフガニスタンに隣接する地域の農村開発及び基礎的社会サービスの改善を重点課題としている。重点地域はハトロン州を中心とするアフガニスタン隣接地域としているが、本プロジェクトはアフガニスタンとのクロスボーダー協力を実施する観点において、JICAの重点課題に沿ったものとなっている。

(3) プロジェクト・デザインの適切性

またGBAO政府、ドナーの支援が届きにくい山岳地帯のコミュニティに対し、老朽化したインフラの改修・整備を通じて住民への社会サービス向上をめざすプロジェクト・デザインは適切であり、地域に密着した活動基盤・実績をもつAKF/MSDSPと連携して、JICA単独ではアクセスが困難な地域に支援を展開したアプローチは妥当である。

4-1-2 有効性：比較的高い

(1) プロジェクト目標及び成果の達成状況

各成果の実績・達成状況は良好であり、第3章「3-3 プロジェクト目標の達成見込み」に記載のとおり、サブプロジェクト44件が計画どおり完工し、ASUDVOが活動を継続す

るなら、プロジェクト目標である住民への社会サービスの向上は達成される見込みが高い。

(2) プロジェクト目標・成果達成に係る貢献要因

プロジェクト目標に直接的に貢献するインフラ整備を面的に展開し、サブプロジェクト実施プロセスを通じて、参加型開発実施体制を構築したことが、本プロジェクトの有効性を高めている。プロジェクトが取り組んだボトムアップアプローチ（開発ニーズ発掘→計画策定→優先事業の実施・モニタリング）による参加型コミュニティ開発の体制構築は、住民のオーナーシップ、コミットメントを促し、住民自身による生活向上活動をも促すものとなっている。また従来は接点のなかった行政による地域開発戦略の策定作業と、住民組織が外部資金を得て直接実施してきた開発事業との間を調整する機能として、政府と住民組織の橋渡し役である ASUDVO を育成し、県行政と ASUDVO が調整・合意形成・協働する場として TWG が十分に稼働していることが有効性を高めたものと、評価される。

一方、CBRD プロジェクトの能力強化の対象は ASUDVO に偏りがちで郡・県行政担当者、また SUDVO への機会提供が限られた。今後、郡政府、SUDVO が研修に参加できる機会を提供できれば、社会サービスの向上に資する要因となり、より有効性が高まる可能性がある。

アフガニスタンとのクロスボーダー協力では、県政府、住民組織が各レベルで意見交換、経験交流機会をもっているほか、州、県レベルで具体的な連携活動に向けたイニシアティブがとられている。今後、保健、給水、教育といった個別ニーズに応える協力事業が展開される可能性が高い。なお、本プロジェクトのインフラ整備事業は、タジキスタン国内のニアボーダーをサイトとするものであり、クロスボーダー・インフラは計画枠外であった。よって当初より、人的交流を中心とするクロスボーダー協力であったことから、直接的な経済的利益を生み出すことは目的としていない。

またプロジェクト目標、成果達成を支える貢献要因として、MSDSP と連携したことがとりわけ大きい。1990年代から GBAO に展開する MSDSP のコミュニティ開発における経験、ネットワーク、また機動力を最大限生かし、また MSDSP によって組織された VO、SUDVO が既に十分に稼働しており、その仕組みを生かしたことが、貢献要因といえる。

(3) プロジェクト目標・成果達成度に係る阻害要因

豪雪等の自然条件及び 2012 年 7 月から 8 月にかけてホログ市で発生した騒乱のため、サブプロジェクトの形成準備及びベースライン調査の実施が遅延したことが挙げられる。第 3 章に既述のとおり、ベースライン調査の遅延により、2013 年 3 月の JCC で設定した指標数値が、のちにベースライン調査の結果により、目標値として適当でなかったことが判明した。同ベースライン調査の遅延は、成果の達成度合いに直接の影響はないが、成果発現を適切に測るうえで重要であり、今般のレビューで、適切な指標への変更を提案した。

またクロスボーダー協力では、大統領選挙等の政治イベントや感染症の発生等により一時的に国境が封鎖されることがあった。また直近では、アフガニスタン人のタジキスタン側への渡航がタジキスタン側治安当局によって制限され、事前渡航申請が求められる等の事例が報告されている。これらのケースでは、個別に各県政府が治安当局への協力依頼を求める等の対応策がとられたため、支障の範囲は最小限にとどめられている。

4-1-3 効率性：高い

GBAO での 20 年近いコミュニティ開発の実績をもち、幅広いネットワークと強固な実施体制をもつ AKF/MSDSP と連携することで、人材、知見、ネットワーク、資材等の現地にある資源を最大限に活用し、オペレーションコスト、間接費を押さえ、実質的なプログラム活動に委託事業の 8 割近く、全体予算の 6 割強を投入していることが確認された。また山岳地に点在する手の届きにくい貧困集落にまで裨益対象を面的に拡大できたことから、費用対効果は高いと判断される。

一方、JICA、AKF/MSDSP 双方にとり、連携事業は初めての経験であり、経理、調達手続き面で、共通認識の形成に時間を要した。特に入札・調達手続きに関し、課題の共有・相談が適時に行われていれば、サブプロジェクトのタイムマネジメントが適切に行われ、より効率性が向上したと思われるケースが一部観察された。

4-1-4 インパクト：高い

レビュー時点では、高い正のインパクトが観察され、負のインパクトは発現していない。

(1) 上位目標の達成見込み

現時点ではサブプロジェクトの完工は部分的であり、上位目標「対象地域ゴルノ・バダフシャーン自治州 5 県において住民の生活が向上する」の達成の見込みを判断する具体的な変化は確認できていないものの、以下の良好な兆しを確認された。今後残りの協力期間で、第 5 章に提言として記載した活動を実施し、上位目標達成に向けた基盤を整えていくことが重要である。

サブプロジェクト実施過程における VO の貢献度や施設の維持管理に対するオーナーシップは総じて高いことが確認されている。よってサブプロジェクト完工後はコミュニティが主体となって維持管理を行い、必要に応じて SUDVO、郡/県政府、ASUDVO と調整を通じて修繕等に対応していくことが期待され、設置した施設が効果的に運用されることで、生活の改善が図られると考えられる。加えて、更新された VDP を活用し、ASUDVO の仲立ちにより、新たな外部資金を得て事業を行う VO も多く、サブプロジェクトの対象外だった VO も含め、より広範なニーズが徐々に手当てされ始めている。VO が今後も活発にコミュニティ活動に取り組む可能性は極めて高く、上位目標の達成に貢献する要因である。

なお ASUDVO や TWG が現在の形態で継続するかは、AKF/MSDSP 及び州/県政府の今後の対応・判断による。ASUDVO や TWG の機能の有効性は AKF/MSDSP 及び州/県政府に認められ、また ASUDVO 自身も活動の継続に意欲的であることから、ASUDVO 及び TWG の機能が何らかの形で継承されれば、ボトムアップによる参加型開発の継続・定着に資するであろう。政府の開発計画に住民のニーズが反映され、長期的には政府予算の確保、外部資金の確保の実現に資するものとなり、持続的な社会サービスの向上、生活の質の向上が期待できる。

(2) プロジェクトがもたらした正のインパクト・波及効果

ASUDVO 及び TWG メンバーである県政府職員の合同能力強化研修は、住民への社会サービスの向上に向けた官民連携・協働を促すモメンタムとなった。また連携・協働の実践

の場として、サブプロジェクトの実施管理に TWG が携わったことにより、連携・協働が一過性のものから、機能・仕組みとして定着する動きが出ている。シュグナン県では、TWG の活動範囲を CBRD プロジェクトから拡大し、ドイツ国際協力公社（Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit : GIZ）の起業支援プロジェクトの実施管理も担うことになっており、波及効果が認められる。なお、シュグナン県知事は、農村開発における官民連携の joint planning / implementation の実践について、4月に大統領にも報告している。

調査団が訪問した VO のひとつは、本プロジェクト開始前から VDP にそって順次、灌漑水路、学校屋根修復、メディカル・ポイントを整備し、CBRD サブプロジェクトで道路整備を行っている。同時に次期事業として、給水施設整備を VO 基金による自己資金 4 割負担、残り 6 割のマッチングファンドのファンドレイズ中であった。このような好事例を ASUDVO が把握しつつあり、優良事例の共有化を促すことで、さらなる波及効果が期待できる。

また、GBAO では地域経済の約 4～5 割が出稼ぎ労働者からの外貨送金に依存している状況下、インフラ整備過程で、期限付雇用ではあるが一定の雇用が創出されたことは正のインパクトであったと考えられる²³。

4-1-5 持続性：中程度

(1) ASUDVO の機能としての持続性

ASUDVO の機能とその活動実績は、郡/県行政、住民組織（VO/SUDVO）からも高く評価され、その活動の継続が望まれている一方で、プロジェクト終了後の活動費のめどは、調査時点では具体化されていない²⁴。ASUDVO はそれぞれに、本プロジェクト終了後を見据えて財政基盤の確立に向けた活動を開始し、他ドナーのプロジェクト予算からの費用捻出、SUDVO の出資金や小規模融資機関（Micro Lending Organization : MLO）²⁵の配当金による経費負担、ASUDVO 自身が公共性の高いサービス事業を副業として起業し、活動に充てる等が検討されている。プロジェクト終了までに、AKF/MSDSP が州/県政府と調整のうえ、今後の ASUDVO の位置づけ及び持続性を担保する必要がある。なお、ASUDVO は既に市民組織として法的に登録されていることもあり、あくまでも住民の代表として機能するものであり、行政に取り込まれる位置づけのものではないことが確認された。

(2) インフラ施設の運営・維持管理

サブプロジェクトで整備されたインフラ施設は、第3章3-2-1「成果の達成状況(成果1)」で記載のとおり、制度的には各県行政に引き渡され、所管部局の管理下に置かれるが、実

²³ シュグナン県 Gharibsho Shohbozov 郡では、人口 2,800 人中、現在 500 名が季節労働で国外に出ており、このなかには約 1 割弱の女性が含まれる。また同県 Barsem 村でも村人口の 4 割、各世帯平均 1～2 名がロシア、カザフスタン共和国（以下、「カザフスタン」と記す）、キルギス等に出稼ぎに出ており、両親が不在のため祖父母が子どもを養育している世帯も多い。同様の状態が州内広範で見られるため、GBAO では Early childhood development center が広く普及しているとの話も聞かれた。

²⁴ 執務環境としては、MSDSP 各県事務所にデスクが与えられ、車両も活用可能となっている。

²⁵ Micro Lending Organization は公的なコミュニティ活動を目的として GBAO 内の SUDVO が共同出資して設立した マイクロファイナンス機関で、現在、州内に 3 つの MLO がある。その回転資金から ASUDVO の活動費を手当てすることが一案として検討されている。

質的な維持管理は各 VO が担い、必要に応じ県行政が技術的な支援を行う。県財政の現状を踏まえると、県行政が充当できる維持管理費は限られており、教育施設、保健施設の人件費は担保されているが、引き渡し時の備品、資材・教材等が工面できない可能性もある²⁶。このため各施設の完工時まで、これら資機材が手当てされるよう AKF/MSDSP による調整が不可欠である。また、将来的に大がかりな修繕が必要となる可能性の高い橋、道路等も、あらかじめ MSDSP と州・県政府が対策を合意し、関係者に周知しておく必要がある。なお、施設完工後 5 カ月間の瑕疵担保責任が建設業者に課せられている。

(3) クロスボーダー協力の持続性

タジキスタン側 GBAO 政府とアフガニスタン側バダフシャン県政府の間で、クロスボーダー協力を推進すべく合意書が署名されており、定期的な会合や相互訪問が予定されている。今後も政府レベル及びコミュニティ代表間で社会的及び経済的交流が促進されることが期待される。

4-2 結論

天候や治安による多少の活動の遅延はあるものの、調査時点で懸念される大きな障害もなく、対象コミュニティ、県/州政府から高い評価を得る活動が行われてきた。これまでに存在した村落から郡までのボトムアップアプローチによる参加型開発の仕組みが、ASUDVO の設置により県レベルにまで引き上げられた。また参加型で吸い上げられた住民のニーズが、各県の TWG で、県政府、住民代表である ASUDVO によって議論され、県主導の開発計画と住民主導の開発計画のすり合わせが可能となり、調整・協働メカニズムとして機能していることが確認された。

各成果レベルで既に目に見えるインパクトが発現しており、予定どおり活動が実施され、また以下の提言が取り入れられれば、プロジェクト終了までにプロジェクト目標が達成される見込みである。また上位目標の達成に向けた良好な兆しもみえている。

²⁶ Bogeov 村（給水施設設置サイト）で村落内既存インフラの維持管理上の問題が発生した場合の一般的対応をヒアリングしたところ、学校施設の場合は、VO リーダーと学校長が県政府に掛け合い、メディカル・ポイントの場合は VO 基金で対応しきれない場合は、VO リーダーとメディカル・ポイント医師が郡政府(jamoat)に相談してきたとのこと。またメディカル・ポイント建設中の Vozm 村での聞き取りでは、村医者（助産師）736 ソモニ/月及び清掃婦 240 ソモニ/月の人件費以外に県政府から得ている予算は薬剤用に 50 ソモニ/年のみで家具等の支給もない。現在、治療費は無料、薬代は有料だが薬局よりは安価で提供し、5 才以下の子どもの場合は薬も無料のため、AKF Health Service(HS)からの薬剤供与が不可欠となっている。また光熱費も政府から支給されないため、1 世帯 1 ソモニを徴収して光熱費に充てている。

第5章 提 言

(1) サブプロジェクトの進捗管理及び維持管理体制の確立

残る協力期間では、サブプロジェクトの進捗管理をより徹底し、インフラ施設の持続的な運用を担保する維持管理体制の確立が非常に重要である。とりわけ未着工のサブプロジェクト4件（灌漑2件/シユグナン県及びイシユカシム県、学校増設1件/ダルバズ県、小水力発電用水路1件/ルシヤン県）は、モニタリングを強化し、進捗管理を適切に行う必要がある。8月末に全サブプロジェクトの進捗を再度、JICA、AKF/MSDSP で確認し、仮に遅延が生じた場合の対応を検討する。

施設の引き渡しでは、維持管理における VO、SUDVO、郡政府、ASUDVO、県政府、建設業者、MSDSP 関係者の役割を明文化し、合意することを提案済である。飲料水供給施設、小規模灌漑施設については、おおむねどの村落でも、水管理委員会の設置による利用料の徴収、日常的なメンテナンスや簡易な補修を行う体制のめどがたち、技術的なサポートは郡/県政府が提供することが確約されている。教育、保健施設には、県政府から必要備品の設置・補充を担保する必要がある。

また橋梁、道路は、日々のメンテナンス、小規模な修理はコミュニティ共同で行うが、規模の大きな修繕は引き渡し先である県（道路維持管理事業局）が責任をもつ必要があり、県ないし州政府が一定程度の維持管理費を予算化すべく働きかけることが望ましい。運用・維持管理体制の確立に向け、MSDSP が適切なファシリテーション及びモニタリングを行うことが求められる。

(2) ASUDVO の持続性

県行政と住民組織をつなぎ、またファンドレイザーの役割も果たす ASUDVO の機能は、今後も維持されることが望ましいが、現時点ではプロジェクト終了後の財政的後ろ盾がない。AKF/MSDSP が必要経費を負担して持続する、SUDVO の出資金やコミュニティのマイクロファイナンス配当金から経費を負担する、ASUDVO 自身が資金を獲得する等の方策やいくつかのアイデアが ASUDVO 自身、また AKF/MSDSP により検討されている最中である。プロジェクト終了までに AKF/MSDSP が州/県政府とも調整し、今後の ASUDVO の位置づけ及び持続性の担保の方策を固める必要がある。

(3) サブプロジェクト完工調査

AKF では、すべてのプロジェクトにおいてインパクト調査を実施することであるが、この調査はプロジェクトの直接的な受益者のみならず、ランダムに選定された対象者に対して幅広く行われるものであるため、必ずしも CBRD プロジェクトの成果・インパクトが十分に確認できない可能性がある。したがって、この調査と平行してサブプロジェクトによるインフラ整備の成果を的確に把握するため、完工調査を実施することを提案する。方法論や実施時期は JICA と AKF/MSDSP で早急に調整することとし、ASUDVO が主体となって完工調査に係るデータ収集を行い、インフラへのアクセスや質の向上の変化を分析することを提案する。この場合、近々に予定されるモニタリング・レポーティング研修で情報収集内容・方法・分析手法を研修するのが望ましい。

(4) 成果1 インフラ整備状況を測る指標及び目標値の変更

ベースライン調査結果より、対象地域における基礎インフラへのアクセスは、3-2-1「成果の達成状況（成果1）(7) インフラへのアクセス率の指標」に記載のとおり、かなり高いことが判明している。このため、「基礎インフラへのアクセス率が24%まで改善する」とした目標値及び指標自体を適切なものに変更する必要がある。既存インフラの老朽化による質面での問題が指摘されている点や、インフラ種別によりアクセス率に大きな開きがあることも踏まえ、主要インフラごとに施設の品質も加味したアクセス（accessibility）と有用性（usability）を測る指標と目標値の提案をAKF/MSDSPに求める。

(5) 郡政府、SUDVOの能力強化

合意されている事業費内で対応可能であれば、研修、交流事業の対象となっていなかった郡政府（jamoat）及びSUDVOにも、モニタリング・レポーティング研修への参加機会を与え、また可能であれば、既にASUDVO、TWGに対し実施済みの能力強化研修を追実施することを提案する。

第6章 教訓

(1) AKF/MSDSP とのパートナーシップの意義

AKF/MSDSP とのパートナーシップは、現地に根ざした実力のある NGO と連携すれば、アクセスが困難な難易度の高い地域のニーズに応え、効率的、効果的な事業展開が可能となることを実証する好例となった。JICA 単独ではアクセスできない GBAO のなかでも、より支援の行き届いていない山岳村落への裨益が可能となったのは、同地域で長年にわたるコミュニティへのサービスデリバリーの実績があり、行政を含む各方面からの信頼も厚い AKF/MSDSP の存在によるところが大きい。MSDSP は各県に事務所を構え、ASUDVO/SUDVO や郡/県政府との現場レベルの協働が可能な実施体制を備え、コミュニティに対するきめ細かい事業実施を効果的に行ってきた。またその機動力や実施体制は、2012 年 7 月の騒乱や本調査期間中の 2014 年 5 月の住民と政府の衝突等における危機管理や事業管理にも発揮され、事業への影響が最小限にとどめられていることが確認されている。

一方で、JICA、AKF/MSDSP 双方にとって初の共同プロジェクトであったため、経理、調達等の手続きの理解や合意形成に時間を要した。また、調達面で柔軟な対応を行うべき局面で、問題の共有や改善の提案がタイムリーに伝達されず、ルールの見直しが行われない事案があった。今後問題が予見される場合、前広に JICA 側と情報共有を行い、対応を検討することが望ましい。

(2) AKF/MSDSP にとっての行政を巻き込んだアプローチの意義

従来の AKF/MSDSP のコミュニティ開発事業では、事業として政府の承認は得るも、住民の要望に応える事業を MSDSP が直営する形で進められていた。本プロジェクトでは、ニーズの把握や案件形成をボトムアップで行い、事業の優先順位づけや実施管理の過程に TWG や TVG の設置を通じて政府（県・州）を巻き込み、政府と住民の協働メカニズムを確立しており、またそのプロセスが各ステークホルダーにとって学びと経験蓄積の場になった。行政を巻き込み、能力強化の対象とした事業は AKF/MSDSP にとっても新しい試みであり、効果発現及び持続担保の観点からも、有効であることが確認された。

一方、本プロジェクトの能力強化の主な対象は ASUDVO であり、県・郡政府職員の能力強化も行われたが、TWG メンバーの一部に限定された。SUDVO メンバーや、県・郡政府の職員なども含むコミュニティ開発を担うステークホルダーに幅広く能力強化を行うことで、よりボトムアップアプローチの強化を図ることができたと考えられる。

(3) 村落開発計画の上位計画への反映

本プロジェクトにおけるボトムアップアプローチの実践を通じて、村落開発計画（VDP）が郡開発計画（JDP）、県開発計画（DDP）へと上位計画に反映されていく仕組みが構築されたことは、行政のガバナンスやアカウンタビリティの強化につながると考えられる。一方で、これら住民主導で策定した開発計画は、VO 基金以外に予算配分がないことから、行政による事業実施につなげるためには県戦略計画（District Strategic Plan）に反映される必要がある。シュグナン県ではそのような取り組みが既に始まっているが、他県でもシュグナン県をモデルとして活用・普及されることが期待される。

(4) コミュニティ開発における事業規模、裨益範囲の設定

本プロジェクトでは、44 件の村落レベルの小規模インフラを広範囲に実施した。ドナーや政府の目の届きにくい村落のニーズを拾い上げ、生活環境に目の見える変化をもたらすとともに、住民組織と行政との協働機会の提供により、両者の信頼関係の構築に貢献した意義がある。一方で、選定、調達、実施の手続きが煩雑となり、想定以上の時間・手間を要した点は否めない。このため、一部関係者からは、県レベルで事業規模を設定すべきだったとの声も聞かれた。

事業規模の拡大により手続きは効率化するが、住民のニーズへのきめ細かい対応が不十分となる可能性もある。よって事業規模はあくまで目的や状況に応じ、柔軟に考えることが重要との考察に至った。また将来的には、経済開発を牽引する大型インフラへの投資と、公平な社会開発に資する生活インフラ整備とのバランスをどうとるか、GBAO 全体の開発ニーズを俯瞰し、検討すべき課題と推察される。

第7章 団長所感

本プロジェクトは、地域社会に強く根差した活動を展開してきた実績のある強力なパートナーと連携することにより、治安上、日本人のアクセスが困難な地域における事業の実施を可能としたグッドプラクティスのひとつであるといえる。

実施パートナーである AKF は、1993 年より 20 年以上にわたってゴルノ・バダフシャーン州において農村開発・保健医療・教育等の社会開発事業のほか、エネルギー（電力）、通信、観光開発など、多岐にわたる分野の事業を展開している。

AKF の強みのひとつは、強固な組織基盤と人的資源であるが、そのスタッフの多くは（高い水準の教育・訓練を受けた）同地域の出身者であり、外国人のように治安上の制約も受けないため、機動性も高い。また、地域住民と同じ言語・文化的背景を有するため、地域社会とのコミュニケーション・信頼関係の構築をスムーズに行うことができる。また、今回のプロジェクト予算のうち 77% が事業予算に充てられており、人件費を含む管理費が嵩みがちな（JICA を含む）援助機関による事業と比較して、コストパフォーマンスの高さも特筆すべき点である。

AKF は本プロジェクト以外にも他ドナーや国際機関からの資金を受け、同地域に対する事業を継続的に行っているため、地域社会に対するコミットメントも非常に高く、プロジェクト終了後も断続的にプロジェクト対象地域のフォローが期待できる。この点においても、期間限定での関与にとどまらざるを得ない一般的な JICA 事業に対し、付加価値を有しているといえる。

さらに、本調査団中に起こった騒擾事案においても、同財団は、中央政府及び州政府の要請により、事態の收拾に向けて政府と住民の仲介役としての役割を担っている。このことから、同財団は地域社会へのサービスデリバリーのみならず、治安の安定においても、地域と政府の中立的な位置づけとして、双方から厚い信頼を勝ち得ていることを窺い知ることができた。

以上の点から、治安情勢により事業の影響を受けやすい JICA にとって、AKF のような先方政府・地域社会双方からの信頼が厚く、強い活動基盤と組織ネットワーク力を誇る組織との連携関係をもつことは非常に意義の高いことであり、今後も引き続き良好な関係を築いて行くことが望ましいと考える。

他方で、今後の事業展開については、治安動向を見定める必要があるものの、本プロジェクト終了後の展開として、以下の点を留意すべきと考える。

今回の AKF 連携によるアフガニスタン・タジキスタン国境の 2 プロジェクトは、JICA にとって初めての試みということもあり、両国の「国境付近（near border）の地域において小規模なインフラ整備を行う」という共通点はあるものの、インフラ事業の規模感や政府関係者の巻き込み等においても、AKF-A と AKF-T がそれぞれ行っており、統一感を重視して進められたものではない。「クロスボーダー」の視点についても、両国の対象地域の住民や地方行政関係者が数回意見交換会や経験交流を行うにとどまっている。いずれの案件においても、それぞれの地域において目に見える具体的な成果が出ており、第 1 フェーズとしては実施意義が高かったといえるが、今後、引き続き同地域において協力を行う場合は、より「クロスボーダー」のコンポーネントを強化し、国境の両側から支援を行うことの相乗効果を打ち出す必要があると思われる（特にタジキスタン側については、アフガニスタン支援の一環という位置づけで案件の実施意義を説明するのであれば、この視点が重要かと思われる）。一方で、同地域（特にタジキスタン側）では、他

ドナーや国際機関の支援も林立している状況であるので、現地のニーズと他のアクターの支援動向も俯瞰的に捉えたうえで、JICA が支援すべき点を明らかにしていくプロセスが必要である。また、平行して JICA 内部においても、クロスボーダーの事業の取り扱い（先方政府との取り決め等）について事前に整理しておく必要があると思われる。

付 属 資 料

1. 調査日程
2. 実施体制図
3. Mid-term Review Report and Annexes
4. サブプロジェクト44件概要 (Subproject Profile)
5. 面談者リスト

タジキスタン共和国「アフガニスタン・タジキスタン国境バダフシャン地域における農村開発プロジェクト」中間レビュー調査 日程表

月日	曜日	コンサルタント(候補)	JICA農村開発部(大島、横田)	JICAアフガニスタン事務所(川瀬)	JICAアフガニスタン事務所(ムダツセル)	宿泊地
5月11日	日	11:55 成田 (TK051) → 18:00 イスタンブール 21:10 イスタンブール (TK254) →				
5月12日	月	3:45 ドウシャンベ着 JICAタジキスタン支所とのミーティング プロジェクト専門家とのミーティング				ドウシャンベ
5月13日	火	AKFとのミーティング UNDPとのミーティング				ドウシャンベ
5月14日	水	ホログへ移動(ヘリコプター) MSDSP主要スタッフとのミーティング				ホログ
5月15日	木	MSDSPプログラムスタッフ、エンジニアへのインタビュー				ホログ
5月16日	金	シュグナン県サブプロジェクト視察1(村住民、SUDVOへのインタビュー) - Nishup村(飲料水施設) - Gozak村(小規模灌漑) シュグナン県知事及びTWGメンバーへのインタビュー				ホログ
5月17日	土	クロスボーダーマーケットの視察				ホログ
5月18日	日	資料整理	11:55 成田 (TK051) → 18:00 イスタンブール 21:10 イスタンブール (TK254) →		11:30 カブール(TK707) → 16:00 イスタンブール 21:10 イスタンブール (TK254) →	ホログ
5月19日	月	シュグナン県サブプロジェクト視察2(村住民、SUDVOへのインタビュー) - Barsam村(橋の修復) - BogeV村(飲料水施設) - Spintz村(道路整備) シュグナン県ASUDVOへのインタビュー	3:45 ドウシャンベ着 JICAタジキスタン支所とのミーティング AKFとのミーティング AKF/CEOとの会食(ディナー)			ホログ(コンサルタント) ドウシャンベ(他回員)
5月20日	火	団内ミーティング MSDSPとの会食(ランチ) ASUDVOsへのインタビュー GBAO州知事表敬	ホログへ移動(ヘリコプター) 団内ミーティング MSDSPとの会食(ランチ) ASUDVOsへのインタビュー GBAO州知事表敬			ホログ
5月21日	水	シュグナン県サブプロジェクト視察2(村住民、SUDVOへのインタビュー) - SokcharV 1村(飲料水施設) - Chokhkandez村(小規模灌漑) - Vozm村(診療所) ダルバズ県へ移動(陸路)			アフガニスタン側イシュカシム県にてサブプロジェクト視察	ダルバズ アフガニスタン側イシュカシム(ムダツセル)
5月22日	木	ダルバズ県からドウシャンベへ移動(陸路)			アフガニスタン側イシュカシム県にてサブプロジェクト視察	ドウシャンベ アフガニスタン側イシュカシム(ムダツセル)
5月23日	金	AKF/CEO報告 大使館報告 JICAタジキスタン支所報告		UNDP LITACAステアリングコミッティ JICAタジキスタン支所報告	アフガニスタン側シュグナン県にてサブプロジェクト視察	ドウシャンベ アフガニスタン側シュグナン(ムダツセル)
5月24日	土	AKFアフガニスタン事務所とのミーティング			アフガニスタン側ヌサイ県にてサブプロジェクト視察	ドウシャンベ ダルバズ(ムダツセル)
5月25日	日	資料整理			アフガニスタン側ヌサイ県にてサブプロジェクト視察	ドウシャンベ ダルバズ(ムダツセル)
5月26日	月	5:40 ドウシャンベ発(TK255) → 9:05 イスタンブール着 17:10 イスタンブール発 (TK050) →		資料整理	ダルバズ県からドウシャンベへ移動(陸路)	ドウシャンベ
5月27日	火	10:25 成田着		資料整理	資料整理	ドウシャンベ
5月28日	水			資料整理	ドウシャンベ→カブール(直行便)	ドウシャンベ
5月29日	木			5:40 ドウシャンベ発(TK255) → 9:05 イスタンブール着		
5月30日	金			03:05 イスタンブール発 (TK706) → 9:30 カブール着		

別添 2

プロジェクト実施体制

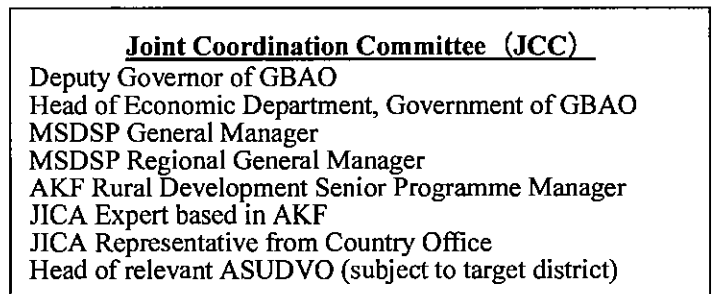
プロジェクト対象範囲：

ゴルノ・バダフシャーン自治州

5 県 District

31 郡 Sub-district/jamoat

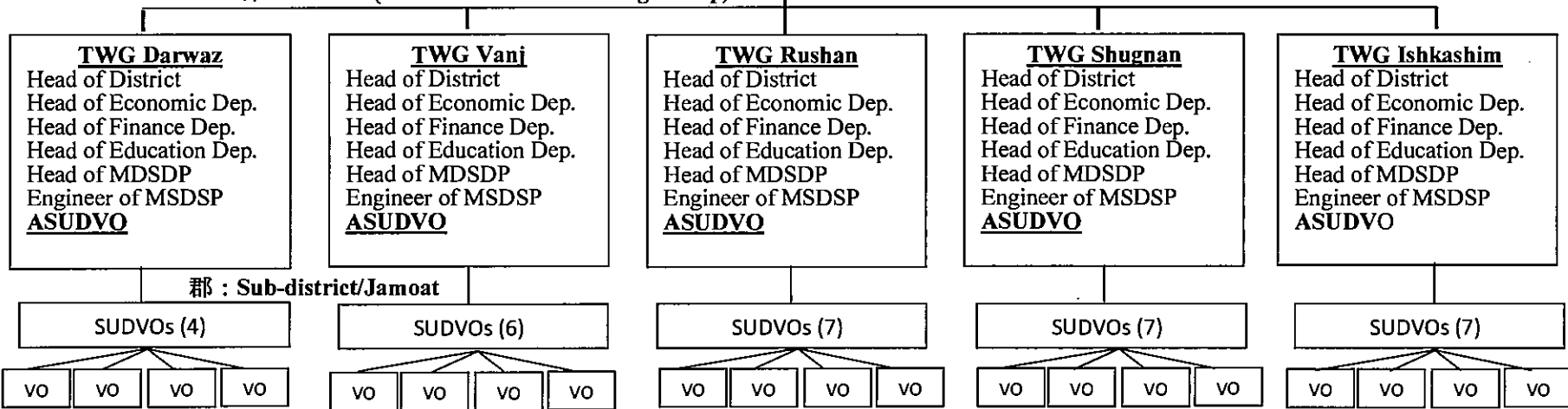
326 村落 Village Organizations



州：GBAO



県：District (TWG: Technical Working Group)



... 58 VOs

村落：Village ... 71 VOs

... 55 VOs

... 70 VOs

... 72 VOs

Mid-Term Review Report
On
The Project
for
Rural Development Project in Tajik –
Afghan Border Area of Gorno – Badakhshan
Autonomous Oblast

Japan International Cooperation Agency
June 2014

Acronyms and Abbreviations

AKF-A	Aga Khan Foundation Afghanistan
AKF-T	Aga Khan Foundation Tajikistan
ASUDVO	Association of SUDVOs
CBC	Cross-border Committee
CBO	Community-Based Organisation
CBM	Cross-border Market
CBRD	Cross-border Rural Development (The Project For Rural Development Project in Tajik – Afghan Border Area of Gorno – Badakhshan Autonomous Oblast)
CDC	Community Development Council (Afghanistan)
CLDC	Cluster Level Development Council (Afghanistan)
CSO	Civil Society Organisation
DAC	Development Assistance Committee (a committee in the Organisation for Economic Co-operation and Development)
DDA	District Development Assembly (Afghanistan)
DDP	District Development Plan
GBAO	Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast
GIZ	Deutsche Gesellschaft für Internationale Zusammenarbeit
GoJ	Government of Japan
GoT	Government of the Republic of Tajikistan
JICA	Japan International Cooperation Agency
JCC	Joint Coordination Committee
JDP	Jamoat (Sub-District) Development Plan
KfW	Bank aus Verantwortung
MLO	Micro Lending Organization
MSDSP	Mountain Societies Development Support Programme
NGO	Non-governmental Organizations
OVOP	One Village One Product (activities/movement)
PDM/PLF	Project Design Matrix/Project Logical Framework (used interchangeably)
PO	Plan of Operations
SDC	Swiss Agency for Development and Cooperation
SUDVO	Social Unions for the Development of Village
TVG	Technical Verification Group (at the oblast level)
TWG	Technical Working Group (at the district level)
VDP	Village Development Plan
UCA	University of Central Asia

USAID	United States Agency for International Development
VO	Village Organization
WUA	Water Users Association (at sub-district level)
WUC	Water Users Committee (at village level)
WFP	United Nations World Food Programme

Exchange Rates

USD1 \rightleftharpoons TJS 5 (Tajikistan Somoni)

TJS 1 \rightleftharpoons JPY20

TABLE OF CONTENTS

Acronyms and Abbreviations

Exchange Rates	1
1. Introduction	1
1-1 Objectives of the Mid-term Review	1
1-2 Members of the Mid-term Review Team	1
1-3 Schedule of Activities of the Mid-term Review	1
2. Outline of the Project	2
2-1 Background of the Project	2
2-2 Duration of the Project	2
2-3 Implementation Agencies	2
2-4 Outline of the Project	3
3. Methodology of Review	4
4. Review Results	5
4-1 Achievements of the Project	5
4-2 Implementation Process	15
5. Analysis by the by Five Evaluation Criteria	18
5-1 Relevance	18
5-2 Effectiveness	18
5-3 Efficiency	19
5-4 Impact	19
5-5 Sustainability	20
6. Conclusion	22
7. Recommendations	23
8. Lessons Learned	25

ANNEXES

1. Schedule of the Mid-term Review Team
2. PLF (PDM)
3. Plan of Operations (PO)
4. List of the Project Team Members and Counterpart Personnel
5. Project Implementation Structure
6. Sub-projects list
7. Record of cross-border activities, in-country trainings and third country trainings
8. Evaluation Grid

1. Introduction

1-1 Objectives of the Mid-term Review

Main objectives of the mid-term review are as follows:

- (1) To review the progress of the on-going project in light of Project Logical Framework (PLF) and Plan of Operations (PO) developed at the initiation of the Project.
- (2) To evaluate the on-going Project with the DAC five evaluation criteria, i.e. Relevance, Effectiveness, Efficiency, Impact and Sustainability.
- (3) To draw out recommendations and lessons learned based on the result of the review and modify PLF and PO if necessary.

1-2 Members of the Mid-term Review Team

Ms. Ayumu Ohshima (May 19-23)	Leader, The Mid-term Review Team Director, South Asia Region (Paddy Field Based Farming Area Division 2), Rural Development Department, JICA HQ
Ms. Chieko Yokota (May 19-23)	Program Officer, South Asia Region (Paddy Field Based Farming Area Division 2), Rural Development Department, JICA HQ
Ms. Yukako Matsuura (May 12-23)	Consultant, International Development Solutions Inc.
Mr. Tomohiro Kawase (May 19-29)	Assistant Resident Representative, JICA Afghanistan
Dr. Ahmad Mudassir Rasuli (May 19-28)	Program Officer for NGO collaboration, JICA Afghanistan

1-3 Schedule of the Mid-term Review Team

The mid-term review was undertaken from 12th to 29th May, 2014 in Khorog and Dushanbe. The schedule is attached as Annex 1. The original mission schedule included discussing review results and holding Joint Coordination Committee, however, those were cancelled due to unexpected unrest happened in Khorog on May 21st.

In replace of the JCC and joint mid-term review, this Mid-term Review Report was prepared by the Team and is submitted herewith to the GBAO government and AKF/MSDSP for their comments and feedback. The Team hopes this Report facilitate mutual understanding on the CBRD progress and necessary actions to be taken by the end of the Project.

2. Outline of the Project

2-1 Background of the Project

Political and economic stability in Tajikistan is a pressing issue for the international community, given its geopolitical importance for peace and security in Central Asia and wider Eurasian continent. While stability of Afghanistan is one of the critical agenda for neighboring Tajikistan and other Central Asian countries, economic development in Tajikistan is closely linked to accelerating sustainable reconstruction of North Afghanistan. The Government of Tajikistan (hereinafter referred to as “GoT”) stressed the need to further develop regional cooperation and expand cooperation with Afghanistan through public-private partnerships in its National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the Period up to 2015.

Tajikistan has achieved strong growth and macroeconomic stabilization over the past years contributing to the decrease in national poverty rate from 81% in 1999 to 53.7% in 2007. However, the national demand for basic social services still remains high, especially in GBAO, where a poverty rate still remains 84 %. In order to tackle the poverty in the country, the realization of the activities directed on increasing of the incomes of the poor and infrastructure development and improving the access to basic social services are needed. In this context, the GoT has requested the Government of Japan to realize the Rural Development Project in Tajik-Afghan Border Area of Badakhshan.

Tajiks and Afghans of the border area of Badakhshan share ethnic background and speak similar local languages, both linguistic variants of Persian. Since the region is only separated by a river, many traditions and customs are still shared. The two isolated areas of GBAO and Afghan Badakhshan are home to some of the poorest and most vulnerable people in their respective countries. This reinforces their political fragility and leaves communities exposed to radical and criminal influences, which in turn affect the broader region and the international community.

In GBAO, the Mountain Societies Development Support Program (MSDSP), a project of the Aga Khan Foundation (AKF), established a series of civil society structures designed to encourage small-scale, community-driven and accountable development at the village level. These structures are all registered under the law of the Republic of Tajikistan on “Public Associations” and the Law of the Republic of Tajikistan on “Self-Initiative Bodies”.

2-2 Duration of the Project

From 29th February 2012 to 28th February 2015 (Three years)

2-3 Implementing Agencies

【Tajikistan Side】

(1) GBAO

The State Executive Body of GBAO implements the Project through its strategic partner, AKF/ MSDSP and accordingly the regional manager of MSDSP in GBAO have been in charge of project management. The Deputy Chairman of the State Executive Body of

GBAO has been responsible for overall steering of the Project.

(2) AKF / MSDSP

AKF has appointed the MSDSP, one of AKF's projects for rural development, as the implementing body of the Project. The project supervision has been conducted by AKF/MSDSP Central office based in Khorog. The direct implementation of the project has been at the disposal of the MSDSP Regional Office in GBAO.

【Japanese Side】

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA")

(3) JICA Expert

The JICA expert has taken necessary arrangements and gives technical guidance, advice and recommendations to AKF/MSDSP and the State Executive Body of GBAO on any matters pertaining to the implementation of the Project.

2-4 Outline of the Project

2-4-1 Title of the Project

Rural Development Project in Tajik-Afghan Border Area of Gorno-Badakhshan

* Commonly known as "Cross-border Rural Development Project" (CBRD Project)

2-4-2 Overall goal

Improved quality of life of the population in the project target area as a result of improved infrastructure and socio-economic services.

2-4-3 The Project purpose

Improved service delivery to the population through sub-national good governance and improved Tajik-Afghan collaboration.

2-4-4 Outputs of the Project

- (1) Basic development infrastructure to cover basic services and increase livelihood opportunities is improved
- (2) The capacity of local governance institutions to identify, plan and implement demand driven services is enhanced.
- (3) The collaboration between Tajik and Afghan and governance institutions is strengthened.

3. Methodology of the Review

The following aspects were reviewed based on current version of the PLF and PO attached as ANNEX 1 and 2, respectively:

- (1) Achievements of the Project based on the indicators set in the PLF
- (2) Implementation processes
- (3) Analysis by the five evaluation criteria

- 1) Relevance: Relevance of the project plan is reviewed in terms of the validity of the project purpose and the overall goal in connection with the development policy of the Government of Tajikistan, aid policy of the Government of Japan, needs of beneficiaries, and by logical consistency of the project plan.
- 2) Effectiveness: Effectiveness is assessed by evaluating the extent to which the project has achieved its purpose and by clarifying the relationship between the purpose and outputs.
- 3) Efficiency: Efficiency of the project implementation is analyzed with emphasis on the relationship between outputs and inputs in terms of timing, quality and quantity of inputs.
- 4) Impact: Impact of the project is assessed on the basis of both positive and negative influences caused by the project.
- 5) Sustainability: Sustainability of the project is assessed in terms of political, institutional, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievements of the project would be sustained or expanded after the project period.

4. Review Results

The Team reviewed the performance of the Project including inputs and output indicators to measure the achievement of the Project purpose as well as the implementation processes of the Project. The results of the review are presented in the following:

4-1 Achievements of the Project

4-1-1 Inputs

The Team confirmed that the Project has availed the following inputs along with the plan stated in the PLF and the PO.

(1) Japanese side

1) Dispatch of Japanese experts

One Japanese long-term expert has been assigned to the Project as a project coordinator to take necessary arrangements and give technical guidance, advice and recommendations to AKF/MSDSP and the State Executive Body of GBAO on any matters pertaining to the implementation. One Japanese short-term expert is planned to be also dispatched for technical advice on participatory community facilitation in response to a request from AKF/MSDSP.

Table 4-1: List of Japanese Experts

No	Name	Title and Fields of Expertise	Period
1	Ms. Akie Umeno	Project Coordinator /Community Development	2012/9- to date
2	TBD	Short-term Expert, Community facilitation	(Planned) 2014/7- 0.5 month 2014/9- 0.5 month

2) Training of counterpart personnel in Japan

Two personnel from MSDSP have participated in the group training in Japan organized by JICA, titled “JICA-NGO Partnership Training Course on Participatory Community Development for Practitioners” as follows.

Table 4-2: Participants of the Training

No	Name	Title	Period
1	Mr. Shodomon Hojibekov	Deputy General Manager, MSDSP	2013.8.19-10.5
2	Mr. Bakhtiyor Azizmamadov	Regional Manager, MSDSP	2013.8.19-10.5

3) Provision of Project Implementation Cost

The State Executive Body of GBAO and JICA have agreed upon to entrust the operational implementation of the Project to AKF/ MSDSP. JICA has entered into a contract with AKF Tajikistan to provide the necessary fund for implementation of the project amounting to US\$ 2,800,000 covering building infrastructure, conducting trainings, monitoring and evaluation of the progress as well as administrative and operational costs. A total sum of US\$1,027,928 has been provided to up to the end of the FY 2013. The details of the local costs borne are shown in the Table 4-3 below.

Table 4-3: Project Implementation Cost borne by the Japanese Side (US\$)

FY (*)	Agreed	FY2011 (disbursed)	FY2012 (disbursed)	FY2013 (disbursed)	FY2014 (planned)	Expected Total	%
Human Resources	193,422	3,433	53,869	62,767	74,269	194,338	7
Travel and Vehicle Operations	187,101	589	31,202	34,548	50,500	116,839	4
Trainings and Programme Activities	2,057,600	394	63,669	648,561	1,433,292	2,145,915	76.7
<i>(Capacity building)</i>	<i>(207,600)</i>	<i>(394)</i>	<i>(63,669)</i>	<i>(66,496)</i>	<i>(51,468)</i>	<i>(182,026)</i>	<i>6.5</i>
<i>(Infrastructure)</i>	<i>(1,850,000)</i>	<i>(0)</i>	<i>(0)</i>	<i>(582,065)</i>	<i>(1,381,824)</i>	<i>(1,963,889)</i>	<i>70.2</i>
Equipment and Furniture	16,423	0	15,958	0	3,300	19,258	0.7
Project Support Cost	90,906	140	20,780	10,672	40,539	72,131	2.6
Project Overheads	254,547	0	17,759	63,587	170,173	251,518	9
Total	2,800,000	4,555	203,238	820,135	1,772,072	2,800,000	100

* Japanese Fiscal Year: April – March
Source: Financial documents prepared by the Project

(2) Tajik side

1) Appointment of GBAO's counterpart personnel

A total of four (4) counterpart personnel at the oblast level and Technical Working Group members at the five districts have been assigned to the Project as shown in Annex 4.

2) Bearing of local costs

GBAO and district governments have borne the personnel cost of counterparts. Upon completion of 44 sub-projects, GBAO and district governments would take over the responsibility of operation/maintenance and bear its costs, including provision of staff, materials and other operational costs for education and health facilities installed by the Project.

4-1-2 Achievements of the outputs

The Review Team has confirmed that the CBRD Project has implemented its activities in line with the PLF. There are some delays in the Project activities due to political unrest in 2012 and heavy snowfalls in winter which disrupted construction works of the sub-projects. Nevertheless, the completion of the sub-projects is still secured by the end of the agreed duration and there is no need of extension according to the senior management of AKF/ MSDSP.

Output 1: Basic development infrastructure to cover basic services and increase livelihood opportunities is improved

Indicators:

1. # of infrastructure development projects implemented (Target Value: min. 42)
2. % population with increased access to basic infrastructure (Target Value: 24%)
3. Level of satisfaction of target beneficiaries/users from basic infrastructure; (Scale: 1-5)

Activities and achievement

(1) Sub-project selection

- In total, 324 Village Development Plans (VDPs) have been revised at the village level with facilitation of SUDVOs, sub-district government (jamoat) head and ASUDVOs. The Village Organizations (VOs) came up with 498 sub-projects according to the VDP and submitted them to the sub-districts. At the sub-district selection, VO heads presented their project-proposals, which made other VOs understand the needs of neighboring communities and share their concerns. Although screening was challenging with vast choices, 172 sub-projects were prioritized at the sub-district level and submitted to the TWGs at the district level. The number of beneficiaries and seriousness of the addressed problem were decisive indicators for prioritization according to an interviewed ASUDVO. The Pairwise Ranking Matrix (PRM) was used for selection at the TWGs.
- Efforts were made to align district government planning with bottom-up planning in the screening process; the project proposals which had been already listed in the District Strategic Plan were excluded to avoid funding duplication and, vice versa, the selected sub-project which had not been on the District Strategic Plan was incorporated into the Plan.
- TVG verified the list of sub-projects at the oblast level and the Joint Coordination Committee (JCC) approved 44 projects with slight revisions in March 2013. MSDSP and ASUDVO informed SUDVOs and VOs of the selection result. Some adjustments were made to replace selected sub-projects with second priority due to budget limitation e.g. sports facility replaced by drinking water facility in Shugnan.

Table 4-4: Selected Sub-projects by sector

Sector	Number (%)	Sector	Number (%)
Drinking water supply	11 (25%)	Bridge	3 (7%)
Irrigation canal/siphon	7 (16%)	A part of hydro-power station	3 (7%)
School	7 (16%)	Sports facility	1 (2%)
Health facility	6 (14%)	Public toilets	1 (2%)
Road	4 (9%)	River bank protection	1 (2%)
Total: 44 sub-projects			

Source: Documents prepared by the Project

(2) Procurement for sub-projects

- MSDSP conducted tendering and procurement based on the government regulations and rules of JICA. Tendering included selection of design companies for detailed designs of all facilities

and six sector-wise tenders for construction works. All tenders were widely advertised in GBAO and Dushanbe, and conducted in a transparent manner with the presence of the government, MSDSP and JICA.

- On the one hand the appropriate procedures were adopted, AKF/MSDSP on the other hand faced some practical difficulties in tenders. In a few cases, there was not enough qualified local companies to go through bidding competition as in the hydro-power sector. Also some successful bidders later turned out not to have sufficient technical expertise and experience for required work.

(3) Progress of construction work and monitoring

- Eleven sub-projects, out of 44, are completed or close to completion. There are four sub-projects not yet started at the time of review due to heavy snowfalls and geographical difficulties, however, all of them are expected to be completed by the end of year 2014.
- MSDSP, ASUDVOs, SUDVOs and jamoat leaders with district architects have been monitoring the progress and inspecting technical feasibility. MSDSP engineers conduct technical inspection according to the designated detailed design and usually with the presence of VO head and SUDVO. If needed, the MSDSP engineers order constructors to take necessary measures promptly and monitor their followed-up actions through MSDSP district office in charge.

(4) Community contribution to the construction

- In most of the visited VOs in Shugnan, communities have actively participated in the infrastructure construction by contributing in the forms of voluntary labor, food supply for workers and land provision as in a new road construction in Spinz village. In some cases of Vanj district, financial support was also provided at Buniga village and Rav village according to an ASUDVO.

(5) Collaboration between government and communities (local governance institutions)

- Good collaborative relations between the district/jamoat governments and the communities are reported: Darwaz district government supplied 2 tons of cement for irrigation canals in Yoged village when the material turned out to be insufficient, and the district government were active in Ishkashim to mediate a conflict between villagers and a constructor who had been slow to start the work for irrigation. With Spinz village road construction project, additional funding was mobilized from Pamir Energy and district government to extend additional 3 km road to reach another village.

(6) Hand-over and maintenance of the facility

- Based on a completion letter issued by a constructor, MSDSP and district architect will conduct a technical inspection for the completion. If any defect is found, they notice the constructor to take necessary measures by a certain time, and inspect it again upon completion.
- A formal hand-over letter will be issued by MSDSP to the designated department of the district government and VO.
- Among the visited VOs, some have accumulated community/village fund amounting to TJS60,000 to TJS100,000 which is used for maintenance of the infrastructure as well as for other activities in the VDP. For the community/village fund, ordinary household contribute TJS

5 to TJS 10 per month in most of the VOs. Migrants living outside of the country also contribute to the common fund according to a VO head in Shugnan.

- Water users association and committee are in charge of operation and maintenance of drinking water supply system as well as irrigation canals. TJS 3 to TJS 5 is usually collected per month from water users' households in Shugnan. In Vanj, there is a VO charging TJS 10/month for water users committee which hires one staff for operation and maintenance.

Findings

- It appeared through the discussion with stakeholders that local construction companies have practical advantages with local knowledge, expertise and experience as well as less cost for communication, transportation of materials and workers, compared with Dushanbe-based companies.
- At least two irrigation projects out of 7 turned out to deserve attentive schedule management for timely completion before the coming driest months of July-August when farmers want irrigated water the most. For renovation of schools, considerable attentions have been paid for construction schedule not to suspend or disturb on-going classes.

<p>Output 2: The capacity of local governance institutions to identify, plan and implement demand driven services is enhanced</p>
<p>Indicators:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (ASUDVOs) Target Value (75%); 2. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (jamoat) Target Value (70%); 3. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (district government) Target Value (65-70%); 4. Increased self-assessment rate of local governance institutions (ASUDVOs, jamoat and district government) (Scale: 1-5) 5. Increased collaboration between and among local governance institutions (Scale: 1-5);

Activities and achievement

(1) Institution building

- MSDSP took the first initiative to mobilize community for raising awareness of local communities and the oblast/district governments about CBRD, its goal and activities.
- Five ASUDVOs and five TWGs were setup in the districts of Darwaz, Vanj, Rushan, Ishkashim and Shugnan, and one TVG at the oblast level, for fostering participatory governance and promoting transparent and accountable development interventions with better coordination among stakeholders.
- It took time to coordinate various stakeholders to set up TORs of TVG and TWG and to register ASUDVO as a civil organization under the Law on Public Associations, which may have caused a delay in launching the sub-projects. However once established, they have played active role for smooth implementation of the sub-projects in close coordination with MSDSP

and among each other. ASUDVOs are provided with an office, assistant (accountant) and equipment at each MSDSP district office.

(2) Capacity building trainings and experience-sharing opportunities

- Six courses were conducted and one more training is planned as in the Table 4-5 in order to enhance human capital to improve service delivery for long term. Through the six trainings and daily on-the job communications with MSDSP and other stakeholders, capacity of ASUDVOs and government officials of TWGs has been strengthened, though the degree of TWG involvement has been less compared to ASUDVOs. No opportunities have been provided for Jamoat officials and SUDVOs for capacity building so far.

Table 4-5: Basic and Advanced Capacity building trainings for ASUDVOs and TWGs

	Training Title	Conducted by	Period	Target Group	Participants No.
1	Visioning Exercise	MSDSP PG specialist	1 day in April to June 2012	ASUDVOs	5 males
2	District-Level Priority Planning	MSDSP PG specialist	1 day in July to September 2012	ASUDVOs, TWGs & MSDSP Districts	13 males 2 females
3	Project Cycle Management (PCM)	NGO Kalam experienced specialist/trainers	2 days in October – December 2012	ASUDVOs & TWGs	10 males
4	Conflict Resolution	NGO Kalam experienced specialist/trainers	2 days in April - June 2013	ASUDVOs & TWGs	11 males
5	Gender for Development	Two qualified experienced trainers	2 days in April - June 2013	ASUDVOs & TWGs	10 males 1 female
6	Common Property Resource Management	A trainer with PhD in Economic science, Head of Economic, Management and Finance Department of Public Administration Institute under the President of the Republic of Tajikistan	2 days in October - December 2013	ASUDVOs & TWGs	10 males
1	Monitoring and Report Writing	MSDSP PMEU specialists will conduct the training	(planned) 1 day in April - June 2014	ASUDVOs & TWGs	TBD

Source: Documents prepared by the Project

- In addition, experience-sharing visits to Isfara in Northern Tajikistan, Kyrgyzstan, and Pakistan were organized as follows.

Table 4-6: Experience-sharing opportunities

Activity Title	Place/Location	Host Organisation	Date visit	Target Group	Participants No.
In-country experience sharing visit	Shugnan district, GBAO	MSDSP	11 of January 2013	ASUDVOs, TWGs & NGOs	13 males
Experience sharing visit to Kyrgyz	Kyrgyz (Bishkek, Issyk-kul, Osh)	AKF Krg. & MSDSP Krg. JICA OVOP project	5 to 12 February 2013	ASUDVOs, TWGs and JCC	11 males 1 female
Experience sharing visit to Islamabad/Pakistan	Islamabad	Rural Support Programme Network	16 to 25 January 2014	ASUDVOs, TWGs and JCC	10 males

Source: Documents prepared by the Project

Findings

- Installation of TWG was effectual in creating a forum for the district governments and the representative of communities formally work together to respond to development needs, which would lead to inclusive development. All districts hold monthly TWG meeting except Darwaz having meetings twice a month.
- Establishment of ASUDVO is significant to open a formal channel for local people to the district governments, as acknowledged by an interviewed SUDVO in Shugnan. ASUDVO is also appreciated by the Shugnan district government as ASUDVO facilitates communication between the district offices and MSDSP.
- ASUDVO in other districts also plays active roles; ASUDVO in Vanj contributes to disseminate agricultural information to farmers such as pests control and climate change; in Rushan and Ishkashim ASUDVO works for community-based health finance (CBHF) in collaboration with Aga Khan Health Service and also engaged in improving early childhood development besides CBRD activities.
- All of five ASUDVOs have been actively engaged in fundraising for communities. Shugnan ASUDVO, for instance, acquired WFP “Food for Work Programs” for voluntary labor of communities in seven drinking water and two irrigation sub-projects under CBRD, as well as “Vulnerable-group Feeding Programs” for isolated villages. He was also successful to mobilize “Natural Disaster Risk Reduction Program” of Aga Khan Focus Humanitarian Assistance (FOCUS) and USAID for flood early warning system. ASUDVO in Ishkashim has earned fund for ten drinking water-supply projects from Swiss Agency for Development and Cooperation (SDC) to support VOs which were not covered in CBRD.
- ASUDVOs in remote districts living far from the Khorog center have disadvantages in accessing to information on fund-raising, as advertisements for project proposals are released by donors mostly in Khorog. They also have language barriers and have difficulties to find English translators for proposal writing in their locality. Moreover, it is also difficult for ASUDVO, as a new institution with weak financial base, to obtain sufficient credential when submitting proposals and their chances to win a competition are affected. The CBRD might be able to support them to overcome language barriers and accessibility to information in the remaining period.
- The Team has observed eight sites in Shugnan district and two sites in Darwaz. All of the VOs are motivated to promote income generation, job creation and better educational environment for kids and youth. Some VOs take initiatives to mobilize their community fund for improvement of livelihood by themselves. For instance Ghojak village is keen in income generating activities and eager to maximize the benefit of the sub-project by extending the installed irrigation canals for both agricultural and sanitation purpose. They also invest into the Micro-Lending Organization (MLO) using community fund. This kind of success cases could be widely shared with other VOs in GBAO.

Output 3: The collaboration between Tajik and Afghan governance institutions is strengthened
Indicators:
1. % of CBC members satisfied with the level of cross-border collaboration (Target Value: 60%) Baseline:
2. Cycles of experience sharing visits/conferences participated by local governance institutions in the pre-project, during and post-project periods (Target value: 3).

Activities and achievement

(1) Cross-border experience-sharing

- Experience sharing visits for cross-border cooperation, including preparatory visits, were conducted as follows.

Table 4-7: Cross-border experience-sharing

Activity Title	Location of activity	Host Organisation	Date visit	Target Group	Participants No. (M/F)	Remarks / Findings
Cross-border experience sharing	Shugnan Afghanistan	AKFA.	11-12 June 2012	MSDSP GBAO & CO	4 males	
Cross-border experience sharing	Shugnan district, GBAO	MSDSP	13-15 June 2012	AKFA	7 males	
Pre-conference experience sharing visit	Shugnan Afghanistan	AKFA.	01 - December 2012	ASUDVOs & TWGs from Shugnan and Rushan districts, JCC, MSDSP	12 males	Meeting with local government, DDAs, CDCs and CLDCs of Afghan Shugnan
Pre-conference experience sharing visit	Ishkashim Afghanistan	AKF-A	March 2013	ASUDVOs & TWGs from Ishkashim, Vanj & Darwaz districts, MSDSP	10 males 2 females	Meeting with local government, DDAs, CDCs and CLDCs of Afghan Ishkashim
Cross-border Conference	Khorog Cross-border Market territory, Tajikistan	MSDSP	17 August 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP (Shugnan and Rushan districts)	12 males 3 females	Cross-border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, local governments and CLDCs of Shugnan and Darwaz in Afghanistan
Cross-border Conference	Darwaz Cross-border Market territory, Tajikistan	MSDSP	21 December 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP (Darwaz and Vanj districts)	10 males 2 females	Cross-border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, Local Governments and CLDCs of Shugnan and Darwaz in Afghanistan

Source: Documents prepared by the Project

- The final cross-border meeting is planned at the cross-border market in Ishkashim in Year 2014.
 - Besides, community mobilization meetings were conducted focusing on cross-border development in 5 districts with 166 participants.
 - Cross-border cooperation in CBRD has been implemented to attain experience and knowledge sharing rather than to bring immediate economic benefit.
- (2) The oblast level initiative for cross-border cooperation**
- A joint meeting between executive bodies of GBAO and Afghan Badakhshan Province was held in February 2014 with donors and Aga Khan Development Network. The identified areas of cross-border cooperation are: economic sector (construction of cross-border bridges, operationalizing Free Economic Zone in Ishkashim, extension of cross-border markets etc.), education and cultural sector (cultural events, inviting Afghan students to GBAO for education opportunities, cross-border tourism development etc.), health sector (cross-border medical services for public health and emergency etc.), and agriculture and rural development sector (agricultural development of each side of border, experience sharing of farmers, co-control of crop diseases, provision of veterinary services in GBAO etc.).
 - The Governor of GBAO, in the interview with the Team, stressed economic infrastructures such as bridges, health facilities and river bank protection, as needy area for cross-border cooperation.
- (3) District level initiative for cross-border cooperation**
- In Shugnan, VO, SUDVO and ASUDVO meet every quarter for cross-border activities. Prioritized areas are agriculture (exchange of seeds and fruit trees), health (emergency medical services for Afghans) and education (admission of Afghan students to the University of Central Asia in Khorog). In addition, ASUDVO has advertised the cross-border market as an economic opportunities for local farmers and benders.
 - Ishkashim also has quarterly meeting for cross-border cooperation. At the experience-sharing held in Ishkashim, Afghan members of the District Development Assembly (DDA) shared their experience of fundraising not only in Badakhshan but also in Kabul, while Tajik Ishkashim explained the self-support mechanisms of collecting community fund at village levels and Micro Lending Organization (MLO) operated by SUDVOs.
 - Darwaz had round-table meetings twice so far. Cross-border market in Darwaz has been visited by Afghan traders from Kunduz as well as Tajiks from Khatlon Oblast. Recently potato trade from Afghanistan benefitted GBAO consumers, when the price of potato rose in domestic market.
- (4) Border controls**
- Some restrictions were placed for incoming Afghans to GBAO for experience sharing recently. In such cases, district governments, such as Darwaz district, have facilitated the administrative process for their travels by issuing letters to Tajik security authorities.
 - Border was closed at some occasions such as at political events in both countries, at temporary political/security unrests and at the time of outbreak of infectious diseases in the regions. There is however no serious impeding factors foreseen for cross-border cooperation in the near future.

Findings

- VO which does not have physical access to Afghanistan in their neighborhood, seem to be less interested in the cross-border activities. Degree of benefit from cross-border cooperation might be different depending on geographical location.
- Afghan ladies at the Shugnan cross-border market had very limited goods to sell on the day when the Team visited. They may need training on handicraft making/selling as well as some micro-finance support for the handicraft materials.

4-1-3 Prospects to achieve the Project purpose

Project Purpose: Improved service delivery to the population through sub-national good governance and improved Tajik-Afghan collaboration
Indicators: 1. % of population in the target area is aware of institutional arrangements for service delivery and governance (Target Value: 80%); 2. % of population rating the performance of local governance institutions as responsive and inclusive (Target Value: 70%);

The Team has assessed that the Project would likely to achieve the project purpose within the cooperation period with necessary actions listed in the following Section 7 Recommendation.

The Team has found that the newly established ASUDVO is already functional and well recognized by local population and district governments. Bottom-up mechanism to identify, prioritize and materialize local needs is now operational from village to district levels, with the functioning ASUDVO, SUDVO and VO. This institutional arrangement is likely to contribute to improvement of service delivery to the population, if ASUDVOs are able to find financial resources to continue their operations as analyzed in the section 5-5 (1) below. In addition, the district governments through TWG have started to coordinate with local governance institutions at each level, which will enable governments to design and implement the Strategic Plan in a participatory manner.

Meanwhile, maintenance is key for sustainable benefit of the newly installed infrastructures and for better service delivery to the population. The Team has confirmed that operation and maintenance will be borne by communities and district governments; however, there are some concerns for material supply to schools and medical points as well as maintenance and rehabilitation of bridges and roads. The active facilitation is requested to AKF/MSDSP in the remaining period as detailed in the following section 5-5 (2).

4-2 Implementation Process

4-2-1 Decision making and monitoring mechanism

- The Joint Coordinating Committee (JCC) is the final decision-making body of the Project, and under which, TVG at the oblast and TWG at the sub-district level have functioned as a platform to select, implement and monitor the sub-projects. First JCC was held in March 2013 for mainly sub-project selection and authorization. Second JCC was supposed to be held during the mid-term review mission, but it was cancelled due to unexpected incident happened in Khorog during the mission's stay.
- Due to half-year delay of the Project Coordinator Ms. Umeno's arrival and JICA's movement restrictions, her involvement in monitoring of the sub-projects at the sites was limited in the early phase. In return, close communication between Ms. Umeno and MSDSP staff in Khorog via emails and calls has overcome the constraint. So far, 32 sub-projects out of 44 were directly observed by Ms. Umeno.
- Technical inspection and monitoring of the construction work has been done by MSDSP engineers and TWG architects. ASUDVO, SUDVO, jamoat leader and MSDSP program staffs also have been visiting the sites to monitor the progress and to take necessary actions to resolve issues if any arises.

4-2-2 Mechanism of community participation

- VO had been established in late 1990s to mobilize community. As far as the Team observed, VOs in the target areas have been active to improve local livelihood utilizing community fund (VO membership fee) and voluntary work as well as with external supports from governments and donors. VDPs have been revised by VOs and used as a tool to obtain external supports. Self-support mechanisms also have been installed, such as MLO, community based saving groups, Water Users Association/Committee.
- CBRD has contributed to bridge the voice of the villages to districts, oblast and other potential donors by establishing ASUDVO and strengthening collaborative network between SUDVO, ASUDVO and district governments.
- Local population is not only beneficiaries but also contributors to the sub-projects in the stages of implementation, operation and maintenance. In most of the sub-projects, they have provided labor work for construction and community funds for operation and maintenance.
- Gender aspect has been also taken into consideration. Meetings have been held separately from men to identify and respond to the needs of women in Darwaz and Vanj, where women has less mobility due to religious and customary practices.

4-2-3 Cooperation with the oblast, district and sub-district governments

- The oblast and district governments have acknowledged the need of community participation in rural development. It was thus the right timing to set-up the mechanism of TWG, consisting of relevant district departments and ASUDVO as a representative of local communities.
- At the sub-district level, Jamoat is the administrative and political unit under the district

government, delegated to address social, economic, and cultural issues of local concern. The jamoat leaders, working directly with VOs and well aware of community needs, have facilitated and coordinated the sub-projects management jointly with VO heads, SUDVOs and ASUDVOs in 31 jamoats in CBRD.

- There are some reported cases of good complementary collaboration with district/jamoat (sub-district) governments and communities. In Shugnan, the district/jamoat governments took initiative to resolve a conflict between communities in one of the sub-projects over the distribution of drinking water. Rushan district government provided construction materials when there was unexpected deficiency in the construction. The Ishkashim government facilitated trouble shooting between communities, SUDVOs and MSDSP, when there were misunderstanding and miscommunication over the construction delay of irrigation canals. These are just a few of many good collaborations observed.
- Several replacements of the C/P personnel both at oblast and districts took place after the restructuring of Tajikistan government. New C/Ps and TWG members have been briefed by MSDSP and ASUDVOs about the CBRD. Although the replacement caused MSDSP and ASUDVOs to have a little additional work, few negative impacts were observed on the efficient implementation of the project by now.
- The oblast government is committed to promote the cross-border cooperation with Afghanistan as presented in the state-level cross-border meeting in February 2014. Due to the nature of cross-border activities which cannot be free from political and security concerns, governmental commitment and support are essential to continue cross-border cooperation.

4-2-4 Factors hindering or contributing to the implementation process

(1) Contributing factors

- MSDSP has been playing an active role in GBAO since 1990s with wide network with communities and government sectors. Their experience and network have greatly contributed to the CBRD implementation.

The presence of already functioning VO and SUDVO is also a contributing factor. Since its establishment in the late 1990s, VO has been a main actor to resolve common village problems and improve community welfare by mobilizing voluntary work and village fund. SUDVO has assisted VOs in planning, capacity building and fundraising for 10 years. The two institutions have contributed as a platform to further promote community development.

(2) Hindering factors

- The political unrest in July–August 2012 in Khorog caused delays of sub-projects and the baseline study. Baseline report was finalized only after the JCC meeting in March 2013 when target values were agreed for PLF indicators. As a result, an irrelevant target value (24%) was placed for access to infrastructure, while physical access had already reached to much higher percentage according to the baseline result shown blow. For addressing the needs of qualitative improvement of these infrastructures, indicators for each sector should have been figured out.

Table 4-8 Households' access to basic infrastructure (%)

District	Road	Energy	Bridge	Irrigation Canal	Drinking Water
Darvaz	100	100	56.5	77.9	79.8
Vanj	100	98	76.3	99	32.7
Rushan	100	98	73.3	81.1	64.2
Shugnan	99	99	73.3	100	73.2
Ishkashim	99	100	72.4	96.2	45.7
Total	99.6	99	70.4	90.8	59.1

Source: CBRD Baseline study, May 2013

- In cross-border cooperation, border control has been sometimes tightened at the time of political events and outbreak of infectious diseases, which have caused some restriction of cross-border activities. The security have been stable in the region, however, there is some indicative facts that the cross-border movement for Afghans become less easy compared with the past, with preliminary application required for crossing the border.

5. Analysis by the Five Evaluation Criteria

Through the Review, the Team assessed the Project's relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability with 5 grades: high, relatively high, moderate, fare and poor. The results are presented in the following.

5-1 Relevance: High

(1) Relevance to the policies of Government of Tajikistan and GBAO government

- Regional cross-border development in the GBAO is aligned with the national and oblast policies as was expressed by the Oblast Governor in the interview with the Team. The National Development Strategy of the Republic of Tajikistan for the period up to 2015 stresses the need of regional cooperation with Afghanistan through public-private partnerships. The demand for basic social services has been also high in GBAO. Referring to these directives, the Project is considered to be consistent with the development policies of GoT and GBAO government.

(2) Consistency with the ODA policies of the Government of Japan/JICA

- Development of the cross-border area between Afghanistan and Tajikistan is consistent with the ODA policy of the GoJ which have been committed to serve for the long-term peace and stability as well as human security in the area. Japan's ODA policy for Tajikistan also aims to provide support for rural development and economic infrastructure for sustainable economic growth and social development. Along with the ODA policy, JICA has pursued rural development in border area with Afghanistan and has improved access to social services over the country. Basic infrastructure development and human resource development are prioritized areas of its technical cooperation. From these viewpoints, the Project is assessed to be in line with the Japanese aid policies.

(3) Appropriateness of the Project design/approach

- The approach of the CBRD Project is pertinent to reach out to the communities at the village level who were left out from government and donors' supports with aging poor infrastructure. The collaboration with AKF/MSDSP enables JICA to extend its supports to these remote communities in mountainous area, where JICA had very little experience.

5-2 Effectiveness: Relatively High

(1) Prospect to achieve Project purpose and important assumptions

- Project purpose of improving service delivery is likely to be achieved if the sub-projects are completed by the end of 2014 properly operated and maintained by the communities with necessary supports of responsible district departments.

(2) Contribution of outputs to the achievement of the Project purpose

- The bottom-up approach of the CBRD Project is appropriate to bring up the needs of remote mountainous communities in development planning and implementation at the district and the oblast level. The establishment of ASUDVO ties up the loose ends of vertical institutional mechanism to identify, prioritize and materialize local needs from village to district levels by liaising closely with the communities and district governments.

- The CBRD has set three outputs: 1) improving access to infrastructure for basic services and better livelihood opportunities, 2) enhancing capacity of local governance institutions for responding to the needs of communities and 3) strengthening Tajik-Afghan cross-border collaboration between governance institutions. For Output 1, forty-four (44) infrastructure constructions have been selected and implemented to respond to the prioritized needs of local neighborhood, and directly contribute to the project purpose. In the course of Output 1 and 2, two functions were created: the ASUDVO who represents the needs of communities, and the TWG which consists of the district departments, ASUDVO and MSDSP. TWG has been effectual in creating a forum for the government and the representative of communities formally work together to respond to development needs. Output 2 is to enhance human capital to assure improvement of service delivery for long term, however the degree of TWG involvement in capacity building is less compared to ASUDVO. Cross-border cooperation between Tajikistan and Afghanistan for output 3 has been implemented to attain experience and knowledge sharing rather than to bring immediate economic benefits.

5-3 Efficiency: High

- CBRD was the first case of JICA -AKF/MSDSP collaboration in the scheme of technical cooperation in which a team of Japanese experts directly conducts the activities in most cases. Collaboration with locally-rooted MSDSP has increased efficiency and mobility, making the best use of local human resources, knowledge, network as well as materials. In comparison to JICA's ordinary technical cooperation, more budget has been spent for substantial program activities but less for operational and overhead costs. MSDSP's experience of bottom-up development interventions for nearly 20 years and its wide network with stakeholders in GBAO have made it possible for JICA to extend its support to isolated remote villages.
- It was, however, painstaking at the beginning of CBRD for both sides to agree on and adjust to implementation procedures. While AKF/MSDSP made efforts to adjust to JICA's accounting and procurement regulations, more timely communication between JICA and AKF/MSDSP would have made the tendering process smoother, as JICA could ease rules more flexibly adjusting to the local context. After Ms. Umeno's arrival, communication between JICA and AKF/MSDSP has been facilitated better.
- Harsh weather and the political unrest in July 2012 caused delays in infrastructure construction as well as implementation of baseline survey. Despite these challenging conditions, the Project is gradually catching up with the schedule.

5-4 Impact: Relatively high

(1) Impact on the overall goal level

- It is too soon to perceive solid prospects of achieving the overall goal at this review: that is "to improve quality of life of the population in the project target area as a result of improved infrastructure and socio-economic services."
- It is nonetheless expected that living standard will be improved in the region if the TWG continues to play its role and ASUDVO improves capacity for facilitation and fund-raising.

Moreover, most of the visited VOs are motivated and active in social development, income generation, job creation, youth education and so on, by utilizing facilities and opportunities provided by CBRD as well as other donors. Their high motivation is counted as a contributing factor for achieving the overall goal, as long as the natural and economic environment will not deteriorate.

(2) Positive impacts

- Capacity building activities have provided opportunities for ASUDVOs and TWG government officers, which has led joint efforts for better service delivery in rural development.
- Participatory approach in planning and implementation has been welcomed and accepted by the government sector. There is also a plan to apply the TWG mechanism in development projects funded by other donors such as Shugnan district applying TWG to GIZ project.
- Revised VDP (usually VDP is revised annually by VO and consulted with MSDSP every 3years) and prioritized list of needs are now used as tools to raise fund from governments and other donors. It is also partially reflected in the Strategic Plan drafted at each district, and has wider impact. VOs and SUDVOs have accumulated their experience and strengthening their capacity in mobilizing and utilizing resources for community development through communicating and negotiating with external stakeholders.
- In the process of sub-project implementation, job opportunities have been created for local communities as most of the construction work is contracted with local constructors. Employment opportunities, even for short-term, has positive impact on local communities that depend nearly half of the local economy on remittance from migrants.

(3) Negative impacts

- There has been no negative impact observed or reported by the time of the Review.

5-5 Sustainability: Moderate

(1) Institutional sustainability of ASUDVO

- The Team has observed that ASUDVO already plays a catalytic role to bridge district/jamoat governments, SUDVO, VO and other donors to materialize the needs of communities beyond CBRD activities. For instance, some of their proposals have obtained supports of other donors, such as WFP in Ishkashim and Shugnan and Aga Khan Health Services in Rushan. The role and mechanism of ASUDVO is appreciated by both communities represented by VO and SUDVO as well as district and sub-district governments. There is, however, a concern over financial and operational sustainability of ASUDVO. Necessary measures needs to be identified by AKF/MSDSP and communities, whether it will be funded by community/village fund, dividend of MLO or other resources including AKF/MSDSP.

(2) Operational sustainability of installed infrastructure

- It is confirmed that all of the sub-projects will be handed over to a relevant department or directorate of the districts government, such as department of communal services, irrigation and water enterprises, health and education departments. Construction companies will be responsible for defects during five months from completion of the construction.
- Operational support and technical advice for maintenance are supposed to be provided by

district governments with a certain budget allocated for social development program. However, the budget turns out to be insufficient to cover material supply especially for education and health facilities and large-scale renovation of roads and bridges. MSDSP is requested to facilitate at least to ensure the necessary furniture and supply for schools and medical points to be provided by the governments upon completion of the sub-projects. For irrigation and drinking water facilities, water users' association/committee will be responsible for regular maintenance by collecting user fees at the village level, with technical support from the government. But again, further support from local government need to be facilitated in case of major repair.

(3) Sustainability of cross-border cooperation

- The Team has perceived that the degree of engagement in cross-border cooperation varies depending on the location of the districts and the neighboring communities. There have been initiative taken by the oblast and some districts for cross-border cooperation in parallel with CBRD. For instance, Darwaz district government has provided CBRD with necessary supports for cross-border meetings by facilitating administrative arrangement with the security authorities. There are also on-going cross-border projects funded by other donors which possibly have synergetic impacts on sustainability of cooperation, such as cross-border water-sharing in Darwaz district, funded by KfW and implemented by MSDSP to cope with scarce water resources at the both sides of the border river.

6. Conclusion

The Team has confirmed that the Project has been implemented without any critical problems despite some delays of infrastructure construction. CBRD has contributed to setting up a pilot of collaborative mechanism between public administration and communities through establishing two institutional arrangements: (1) vertical platform of VO-SUDVO-AUDVO to bring local needs up to the district level, and (2) TWG to incorporate the local needs into development planning at district level, which would realize inclusive development if sustained. The prospect of achieving its outputs by the end of the Project is assumed as high. Thus the Team has concluded that the Project would likely achieve the project purpose within the cooperation period, provided that the Project would continue its efforts and take necessary actions recommended below.

7. Recommendation

(1) Close monitoring to ensure sustainability of the sub-projects

- The coming months will be the prime time to consolidate sustainability of the infrastructure. Upon handing over the facilities to the concerned departments and the communities, the tasks and responsibilities of major stakeholders (VO, SUDVO, Jamoat government, ASUDVO, district government, contractors and MSDSP) in operation and maintenance need to be articulated in the form of an agreement so as to establish sustainable operational and maintenance system. The regular monitoring and recording system is also recommended to be incorporated into the operation and maintenance activities. As for drinking water and irrigation projects, communities have existing mechanism such as Water Users' Associations for daily maintenance and operation, but technical support would be required from engineers of Jamoat and district governments. MSDSP's role is essential to facilitate the government to provide necessary supplies and furniture to health facilities and schools, as the team observed that minimum supplies and furniture were not properly installed in the health clinic. Roads and bridges usually require larger cost for maintenance and rehabilitation when significant damages occur. If possible, it is highly recommended to budget for maintenance of these facilities either at oblast or district government.
- Four sub-projects which are still at a preparatory stage need special attention for in-time completion: irrigation canals in Shugnan and in Ishkashim, a canal for hydro-power in Rushan, and a school building in Darwaz. Intensive monitoring by SUDVO and ASUDVO supported by MSDSP is recommended. Particularly, urgent action is requested to resolve the delayed launch in Chokhkandez/Dashut, the site of irrigation canals, where the villagers are frustrated with irresponsible act of the selected constructor. Fast track re-tendering may be needed for which JICA is willing to offer consultation.
- By the end of August 2014, JICA needs to be informed of the updated completion dates of all sub-projects and be consulted if any delays occur that would go beyond the CBRD duration.

(2) ASUDVO's sustainability

- ASUDVO is a new institution created just two years ago through CBRD Project for which effectiveness and feasibility would be assessed with the long-term perspective. Their functions as a catalyst for participatory development should be upheld even after the Project, considering the intensive investment in their capacity building. For financial and operational sustainability of ASUDVO, necessary measures needs to be identified by AKF/MSDSP and communities in consultation with the oblast and district governments by the end of the CBRD completion. Some ideas shared with the Team are: to use community fund or dividend of MLO to cover ASUDVO's operational cost, to find other donor funds, to be funded by AKF/MSDSP, to explore other options of entrepreneurial income generation by ASUDVO themselves e.g. establishing companies and NGOs providing services.

(3) Completion inspection

- It is recommended to collect data on relevant qualitative and quantitative indicators for assessing improvement of access to infrastructure and to analyze direct and indirect changes caused by the installed infrastructure. The Team considers it necessary to conduct completion

inspection with several indicators besides users' satisfaction which are set per respective sub-sector. The timing and methodology of completion inspection will be consulted between JICA and AFK/MSDSP, and items to be covered in the inspection will be proposed by JICA by June 2014.

- The Team also suggests ASUDVO to take a major role in the data collection through their monitoring activities and to analyze the data in the course of monitoring. The planned capacity building training for “monitoring and report writing” could be designed for such purpose.

(4) Indicators of PLF

- Although base-line survey revealed that physical access had been quite high, in PLF, target value placed for access to basic infrastructure was 24% and appears to be irrelevant. It is recommended that the revised indicator should be discussed among AKF/MSDSP and proposed to JICA for approval, prior to end-line survey.

(5) Capacity Building of Jamoat and SUDVO

- If financially feasible within the agreed budget, it is recommended to include jamoat leaders and SUDVOs in capacity building, either including them as participants in the remaining training and experience-sharing occasions or giving them separate trainings using already established 6 modules.

8. Lessons learned

- (1) JICA learns that collaboration and partnership with locally-rooted international NGOs as AKF/MSDSP increases efficiency of project implementation to reach out to isolated areas, cover wider beneficiaries at the village level, minimize operational cost, adjust and respond to contingencies. AKF/MSDSP has an established presence in the region and has gained immense trust from the local people. It also had an advantage of district-based offices and staff that enabled timely and hands-on assistance to communities, in collaboration with SUDVOs and ASUDVOs.
- (2) For smooth financial and procurement managements, closer and timely communication and consultation between JICA and AKF/MSDSP was needed to share facing challenges and to sort out solutions in a flexible manner rather than having stuck to rigid rules and regulations.
- (3) Past community development projects under AKF/MSDSP have, in general, collected needs and requests directly from the communities. In CBRD, bottom-up planning and selection approach was applied, and it has established collaborative mechanism between communities and local governments. Involving local governments as major stakeholders and also as a target of capacity building was a new initiative for AKF/MSDSP, and it has turned out to be an effective way with further ensured sustainability.
- (4) Not only ASUDVO and TWG but also other actors as district and jamoat officers, SUDVO, VO members, could have been provided with capacity building opportunities. The training for participatory development particularly targeting to government officers could have been conducted for further strengthening the bottom-up approach in development management, as well as trainings targeting community stakeholders as VOs and SUDVOs
- (5) A model case has been established through CBRD in Shugnan district in which the District Strategic Plan has incorporated bottom-up development planning, such as VDP and DDP along with possible budget allocation for each project. This initiative is particularly important, as VDP and DDP per se are not aligned with any government budget allocation. In order to strengthen good governance and accountability in public administration to materialize local needs represented through VDP and DDP, this model is expected to be further applied to the other districts in GBAO.
- (6) In designing sub-projects, several different approaches could be considered in terms of scale, coverage and number of projects. Implementing 44 projects at the village level on one hand promoted wider community mobilization, assuring equality at sub-district level and stimulating bottom-up development efforts from VO to district level. On the other hand, management of scattering 44 sub-projects caused complication in procurement and construction. For population-wise equality, district level intervention might have been considered. Scale of interventions is probable better set in a flexible manner based on the purpose of development actions. Balancing between infrastructure contributing more to economic revitalization and more to social development and quality could be also an agenda for future development in GBAO.

END

ANNEX1: Schedule of Mid-Term Review mission for the Rural Development Project in Tajik-Afghan Border Area of Badakhshan

Date	Day	Consultant (Matsuura)	JICA HQ (Ohshima & Yokota)	JICA Afghan office (Kawase)	JICA Afghan office (Musaddir)	Place to stay	
1	11-May	Sun					
		11:55 Tokyo (TK051) → 18:00 Istanbul 21:10 Istanbul (TK254) →					
2	12-May	Mon				3:45 Arrive at Dushanbe Meeting with JICA Tajikistan Meeting with JICA expert	Dushanbe
3	13-May	Tue				Meeting with AKF CEO and Senior Programme Officer Interview with AKF Chief Finance Officer Meeting with UNDP	Dushanbe
4	14-May	Wed				Move to Khorog (by Helicopter) Meeting with MSDSP General Manager, Regional Manager, Programme Coordinator, Cross-Border Programme Officer	Dushanbe→Khorog
5	15-May	Thu				Interview with MSDSP program officers and engineers	Khorog
6	16-May	Fri				Field visit 1/ interview (SUDVOs/recipients' communities) - Nishup Village (Drinking water supply system) - Ghojak (Irrigation canal) Interview with Shugnan District Governor and TWG members	Khorog
7	17-May	Sat	Cross Border Market Observation	Khorog			
8	18-May	Sun	Documentation	11:55 Tokyo (TK051) → 18:00 Istanbul 21:10 Istanbul (TK254) →	11:30 Kabul(TK707) → 16:00 Istanbul 21:10 Istanbul (TK254) →	Khorog	
9	19-May	Mon	Field visit 2/ interview (SUDVOs/recipients' communities) - Barsem (Reconstruction of car bridge) - Bogeve (Drinking water supply system) - Spintz (Road construction) Interview with ASUDVO in Shugnan district	3:45 Arrive at Dushanbe Meeting with JICA Tajikistan Meeting with AKF Chief Programme Officer Meeting/ Dinner with AKF CEO		Khorog / Dushanbe	
10	20-May	Tue	Internal team meeting Meeting (Lunch) with MSDSP General Manager, Regional Manager and Cross-Border Programme Officer Interview with ASUDVOs	Moving to Khorog (by Helicopter) Internal Meeting Meeting (Lunch) with MSDSP General Manager, Regional Manager and Cross-Border Programme Officer Interview with ASUDVOs		Khorog / Dushanbe→ Khorog	
11	21-May	Wed	Field visit 3 / interview (SUDVOs/recipients' communities) - Sokcharv 1 (Drinking water supply system) - Chokhkandez (Irrigation canal) - Vozm (Medical point)		Field Visit / Afghan-Badakhshan - Wurgond e Bala Bridge, Wakhan - Wurgond e Payan Bridge, Wakhan - Boys High School, Ishkashim	Darvaz / Afghanistan- Badakhshan, Ishikasim	
12	22-May	Thu	Move from Darvaz to Dushanbe (by road)		Documentation	Dushanbe / Afghanistan- Badakhshan, Ishikasim	
13	23-May	Fri	Report to AKF CEO Report to Embassy Report to JICA Tajikistan	UNDP LITACA Steering Committee Report to JICA Tajikistan	Field Visit / Afghan-Badakhshan - Warizan Primary School, Shughnan - Chawqantarashan Primary School	Dushanbe/ Afghanistan- Badakhshan, Shughnan	
14	24-May	Sat	Meeting with AKF-Afghanistan		Move from Shughnan to Nusai	Dushanbe/ Afghanistan- Badakhshan, Nusai	
15	25-May	Sun	Documentation		Field Visit / Afghan-Badakhshan - Woim e Bala Bridge, Nusai	Dushanbe/ Afghanistan- Badakhshan, Nusai	
16	26-May	Mon	5:40 Dushanbe (TK255) → 9:05 Istanbul 17:10 Istanbul (TK050) →	Documentation	Move from Afghan/Nusai to Dushanbe (Teacher Training Centre, Shekai)	Dushanbe	
17	27-May	Tue	10:25 Arrive at Tokyo	Interview to AKF-A		Dushanbe	
18	28-May	Wed		Documentation	Dushanbe to Kabul (direct flight)	Dushanbe	
19	29-May	Thu		5:40 Dushanbe (TK255) → 9:05			
20	30-May	Fri		03:05 Istanbul (TK706) → 9:30			

Project Name: Rural Development Project in Tajik-Afghan Border Area of Badakhshan
 Target Group: Population of Gorno-Badakhshan Autonomous Oblast (GBAO), Tajikistan
 Target Area: Districts of Darwaz, Varj, Rushan, Shugnan and Ishkashim in GBAO

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
OVERALL GOAL			
Improved quality of life of the population in the project target area as a result of improved infrastructure and socio-economic services	Improved quality of life of people residing in the project area (qualitative indicators)	Quality of Life Assessment Study (AKF Tjk); Project Baseline and Impact Assessments	Political stability
PROJECT PURPOSE			
Improved service delivery to the population through sub-national good governance and improved Tajik-Afghan collaboration	1. % of population in the target area is aware of institutional arrangements for service delivery and governance (Target Value: 80%); 2. % of population rating the performance of local governance institutions as <i>responsive</i> and <i>inclusive</i> (Target Value: 70%);	Project monitoring reports; Project Baseline and Impact Assessments	Political stability; Favorable government policies; Environmental stability
OUTPUT			
1. Basic development infrastructure to cover basic services and increase livelihood opportunities is improved	1. # of infrastructure development projects implemented (Target Value: min. 42); 2. % population with increased access to basic infrastructure (Target Value: 24%); 3. Level of satisfaction of target beneficiaries/users from basic infrastructure; (Scale: 1-5)	Project monitoring reports; Project Baseline and Impact Assessments	The security situation permits local construction companies for contracting and delivering services; Currency fluctuations do not impact the funds available; Seasonal weather patterns are favorable for construction
2. The capacity of local governance institutions to identify, plan and implement demand driven services is enhanced	1. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (ASUDVOs) Target Value (75%); 2. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (jamoat) Target Value (70%); 3. % of beneficiaries in the target area satisfied with the services provided by local governance institutions (district government) Target Value (65-70%); 4. Increased self-assessment rate of local governance institutions (ASUDVOs, jamoat and district government) (Scale: 1-5) 5. Increased collaboration between and among local governance institutions (Scale: 1-5);	Project Monitoring Reports; Project Baseline and Impact Assessments	Political stability; Favorable government policies
3. The collaboration between Tajik and Afghan governance institutions is strengthened	1. % of CBC members satisfied with the level of cross-border collaboration (Target Value: 60%) Baseline: 2. Cycles of experience sharing visits/conferences participated by local governance institutions in the pre-project, during and post-project periods (Target value: 3).	Project Monitoring Reports; Project Baseline and Impact Assessments	Both governments agreed on favorable terms for collaboration; Political stability in the region
ACTIVITIES			
MEANS			
1. Install infrastructure based on priorities identified by local institutions	AKF/MSDSP will facilitate the bottom-up and participatory planning process for prioritization of infrastructure projects, design and implementation	Construction tenders and contracts, monitoring and project reports	There are no unforeseen natural disasters, logistical complications, or security restrictions that impede the ability to construct infrastructure in target areas;
2. Train local institutions in how to identify, prioritize, implement and manage development (infrastructure) projects	AKF/MSDSP will sub-contract professional training institutions to train representatives of local institutions, including jamoats, ASUDVOs, and district government departments on project management	Agreements with trainings institutions; reports on the trainings' results; project monitoring reports	Political stability; local trainings institutions are available to provide quality trainings;
3. Train local institutions to facilitate discussions and collaboration among local stakeholders for identifying and addressing priority needs	AKF/MSDSP will build the capacity of ASUDVOs and support them to facilitate discussions and collaboration between civil society organisations, jamoats, and district government	Project monitoring reports	Local governance institutions have the means to participate in trainings; Security enables trainers to reach participants.
4. Establish and promote collaborative relationships between Tajik and Afghan institutions in the border area	AKF/MSDSP will facilitate oblast government of GBAO, Tajikistan and the Badakhshan province of Afghanistan through cross-border commission meetings to foster collaborative relationships	Quarterly training reports	Tajik and Afghan policies are favorable for cross-border collaboration

Annex 3: Plan of Operations (as of April 2013)

M A M J J A S O N D J F M A M J J A S O N D J F M A M J J A S O N D J F

Activity by Objective	Year 1: March 2012 – Feb 2013												Year 2: March 2013 – Feb 2014												Year 3: March 2014 – Feb 2015												
	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	M11	M12	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	M11	M12	M1	M2	M3	M4	M5	M6	M7	M8	M9	M10	M11	M12	
1.1 Community mobilization&meeting with focus on cross border development issues																																					
1.2 Establishment of ASUDVOs																																					
1.3 Capacity development of ASUDVOs&Institutional development trainings																																					
2.1 Joint consultations&experience sharing visit to the cross border territories between ASUDVOs																																					
2.2 Village&sub district level meeting&planning process with focus on infrastructure sub projects																																					
2.3 District level planning meetings&process with focus on infrastructure sub-projects (including JCC&CBC meetings in first, second&third year)																																					
2.4 Implementation of infrastructure sub-projects																																					
3.1 Monitoring&Evaluation																																					
3.1.1 Joint MSDSP&ASUDVO monitoring visits																																					
3.1.2 Baseline Assessment																																					
3.1.3 Final Assessment																																					

ANNEX 4. List of the Project Team Members and Counterpart Personnel

CBRD Project Team

#	Position	Location	Name of Staff	Description
1	Cross-boarder programme officer	GBAO	Mr Saidaziz Sholamov	Operational management, technical support to MSDSP GBAO with detailed planning, budgeting and overall coordination
2	Cross-boarder engineer	GBAO	Mr Navruz Akdodov	Technical verification of proposed infrastructure projects, technical monitoring and evaluation of approved infrastructure projects
3	Institutional development programme officer	GBAO	Mr Mamadsaid Mamadsaidov	Institutional development expert, facilitation of meetings, training and capacity building of ASUDVOs
4	Monitoring and Evaluation officer	GBAO	Mr Adabjon Abdukodirov	M&E, progress reporting to MSDSP management
5	MSDSP Procurement officer	GBAO	Mr Sheroz Sheramardov	Logistics, procurement and other administration tasks
6	Accountant	GBAO	Ms Tuti Mirzoeva	regular accounting records, accounting reports
7	Driver	GBAO	Mr Zafar Oshurbekov	regular driving service
8	Driver (budgeted from 2013)	GBAO	Mr Davron Mavlonazarov	regular driving service
9	ASUDVO manager	Shugnan District	Mr Gulomnabi Bakhtibekov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Group of Shugnan district (TWGs)
10	Accountant	Shugnan District	Ms. Narziya Oshurmamadova	Accountant, responsible for overall financial function
11	ASUDVO manager	Ishkoshim District	Mr Nekusho Saodatsairov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Groups of Ishkashim district (TWGs)
12	Accountant	Ishkoshim District	Mr. Assadulloev Rahmatullo	Accountant, responsible for overall financial function
13	ASUDVO manager	Vanj District	Mr Qurbon Bekov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Group of Vanj district (TWGs)
14	Accountant	Vanj District	Ms. Mahbuba Shorahmatilloeva	Accountant, responsible for overall financial function
15	ASUDVO manager	Darvaz District	Mr. Saidali Qalandarov	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Groups of Darvaz district (TWGs)
16	Accountant	Darvaz District	Mr. Madad Nazriev	Accountant, responsible for overall financial function
17	ASUDVO manager	Rushan District	Mr Raimbekov Yormamad	Facilitation of community mobilisation, community based planning and institutional strengthening of VOs. Secretary service to Technical Working Groups of Rushan district (TWGs)
18	Accountant	Rushan District	Ojatbegim Shujandijova	Accountant, responsible for overall financial function

Senior staff of MSDSP involved in CBRD Project

1	General manager of MSDSP Central Office (CO)	GBAO	Mr Kishwar Abdulalishoev	Overall strategic supervision of the project, member of JCC
2	Deputy general manager Programme, MSDSP CO	GBAO	Mr Shodmon Hojibekov	Overall operational supervision of the project
3	Deputy general manager HR, Finance and Admin MSDSP CO	GBAO	Ms Ramziya Janatshoeva	Overall financial/HR/Admin supervision of the project
4	Chief finance officer MSDSP CO	GBAO	Mr Alidod Mirulloev	Overall supervision and quality assurance of finance reports
5	Programme Coordinator, Participatory Governance	GBAO	Mr Ghulomsho Lutfulloev	Overall supervision and quality control of institutional development trainings, Member of JCC
6	Programme Coordinator, Planning, Monitoring and Evaluation	GBAO	Mr. Muhamad Bodurbekov	Overall supervision and quality control of M&E activities
7	Grants officer (reporting)	GBAO	Ms Rayhon Johnbekova	Consolidation of narrative reports for the project
8	Programme office, Participatory governance MSDSP CO	GBAO	Mr. Parvona Khujaorifov	Technical support to MSDSP GBAO and ASUDVOs in conducting trainings
9	Programme officer Cross-border infrastructure, MSDSP CO	Dushanbe	Mr Mirzo Ghulomov	Overall quality assurance of infrastructure projects design work and liaison with design institutes in Dushanbe, Member of JCC
10	Regional manager MSDSP GBAO	GBAO	Mr Bakhtiyor Azizmamadov	Overall operational management, member of JCC
11	Finance manager MSDSP GBAO	GBAO	Mr Osim Gulamadshoev	financial reporting and control
12	Senior programme officer, Infrastructure MSDSP GBAO	GBAO	Mr Khujamyor Khumorikov	technical assessment of infrastructure projects, member of JCC
13	MSDP district manager, Darvaz district	Darvaz	Ms Mohijahon Namakova	district level project management, member of TWG
14	MSDP district engineer, Darvaz district	Darvaz	Mr. Mamadnazar Kabirov	district level project engineer, member of TWG
15	MSDP district manager, Vanj district	Vanj	Mr Saidbek Kosimov	district level project management, member of TWG
16	MSDP district engineer, Vanj district	Vanj	Mr. Imommamad Dodov	district level project engineer, member of TWG
17	MSDP district manager, Rushan district	Rushon	Mr. Imomdod Qimatshoev	district level project management, member of TWG
18	MSDP district engineer, Rushan district	Rushon	Mr. Umed Rahimbekov	district level project engineer, member of TWG
19	MSDP district manager, Shughnan district	Shughnan	Mr. Peruz Fidoev	district level project management, member of TWG
20	MSDP district manager, Ishkashim district	Ishkashim	Ms Aqlibegim Khonjonova	district level project management, member of TWG
21	MSDP district engineer, Ishkashim district	Ishkashim	Mr. Nabi Zanjirbekov	district level project engineer, member of TWG
22	MSDSP Dushanbe Admin officer	Dushanbe	Mr Safarbek Nazarshoev	CBRD related tenders/ procurement/logistics support
23	MSDSP Dushanbe Accountant	Dushanbe	Mr Olucha Mamadniyozov	CBRD related accounting reports / liaison with AKF

AKF Tajikistan

1	Chief Executive Officer	Dushanbe	Mr. Yodgor Faizov	Overall supervision of the project
2	Senior Rural Development Programme Officer	Dushanbe	Ms Beate Schoreit	Overall technical supervision of the project

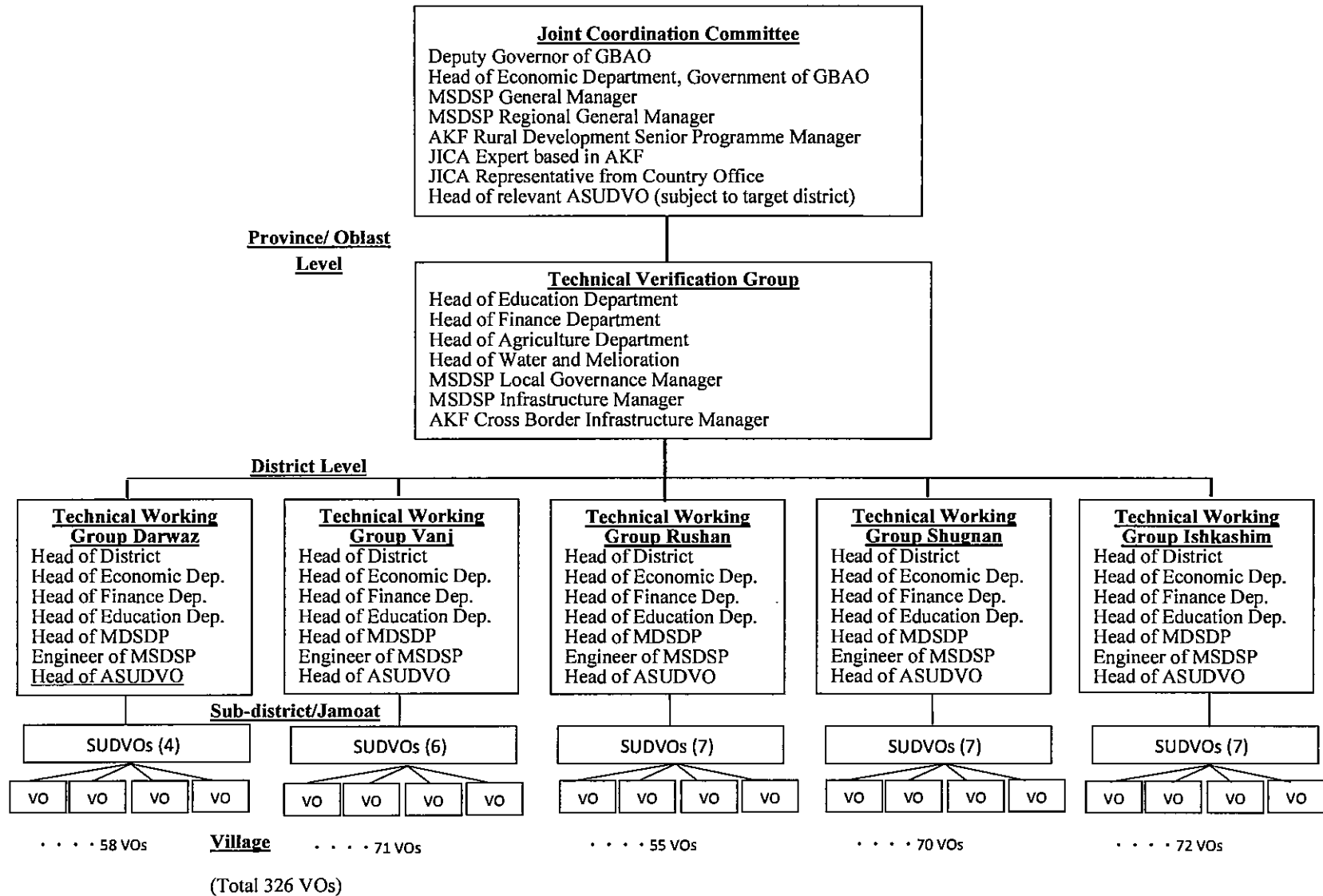
Senior Representative of GBAO Government Involved in the Project

1	Governor of GBAO	GBAO	Mr. Shodikhon Jamshed	member of JCC, head of JCC
2	Deputy Governor of GBAO	GBAO	Mr. Isror Isrorov	member of JCC, Executive head of JCC
3	Head of Economic development Department GBAO	GBAO	Mr Latif Shozodaev	member of JCC
4	Head of Investment committee GBAO	GBAO	Mr.Ulfatsho Abdolbekov	Assitant to head of JCC/representative of TVG

Drivers of senior staff

1	MSDSP Central office driver	GBAO	Mr Husaidod Panjshanbiev	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings
2	MSDSP Central office driver	GBAO	Mr Okhonjon Majnunov	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings
3	MSDSP Central office driver	GBAO	Mr Fakhridin Konunov	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings
4	MSDSP GBAO drivers	GBAO	Mr Shatut Qodirov	Travel of MSDSP senior staff and government officials to TWG meeting and cross-border meetings

Annex 5: Project Implementation Structure



**The updated list of CBRD infrastructure construction project's progress during the project period:
Last updated version 26th of May 2014.**

District	Sub - District	Village	Project Name	Name of Construction companies	Contract Award	% of work completed	Status of Construction work
Shughnan	Sokhcharv	Chokhkandez / Dasht	Renovation of the irrigation canal	Fund for Development of Badakhshan	Done	0	Preparatory work is in progress. Project duration 3 months.
		Sokhcharv -1	Construction of drinking water supply system	Boziqala	Done	100	The project is completed.
	Porshinev	Vozm	Construction of Medical Point	Khudoyorbek	Done	55	Dismantling of the old building; Land/fieldwork; laying the foundation, wall construction.
		Kushk/Vozm/ Buved	Repairs of sport hall	Khudoyorbek	Done	75	Roof installation, construction toilet and bathroom
	Darmorakht	Nishusp - Dashtak - Barchadev	Construction of drinking water supply system	Narzan	Done	60	Materials delivered. Digging trenches, partial pipe installation
		Ghojak /Pish	Partial rehabilitation of irrigation canal	Boziqala	Done	60	Digging trenches, construction a small pond, partial pipe installation.
	Suchon	Bogev	Construction of drinking water supply system	Narzan	Done	45	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
		Barsem	Reconstruction of the car	Dorojnik	Done	97	Straightening metallic ropes;

Ishkoshim

		bridge				Replacing the bridge old, damaged surface with new metallic deck; Painting.
	Sipinz	Construction of internal road connecting Bidurth - Sipinz - Roj and Khedevshal villages	Dorojnik	Done	75	Leveling the rough road; Widening of the road. Protection wall construction.
Navobod	Debasta	Construction of drinking water supply system	Sharif Sh S	Done	70	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
	Navobod	Construction of drinking water supply system	Mamadfozil	Done	80	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
Ver	Ver/Zuvor	Construction of drinking water supply system	Shohnavruz	Done	40	Digging land/field works; Partial installation of plastic pipes
Vankala	Bachor	Renovation of road and construction of small car bridge	Dorojnik	Done	70	Broadening of the road; Extension of mainstream of the mountain river.
	Sardem	Construction of drinking water supply system	Amirhamza	Done	60	Partial land/field works; Partial installation of plastic pipes.
Total Shugnan:		14				
Ishkoshim	Skunde /Rin	Renovation of selected classrooms in the secondary school # 20	Saknon	Done	10	Demolition works is in progress.
Vrang	Drij	Construction of four additional classrooms for secondary school # 7	Narzan	Done	25	Land/fieldwork; laying the foundation, wall construction is in process.
	Vnukut	Construction of Medical Point	Narzan	Done	30	Land/fieldwork; laying the foundation, wall construction is in process.
Zong	Zugvand	Renovation of the secondary school #5	Narzan	Done	25	Roof rehabilitation, demolition of old windows, doors and cells of the schools.
Shitkharv	Darshai	Dam construction for irrigation canal	Panj	Done	95	Excavating; Transportation of boulders; wall construction, dam cementing, putting gates for canal
Pitup	Vichkut	Renovation of the irrigation canal	Asl	Done	100	Land/field work on broadening the canal; partial wall construction and

						cementing process done, putting new gates for the canal. The construction process is completed!	
	Pitup Chiltok	Renovation of the irrigation canal	Obodkor	Done	0	Preparatory work is in progress. Project duration 3 months.	
	Kozideh	Construction of drinking water supply system	Obodkor	Done	80	Land/field work; Partial installation of plastic pipes.	
	A. Zamirov /Andarob	Construction of drinking water supply system	Narzan	Done	70	Land/field work; Partial installation of plastic pipes.	
Total Ishkashim: 9							
Rushon	Dodkhudoev	Derrushon	Construction of Medical Point	Sanobod	Done	10	Preparatory work for laying the foundation.
	Pastkhuf	Pastkhuf	Roofing of the secondary school # 12	Akmal	Done	95	Replacement of asbestos roofing with metal sheet.
		Khuf	Completion of construction of the road connecting Pastkhuf and Khuf villages	OOO Panj	Done	100	Leveling the rough road; Widening of the road.
	Savnob	Pasor/Bopasor /Ghudara	Rehabilitation of the building and supply canal of small HPS	AHU Rushan-Sarez	Done	0	The contractor is procuring material and preparatory work is in progress.
	M. Abdulvosiev	Deh	Construction of new classrooms for secondary school # 2 in Deh village	Akmal	Done	10	Land/fieldwork; laying the foundation, wall construction is in process.
	Bartang	Ravmed	Reconstruction of tank of Ravmed small hydro power station	Shark	Done	15	Land working; cementing working is in process
		Ravivd	Construction of inverted siphon for irrigation canal	Obi Zulol	Done	95	Material delivered; Land /digging; Inverted siphon (pipes) installation is in process.
Basid	Basid	Construction of building and reconstruction of canal for hydro power station	AHU Rushan-Sarez	Done	40	The contractor procured materials; The local material of construction (sand, crashed stone, wooden materials & cement) were carried to the project site.	

	Rushan	Vomar	Renovation of the therapeutics department at the district hospital	Sanobod	Done	70	Demolition works; paneling the walls and ceilings with drywall. Replacement of window.
	Total Rushan: 9						
Vanj	Vodkhud	Buniga	Construction of drinking water supply system	Mullo Safar	Done	100	Land/field works – digging land completed; Partial installation of plastic pipes is in process.
	Mahmadullo Abdulloev/ Vanj	Gishkhon	Construction of the Medical Point	Kvazar	Done	55	Land/fieldwork; Laying the foundation; Laying the stone walls.
		B.Gafurov	Construction of public toilet	Sadbarg	Done	100	Land/fieldwork; Digging hole; Laying the stone walls. The construction is completed
	Jovidon	Rav	Construction of drinking water supply system	Mullo Safar	Done	60	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
	Rovand	Poimazor-Van-Van	Construction of car bridge and renovation of road Van- Van to Poi Mazor	Badakhshonroh	Done	35	Land working; leveling the rough road; Widening of the road. Protection wall construction. Laying the foundation, cementing is in process
	Yazgulom	Jamag	Rehabilitation of domestic road of Jamag and Andarbag villagers	Badakhshonroh	Done	80	Land working; leveling the rough road; Widening of the road is in process
	Tekharv	Chikhokh	River bank stabilization	Ganj	Done	60	The contractor is procured materials into project site; Land working and foundation of protection wall is in progress
		Ravgada	Construction of footbridge	Safari 2	Done	90	Project material delivered; Land working & laying foundation in completed, construction of the bridge is near to completion.
	Total Vanj: 8						
Darvaz	Nulvand	Yoged	Construction of siphon irrigation system	MG Kompaniya (Dushanbe)	Done	95	Land/field work on broadening the canal; Installation of the irrigation system is in progress
	Saghirdasht	Langaro	Construction of four additional classroom at primary school # 44	Investstroy	Done	5	The contractor delivered the material; Now the road to Sagridasht is closed, will be opened in end May.

Vishkharv	Jorf and Vishkharv	Construction of sub-district level Medical Ambulatory	SU-4 (Construction Department)	Done	60	Material delivered; Dismantling of the old building; Land/fieldwork; Laying the foundation; contraction of the wall is in progress.
Kalai-Khumb	Sangevni daroz	Construction of additional classroom at main school # 45	Darvoz Sokhtmon	Done	50	Material delivered; Dismantling of the old building; Land/fieldwork; Laying the foundation; contraction of the wall is in progress.
Total Darwaz:		4				
Total:		44				

** 44 agreements with contractors have been done = 100%;*

**41 out of 44 projects is under construction progress = 93%.*

** 6 out of 44 projects implementation is completed = 13% (around 33 temporary job work completed)*

** 5 out of 44 projects near to completion = 11%*

** Approximately, 245 temporary job opportunities created within starting construction work progress.*

(245 temporary jobs have been created for community members through construction work by the construction companies. The temporary construction workers are village members that have experience in construction and perform various jobs as cementing, wall constructor, carpenter, etc.).

ANNEX7: Record of Cross-border Activities, In-country Trainings and Third Country Trainings

Basic and Advanced Capacity building modules/trainings for ASUDVOs

Y1 March 2012 – March 2013									
#	Training Title	Module developed by	Training was conducted by	Conducted training period	Duration (days)	Place of conducted training	Target Group	Participants No. (Male/Female)	Remarks / Findings
1	Visioning Exercise	MSDSP Participatory Governance experienced specialist	MSDSP PG specialist	April to June 2012	1	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs	5 males	
2	District-Level Priority Planning	MSDSP Participatory Governance experienced specialist	MSDSP PG specialist	July to September 2012	1	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs, TWGs & MSDSP Districts	13 males 2 females	
3	Project Cycle Management (PCM)	Civil Society Support Center – NGO "Kalam"	NGO Kalam experienced specialists/trainers	October – December 2012	2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	10 males	
Y2 March 2013 – March 2014									
4	Conflict Resolution	Civil Society Support Center – NGO Kalam	NGO Kalam experienced specialist/trainers	April - June 2013	2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	11 males	
5	Gender for Development	Two individual experienced trainers	Two qualified experienced trainers	April - June 2013	2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	10 males 1 female	
6	Common Property Resource Management	An individual experienced trainer	A trainer with PhD in Economic science, Head of Economic, Management and Finance Department of Public Administration Institute under the	October - December 2013	2	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs	10 males	
Y3 March 2014 – February 2015									
7	Monitoring and Report Writing	MSDSP Participatory Governance & Planning Monitoring Evaluation Unit specialist will develop the module	MSDSP PMEUI specialists will conduct the training	April - June 2014	1	Khorog, MSDSP Office	ASUDVOs & TWGs		

In - Country /Abroad/ Cross-Border Experience-Sharing Activities

#	Activity Title	Place/Location conducted activity	Host Organisation	Period	Date visit	Target Group	Participants No. (Male/Female)	Remarks / Findings	
1	In country experience sharing visit	Shugnan district, GBAO		January - March 2013	11 of January 2013	ASUDVOs, TWGs & NGOs	13 males		
2	Cross-Border experience sharing	Shugnan Afghanistan	AKF Afg.	April - June 2012	11-12 June 2012	MSDSP GBAO & CO	4 males		
3	Cross-Border experience sharing	Shugnan district, GBAO	MSDSP	April - June 2012	13-15 June 2012	AKF Afg.	7 males		
4	Pre-conference experience sharing visit	Shugnan Afghanistan	AKF Afg.	October - December 2012	01 - December 2012	ASUDVOs & TWGs from Shugnan and Rushan districts	11 males 1 female	Meeting wit Local Government, DDAs, CDCs and CLDCs of	
5	Pre-conference experience sharing visit	Ishkashim Afghanistan	AKF Afg.	January - March 2013	March 2013	ASUDVOs & TWGs from Ishkashim, Vanj & Darwaz districts, MSDSP	12 males	Meeting wit Local Government, DDAs, CDCs and CLDCs of Ishkashim Afr.	
6	Cross-Border Conference	Khorog Cross Border Market territory, Tajikistan	MSDSP	July to September 2013	17 August 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP from Tajik	12 males 3 females	Cross Border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, Local	
7	Cross-Border Conference	Darwaz Cross Border Market territory, Tajikistan	MSDSP	October to December 2013	21 December 2013	ASUDVOs, TWGs, JCC & MSDSP	10 males 2 females	Cross Border Conferences on JICA/CBRD project with DDAs, Local	
Experience Sharing Abroad									
8	Experience sharing visit to Kyrgyzstan	Kyrgyzstan (Bishkek, Issyk-kul, Osh)	AKF Krg. & MSDSP Krg. JICA OVOP project	January - March 2013	5 to 12 February 2013	ASUDVOs, TWGs and JCC	11 males 1 female	(Umemo's findings of JICA OVOP Project visit) Learn about how to	
9	Experience sharing visit to Islamabad/Pakistan	Islamabad	RSPN - Rural Support Programme Network	January - March 2014	16 to 25 January 2014	ASUDVOs, TWGs and JCC	10 males		
Y3 March 2014 – February 2015									
10	Cross Border Conference	Ishkashim Cross Border Market territory, Tajikistan	MSDSP jointly with AKF Afg. will conduct the CB Conf.	October - December 2014	Planned	ASUDVOs and TWG of Ishkashim & JCC members	approx. 10		

ANNEX 8: Evaluation Grid

Evaluation Criteria	Evaluation question		Basis of judgment	Data needed	Data source	Data collection method	
	Main question	Sub question					
Achievement	Were the input made as planned?	Have the counterpart personnel in the GBAO government (jamoat/district) assigned as planned?	Comparison with the planned figures	List of counterpart personnel	Project records	Document review, interviews	
		Have the Japanese expert dispatched as planned?	Comparison with the planned figures	Information on a Japanese expert	Reports of Expert	Document review, interviews	
		Have the trainings of jamoats, ASUDVOs, and district government departments for project management conducted as planned?	Comparison with the planned figures	Records on each trainings	Project records, Reports of sub-contracted training institutes, Project staff	Document review, interviews	
		Have the infrastructure sub-projects implemented as planned?	Comparison with the planned figures	Information on the sub-projects	Project records, Updated infrastructure profile, Project staff, Expert	Document review, interviews	
		Have the cross-border commission meetings between GBAO Tajikistan and Afghan Badakhshan conducted as planned?	Comparison with the planned facilities	Records on the cross-border meetings and activities	Project records, Project staff, Expert, Records of meetings if available	Document review, interviews	
		Have the budgets to cover operational costs allocated as planned?	Comparison with the planned figures	Records on budgetary allocation and execution	Financial Reports, Project records, Expert, Project staff	Document review, interviews	
	Have the outputs been produced properly?	Have appropriate facilities been selected to improve the livelihood of each locality?	Degree of achievement	Information on the sub-projects	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
		Have the installed facilities improved access to basic services and livelihood opportunities?	Degree of achievement	Information on the sub-projects	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
		Have the residents satisfied with the installed facilities?	Degree of achievement	Information on the sub-projects	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
		Have ASUDVOs, SUDVOs facilitated the selection, construction, operation and maintenance of the infrastructure?	Degree of achievement	Information on the sub-projects	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
		Have the district/sub-district governments been responsive to the needs of community during selection, construction, operation and monitoring of the	Degree of achievement	Information on the sub-projects	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
		Have the self-confidence of ASUDVOs/SUDVOs and district officers increased?	Degree of achievement	Information on the trainings and activities for/of ASUDVOs/SUDVOs	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
		Have VOs, SUDVOs ASUDVOs and districts government collaborated to respond to the inter-communal needs?	Degree of achievement	Information on the trainings and activities for/of ASUDVOs/SUDVOs	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
		Has the cross-border committee facilitated cross-border dialogues and activities?	Degree of achievement	Records on the cross-border meetings and activities	Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs, CBC members	Document review, interviews	
	Is the Project purpose likely to be achieved?	Have the CBC members (and local people) been benefited from the cross-border activities?	Degree of achievement	Records on the cross-border meetings and activities	Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs, CBC members, beneficiaries	Document review, interviews	
		Have the district governments in collaboration with ASUDVOs/SUDVOs been able to provide better service/support to communities (quality /quantity)?	Levels of improvement	Information related to the project progress	Project records, infrastructure profile, Expert, beneficiaries, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews	
			Have the cross-border activities contributed to the livelihood improvement ?	Levels of improvement	Information related to the project progress	Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs, CBC members, beneficiaries	Document review, interviews

Evaluation Criteria	Evaluation question		Basis of judgment	Data needed	Data source	Data collection method
	Main question	Sub question				
Implementation processes	Have the activities been implemented as scheduled?	Have the activities been timely implemented?	Comparison with the PO	Actual implementation schedule	Project staff, Project records, Expert	Document review, interviews
		Has there been any change in the activities and schedule of implementation from the original PO?	Comparison with the PO	Information on the changes that took place	Project staff, Project records, Expert	Document review, interviews
	Have there been any problem related to the management of the Project?	Have the Project activities been properly monitored?	Frequency and contents of monitoring	Monitoring mechanism, monitoring results	Project staff, Project records, Expert	Document review, interviews
		Has the decision making mechanism of the Project been functional?	Existence of problems and countermeasures	Information on the JCC and other decision making mechanisms	Project staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
		Has the communication among JICA HQ, JICA Tajikistan Office, AKF/MSDSP and GBAO government been smooth?	Existence of problems and countermeasures	Ways and contents of the regular transactions	JICA HQ and Tajikistan Office, AKF and MSDSP Staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
		Has the communication among the Project staff been smooth?	Existence of problems and countermeasures	Ways and contents of the daily and regular transactions among the Project staff	AKF and MSDSP Staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
	Are AKF/MSDSP and the GBAO government committed and well aware of the CBRD Project as JICA's technical cooperation?	Do the AKF/MSDSP understand the objectives and approaches of the Project?	Levels of understanding	Information on the understanding of the Project purpose, discussion & meeting records	Project staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
		Have appropriate counterpart personnel been assigned in the GBAO Government at both provincial and district	Suitability of their expertise	Information on the qualification / background / experiences of the counterpart personnel	GBAO government, Project staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
		Have the GBAO counterparts been committed and involved actively in the Project activities?	Degree of participation	Examples of the activities that were mainly conducted by the counterpart personnel	GBAO government, Project staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
	Are the target groups well aware of the Project?	Have the beneficiaries well recognize the Project activities and participated in them?	Levels of understanding	Information on their understanding of the Project, records of explanatory efforts made by the Project	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Interview, discussion
	Were there any special measures taken to ensure the smooth implementation of the Project?	Have there been any special arrangements and measures taken during implementation?	Degree of flexibility and responsiveness	Information on the measures taken by the Project	JICA HQ and Tajikistan Office, AKF and MSDSP Staff, Project staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
		Have there been any unexpected issues/troubles occurred in the project activities? If so, how responded?	Degree of flexibility and responsiveness	Information on the measures taken by the Project	Project staff, Project records, Expert	Interview, discussion with Project staff
	Does the Project address the needs of the target area and the target groups?	Is the Project still in line with the needs of the target area and society?	Confirmation on the current needs	Baseline information, socio-economic data of GBAO	GBAO government, Project staff, Project records, Expert	Document review, interviews
		Is the Project still in the line with the needs of the target groups/communities?	Positive response from the target group	Baseline information, opinion of Project staff and target beneficiaries	Project staff, Project records, Expert's opinions, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews



Evaluation Criteria	Evaluation question		Basis of judgment	Data needed	Data source	Data collection method
	Main question	Sub question				
Relevance	Has the Project still been in line with the priorities in the development plans and program of the country and the sector ?	Is the Project still consistent with the development plans of the GoT?	Existence of the consistent stipulation in the document	Development plans and programs of Tajikistan government	Project documents	Document review
		Is the Project still consistent with the development plans of the GBAO Government?	Existence of the consistent stipulation in the document	Development policies/plans of the GBAO government (available?)	Project documents	Document review
	Is the Project priority in the Japan's foreign assistance policy and JICA's country programs?	Is the Project relevant to the Japan's Aid Policies ?	Existence of the consistent stipulation in the document	Priority directions in Japan's Aid Program	Japan's Foreign Assistance Policy	Document review
		Is the Project relevant to the JICA's Program / Rolling Plan?	Existence of the consistent stipulation in the document	JICA's Program / Rolling plan	JICA's Country Assistance Program / Rolling Plan	Document review, discussion with JICA staff
	Has the Project been adequate means to address the development issues in the region?	Does the Project appropriately address agendas for rural development in GBAO?	Existence of the consistent stipulation in the document	National policies & programs related to the local government and water sector	Policy documents, Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Document review
		Does the Project properly address the needs of implementing agencies?	Existence of the consistent stipulation in the document	Plans and program of implementing agencies	Policy documents, Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews
		Has there been any synergy effects through cooperation with other donors?	Positive response from the target group	Baseline information, opinion of stakeholders	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews
	Is the selection of target groups appropriate?	Have the size of the target group been appropriate?	Coverage of needy population	No. and area of coverage, No. of beneficiaries	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews
		Has the Project equitably brought about the benefit?	Distribution of the Project benefits	Project benefits enjoyed by different strata of target groups	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews
		Has the cost been equally shared by the stakeholders?	Cost sharing ratio	Expenditure and source of funds	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Document review, interviews
	Has the Project applied appropriate approach?	Has there been any advantage/disadvantage of collaboration with JICA for AKF/MSDSP?	Comparative advantage/disadvantage in operational, political, economic and social aspects	Observation and feedbacks of the project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Has there been any advantage/disadvantage of collaborating with AKF/MSDSP for JICA?		Observation and feedbacks of the project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Has there been any advantage/disadvantage of integrating cross-border aspects into the Project?		Observation and feedbacks of the project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
	Has there been any changes in the environment surrounding the Project?	Has there been any changes in social, political and other conditions assumed prior to the commencement of the Project?	Degree of impact on the local socio-political environment	Information on the environment of the Project	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
Effectiveness	Is the prospect of achieving the Project purpose considered to be high?	Has the Project purpose been specific enough?	Existence of commonly shared definitions of Project purpose	Definition, understanding on the Project purpose among the Project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Interview, discussion with Project staff
		Will there be any potential obstacles that may hinder the achievement of the Project purpose?	Degree of impact	Information on the potential risks and obstacles and possible mitigation measures	Project records, Project staff, Expert	Interview, discussion with Project staff
	Have the outputs been appropriate to achieve the Project purpose?	Is the logical sequences between outputs and Project purpose still secured?	Confirmation on the logical sequence	Information on the results or activities that indicate the cause-effect relationship	Project records, Project staff, Expert	Interview, discussion with Project staff
		Has there been any factors contributing to the achievement of the Project purpose other than the outputs?	Situation analysis	Information on the related events, programs/projects by other organizations in the target area	Project records, Project staff, Expert	Interview, discussion with Project staff
	Have the Project activities been appropriate/adequate to produce the outputs?	Are the activities contributing to achieve the outputs?	Co-relation between the outcomes of the activities and outputs	Logical sequence between activities and outputs, progress of activities and levels of achievements	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Has there been any obstacle for the achievement of the outputs?	Co-relation between the outcomes of the activities and outputs	Information on any relevant events in the course of Project implementation	Project records, Project staff, Expert	Interview, discussion with Project staff

Evaluation Criteria	Evaluation question		Basis of judgment	Data needed	Data source	Data collection method
	Main question	Sub question				
Efficiency	Have there been any other factors influencing effectiveness?	Has there been any influence of important pre-conditions?		Information on any relevant events in the course of Project implementation	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Has there been any other hindering or contributing factors?		information on the security situations etc.	Project records, Project staff, Expert	Interview, discussion with Project staff
	Have the inputs been appropriate/adequate to produce the outputs?	Have the timing, number, duration, and fields of Japanese experts dispatched been appropriate?	Comparison with the planned figures	Records on Japanese experts	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Have the timing, duration, contents of counterpart training been appropriate?	Comparison with the planned figures	Records on counterpart training	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Have the timing of financial remittance been appropriate?	Comparison with the planned figures	Records on financial management	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Have the timing, number, fields and competency of the counterpart personnel been appropriate?	Comparison with the planned figures	List of counterpart personnel	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Were there transparency and accountability in the procurement process of the sub-projects ?	Comparison with the planned figures	Information on procurement	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Has the scale of sub-projects cost been appropriate for the planned inputs?	Comparison with the input costs	budget and expenditure, cost sharing with the GBAO government and beneficiaries	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Will the degree of the Project achievements be enough to compensate the costs of inputs?	Comparison with the input costs	budget and expenditure, cost sharing with the GBAO government and beneficiaries	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Have the outputs been achieved with the least cost in the possible options?	Comparison with the input costs	budget and expenditure, cost sharing with the GBAO government and beneficiaries	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Are there any outputs that were realized by cooperation with other JICA schemes or with other donors?	Level of achievement	Information on the related projects/programs in GBAO	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
		Have there been any factors hindering or contributing to the efficiency of the Project?	Has there been any influence from important assumptions?	Situation analysis	Information on any relevant events in the course of Project implementation	Project records, Project staff, Expert
	Have there been any other factors affecting the efficiency?		Situation analysis	Information on any relevant events in the course of Project implementation	Project records, Project staff, Expert	Document review, interviews
	Have the project implemented more efficient than direct execution by JICA?		Situation analysis	Information on any relevant events in the course of Project implementation	JICA HQ and Tajikistan Office, AKF and MSDSP Staff, Project records, Expert's opinion	Document review, interviews
	Are there any specific features to promote efficiency in implementation by AFK/MSDSP ?					
Impacts	Is the prospect of achieving the overall goal assumed to be high?	Will the installed infrastructure benefit livelihood and living conditions of the residents?	Comparison with the baseline	Information on the sub-projects	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interview, discussion with stakeholders
		Will the public services be likely to contribute to better socio-economic conditions and livelihood?	Comparison with the baseline	Information related to the project progress and services provided by district government	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interview, discussion with stakeholders
		Is there any possible factors that hinder or contribute to the achievement of the overall goal?	Situation analysis	Information on any relevant events in the course of Project implementation	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews
	Is the project purpose still appropriated to achieve the overall goal?	Is the logical sequences between the Project purpose and the overall goal still secured?	Confirmation on the logical sequence	information on the results or activities that indicate the cause-effect relationship	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews
		Are there any additional important assumptions to be taken into account?	influence of surrounding factors on the Project implementation	Information on the relevant factors surrounding the Project	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews
	Impacts	Have there been any effect beyond the intended target groups?	Situation analysis	Information on the sample cases in target area and other areas	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews
Have there been any other ripple effects?		Has there been any unexpected effect in terms of gender, human rights, poverty gap, peace and conflicts?	Situation analysis	Information on the cases of relevant events	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews
Has there been any unexpected effect on environmental concerns in the target areas?		Situation analysis	Information on the cases of relevant events	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews	
Will there be any mechanism to guarantee the continuation of	Will the installed infrastructure be operated and maintained after the Project?	commitment of community and district government	Operational and maintenance plan of the infrastructure (including budget)	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews	
	Will the ASUDVOS, SUDVOS, and district officers continue to facilitate community development after the	commitment of community and district government	Current activities, future plan of the government, opinion of the Project staff	Project staff, Project records, Expert, SUDVOS/ASUDVOS	Document review, interviews	

Evaluation Criteria	Evaluation question		Basis of judgment	Data needed	Data source	Data collection method
	Main question	Sub question				
Sustainability	what are provided in the Project?	Will the cross-border collaboration be maintained after the Project?	commitment of oblast/district government and users	Opinions and relevant documents of both Tajikistan and Afghanistan sides	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs, CBC members	Document review, interviews
	Are the ASUDVOs/SUDVOs and the district officers prepared to continue or further expand activities initiated in the Project?	Have the oblast and district government been prepared to carry out the activities?	commitment of oblast/district government	Levels of competence, confidence, experiences and performance	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Interview, discussion with Project staff
		Has/will the necessary budget allocated for the continuous provision of training, monitoring and Are the beneficiaries willing and capable of continuing and expanding their activities initiated during the	Available financial resources	Budget plan of GBAO provincial and district government	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Interview, confirmation of documents
	Are there any factors that may affect the sustainability of the Project?	Is there any positive/negative influence on social, political, environmental and cultural aspects that may affect carrying out the activities?	commitment of community	opinions	Project staff, Project records, Expert, SUDVOs/ASUDVOs	Interview
Identification of the Necessary measures to be taken	What are the possible measures to further facilitate the Project implementation?	Is there any necessary change of inputs, activities, outputs in the remaining Project duration?	Examination of PLF/PO	observation, feedbacks, opinion of the project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Discussion with stakeholders and among the evaluation
		Is there any necessary change in terms of the Project purpose and its target indicators?	Examination of PLF/PO	observation, feedbacks, opinion of the project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Discussion with stakeholders and among the evaluation
		Is there any necessary change in terms of the implementation mechanism of the Project?	Situation analysis	observation, feedbacks, opinion of the project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Discussion with stakeholders and among the evaluation
		What are other possible measures to be taken to facilitate the implementation further?	Situation analysis	observation, feedbacks, opinion of the project stakeholders	Project records, Project staff, Expert	Discussion with stakeholders and among the evaluation




Project Name: Partial renovation of irrigation canal	
1. Basic project information:	
1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Mirzozon Shirinjonov (Sokhcharv)
1.3. Village	Chokhkandez
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	170
2.3. Population	378
2.4. Direct beneficiary hhs	63
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company (LLC)	Fund for Development of Badakhshan
3.2. Total length m/km	7 km
3.3. PDD service charges	454
3.4. Tender cost of the project	16 500
3.5. Total project amount (\$ USD)	16 954
3.6. % work completed	0%
3.7. Scope of work	Partial concreting and installation of plastic pipes in the specific spots, installation of canal locks
3.8. Ownership of the project	District irrigation water enterprise
3.9. Start / End construc. period	Apr / June 2014

3.10. Photos of existing site conditions:







Project Name: Construction of drinking water supply system	
1. Basic project information:	
1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Mirzozon Shirinjonov (Sokhcharv)
1.3. Village	Sokhcharv-1
2. Project beneficiaries	
2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	156
2.3. Population	820
2.4. Direct beneficiary hhs	70
3. Project statistic	
3.1. Construction Company (LLC)	Boziqala
3.2. Total length m/km	5 km
3.3. PDD amount services	1338
3.4. Tender cost of the project	29412
3.5. Material delivery cost	11661
3.6. Total project amount (\$ USD)	42411
3.7. % work completed	95 %
3.8. Scope of work	Land/fieldworks; Installation of plastic pipes; Partial septic devices.
3.9. Ownership of the project	District communal services
3.10. Start / End construc. period	Jan / Jun 2014




3.11. Photos of existing site conditions:

Project Name: Construction of Medical Point

1. Basic project information:		3.11. Photos of existing site conditions:
1.1. District	Shughnan	 Before
1.2. Sub District	Porshinev	
1.3. Village	Vozm	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	1	
2.2. Household	140	
2.3. Population	713	
2.4. Direct beneficiary hhs	140	
3. Project statistic:		
3.1. Construction Company (LLC)	Khudoyorbek	 Before
3.2. PDD amount services	451	
3.3. Tender cost of the project	39889	
3.4. Total amount project (\$ USD)	40340	
3.5. % work completed	50 %	
3.6. Scope of work	Dismantling of the old building; Land/fieldworks; Laying the foundation.	 Process
3.7. Ownership of the project	District health department	
3.8. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014	

Project Name: Repairs of sport hall

1. Basic project information:		3.10. Photos of existing site conditions:
1.1. District	Shughnan	 Before
1.2. Sub District	Porshinev	
1.3. Village	Kushk	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	4	
2.2. Household	402	
2.3. Population	2010	
2.4. Direct beneficiary hhs	220	
3. Project statistic:		
3.1. Construction Company (LLC)	Khudoyorbek	 Process
3.2. PDD amount services	722	
3.3. Tender cost of the project	40841	
3.4. Total project amount (\$ USD)	41563	
3.5. % work completed	75 %	
3.6. Scope of work	Roofing; Construction in door shower-room	
3.7. Ownership of the project	Youth, sport and tourism committee of district	
3.8. Start / End construc. period	Jan / Jun 2014	

Project Name: Construction of drinking water supply system

1. Basic project information:

1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Gharibsho Shahbozov (Darmorakht)
1.3. Village	Nishusp

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	191
2.3. Population	986
2.4. Direct beneficiary hhs	191

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Narzan
3.2. Total length m/km	5.4 km
3.3. PDD amount services	1071
3.4. Tender cost of the project	17296
3.5. Material delivery	14770
3.6. Total amount project (\$ USD)	33137
3.7. % work completed	30 %
3.8. Scope of work	Land working; Installation of plastic pipes; Concreting and block work in the water reservoir/pipeline
3.9. Ownership of the project	District communal services
3.10. Start / End construc. period	Apr / Oct 2014

3.11. Photos of existing site conditions:



Project Name: Partial rehabilitation of the irrigation canal

1. Basic project information:

1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Gharibsho Shahbozov (Darmorakht)
1.3. Village	Ghojak

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	178
2.3. Population	957
2.4. Direct beneficiary hhs	49



3. Project statistic:

3.1. Construction Company (LLC)	Bozikala
3.2. Total length m/km/hect. land	2 km/12 hect. land
3.3. PDD amount services	928
3.4. Tender cost of the project	25557
3.5. Total amount project (\$ USD)	26485
3.6. % work completed	30 %
3.7. Scope of work	Partial concreting and installation of plastic pipes in the specific spots, installation of canal locks
3.8. Ownership of the project	District irrigation water enterprise
3.9. Start / End construc. period	Apr / Jun 2014




3.10. Photos of existing site conditions:










**RURAL DEVELOPMENT PROJECT
IN TAJIK-AFGHAN BORDER AREA OF GORNO-BADAKHSHAN AUTONOMOUS OBLAST
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)**

Project Name: Construction of drinking water supply system		
1. Basic project information:		3.11. Photos of existing site conditions:
1.1. District	Shughnan	
1.2. Sub District	Suchon	
1.3. Village	Boghev	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	1	
2.2. Household	206	
2.3. Population	1078	
2.4. Direct beneficiary hhs	206	
3. Project statistic:		Process
3.1. Construction Company (LLC)	Narzan	
3.2. Total length m/km	13,800 km	
3.3. PDD amount services	2676	
3.4. Tender cost of the project	54271	
3.5. Material delivery	42374	
3.6. Total amount project (\$ USD)	99321	
3.7. % work completed	40 %	
3.8. Scope of work	Land/field works, Partial installation of plastic pipes	
3.9. Ownership of the project	District communal services	
3.10. Start / End construc. period	Jan / Oct 2014	

**RURAL DEVELOPMENT PROJECT
IN TAJIK-AFGHAN BORDER AREA OF GORNO-BADAKHSHAN AUTONOMOUS OBLAST
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)**

Project Name: Reconstruction of the car bridge		
1. Basic project information:		3.11. Photos of existing site conditions:
1.1. District	Shughnan	
1.2. Sub District	Suchon	
1.3. Village	Barsem	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	1	
2.2. Household	205	
2.3. Population	1066	
2.4. Direct beneficiary hhs	205	
3. Project statistic:		Before
3.1. Construction Company	Dorojnik	
3.2. Total length m/km	35 m	
3.3. PDD amount services	200	
3.4. Tender cost of the project	15986	
3.5. Total amount project (\$ USD)	16186	
3.6. % work completed	95 %	
3.7. Scope of work	Dismantling the bridge deck; Straightening metallic ropes; Devices of the new deck.	
3.8. Ownership of the project	District road operation and maintenance enterprise	Process
3.9. Start / End construc. period	Jan / Apr 2014	

Project Name: Construction of internal road connecting Bidurth - Sipinz and Khedevshal villages		
1. Basic project information:		3.11. Photos of existing site conditions:  Before
1.1. District	Shughnan	
1.2. Sub District	Suchon	
1.3. Village	Sipinz	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	3	
2.2. Household	300	
2.3. Population	1463	
2.4. Direct beneficiary hhs	200	
3. Project statistic:		 Process
3.1. Construction Company	Dorojnik	
3.2. Total length m/km	2 km	
3.3. PDD amount services	2851	
3.4. Tender cost of the project	83505	
3.5. Total amount project (\$ USD)	86356	
3.6. % work completed	75 %	
3.7. Scope of work	Laying rough the dirt road; Broadening of the road.	 Process
3.8. Ownership of the project	District road operation and maintenance enterprise	
3.9. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014	

Project Name: Construction of drinking water supply system		
1. Basic project information:		3.11. Photos of existing site conditions:  Before
1.1. District	Shughnan	
1.2. Sub District	Navobod	
1.3. Village	Debasta	
2. Project beneficiaries:		 Process
2.1. Number of VOs	1	
2.2. Household	90	
2.3. Population	602	
2.4. Direct beneficiary hhs	90	
3. Project statistic:		 Process
3.1. Construction Company	Sharif Sh. S.	
3.2. Total length m/km	4,4	
3.3. PDD amount services	779	
3.4. Tender cost of the project	21039	
3.5. Material delivery	12785	
3.6. Total amount project (\$ USD)	34603	
3.7. % work completed	60 %	
3.8. Scope of work	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.	
3.9. Ownership of the project	District communal services	
3.10. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014	

Project Name: Construction of drinking water supply system

1. Basic project information:

1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Navobod
1.3. Village	Navobod

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	90
2.3. Population	611
2.4. Direct beneficiary hhs	90

3. Project statistic:

3.1. Construction Company (LLC)	Mamadfozil
3.2. Total length m/km	4,7 km
3.3. PDD amount services	730
3.4. Tender cost of the project	16000
3.5. Material delivery	16842
3.6. Total amount project (\$ USD)	33572
3.7. % work completed	80 %
3.8. Scope of work	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
3.9. Ownership of the project	District communal services
3.10. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014

3.11. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of drinking water supply system

1. Basic project information:

1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Ver
1.3. Village	Ver

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	141
2.3. Population	730
2.4. Direct beneficiary hhs	94

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Shohnavruz
3.2. Total length m/km	11
3.3. PDD amount services	779
3.4. Tender cost of the project	36165
3.5. Material delivery	24482
3.6. Total amount project (\$ USD)	61426
3.7. % work completed	35 %
3.8. Scope of work	Land/field works; Partial installation of plastic pipes
3.9. Ownership of the project	District communal services
3.10. Start / End construc. period	Jan / Oct 2014

3.11. Photos of existing site conditions:



Project Name: Renovation of road and construction of small car bridge

1. Basic project information:

1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Vankala
1.3. Village	Bachor

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	36
2.3. Population	229
2.4. Direct beneficiary hhs	36

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Dorojnik
3.2. Total length m/km	2 km
3.3. PDD amount services	195
3.4. Tender cost of the project	12907
3.5. Total amount project (\$ USD)	13102
3.6. % work completed	70 %
3.7. Scope of work	Broadening of the road, Extension of mainstream of the mountain river.
3.8. Ownership of the project	District road operation and maintenance enterprise
3.9. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of drinking water supply system

1. Basic project information:

1.1. District	Shughnan
1.2. Sub District	Vankala
1.3. Village	Sardem

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	84
2.3. Population	618
2.4. Direct beneficiary hhs	84

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Amirhamza
3.2. Total length m/km	8 km
3.3. PDD amount services	779
3.4. Tender cost of the project	27303
3.5. Material delivery	20327
3.6. Total amount project (\$ USD)	48409
3.7. % work completed	50 %
3.8. Scope of work	Partial land/field works, Partial installation of plastic pipes.
3.9. Ownership of the project	District communal services
3.10. Start / End construc. period	Jan / Oct 2014

3.11. Photos of existing site conditions:



Project Name: Renovation of selected classrooms in the secondary school # 20

1. Basic project information:

1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Rustambek Yusufbekov (Ishkashim)
1.3. Village	Rin

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	3
2.2. Household	165
2.3. Population	961
2.4. Direct beneficiary hhs	165

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Saknon
3.2. Construction room	8 classroom within school corridor
3.3. PDD amount services	1514
3.4. Tender cost of the project	74497
3.5. Total amount project (\$ USD)	76011
3.6. % work completed	10 %
3.7. Scope of work	Demolition works is in process
3.8. Ownership of the project	District education department
3.9. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of four additional classrooms for secondary school # 7

1. Basic project information:

1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Vrang
1.3. Village	Drij

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	57
2.3. Population	530
2.4. Direct beneficiary hhs	57

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Narzan
3.2. Construction building / room	4
3.3. PDD amount services	1453
3.4. Tender cost of the project	71977
3.5. Total amount project (\$ USD)	73430
3.6. % work completed	15 %
3.7. Scope of work	Land working; lay the foundation; block work; plastering; roofing; painting; and lighting
3.8. Ownership of the project	District education department
3.9. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of Medical Point

1. Basic project information:

1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Vrang
1.3. Village	Vnukut

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	110
2.3. Population	1010
2.4. Direct beneficiary hhs	110

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Narzan
3.2. Construction room	2
3.3. PDD amount services	451
3.4. Tender cost of the project	39269
3.5. Total amount project (\$ USD)	39720
3.6. % work completed	20 %
3.7. Scope of work	Lay the foundation; block work; plastering; roofing; painting; lighting.
3.8. Ownership of the project	District health department
3.9. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Renovation of the secondary school #5

1. Basic project information:

1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Zong
1.3. Village	Zugvand

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	96
2.3. Population	962
2.4. Direct beneficiary hhs	96

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Narzan
3.2. Construction room / hallway	16
3.3. PDD amount services	2686
3.4. Tender cost of the project	124677
3.5. Total amount project (\$ USD)	127363
3.6. % work completed	15 %
3.7. Scope of work	Roofing; cementing; plastering; painting and renovation of the floor in 16 classrooms
3.8. Ownership of the project	District education department
3.9. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Dam construction for irrigation canal	
1. Basic project information:	
1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Shitkharv
1.3. Village	Darshai
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	65
2.3. Population	470
2.4. Direct beneficiary hhs	65
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	Panj
3.2. Total length m/km	12 x 3m
3.3. PDD amount services	1460
3.4. Tender cost of the project	34058
3.5. Total amount project (\$ USD)	35518
3.6. % work completed	80 %
3.7. Scope of work	Excavating; lay the foundation; block work; drilling; concreting; transportation of large stones.
3.8. Ownership of the project	District irrigation department
3.9. Start / End construc. period	Apr / Jun 2014

3.10. Photos of existing site conditions:

Project Name: Partial renovation of the irrigation canal	
1. Basic project information:	
1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Pitup
1.3. Village	Vichkut
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	36
2.3. Population	630
2.4. Direct beneficiary hhs	36
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	Asl
3.2. Total length m/km	6 km
3.3. PDD amount services	639
3.4. Tender cost of the project	23812
3.5. Total amount project (\$ USD)	24451
3.6. % work completed	100 %
3.7. Scope of work	Land/field works on broadening the canal
3.8. Ownership of the project	District irrigation department
3.9. Start / End construc. period	Apr / Jun 2014

3.10. Photos of existing site conditions:

Project Name: Renovation of the irrigation canal

1. Basic project information:

1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Pitup
1.3. Village	Pitup/Chiltok

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	69
2.3. Population	567
2.4. Direct beneficiary lhs	69

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Obodkor 2010
3.2. Total length m/km	3 km
3.3. PDD amount services	268
3.4. Tender cost of the project	10000
3.5. Total amount project (\$ USD)	10268
3.6. % work completed	0 %
3.7. Scope of work	Land/field works on broadening the canal
3.8. Ownership of the project	District irrigation department
3.9. Start / End construc. period	Apr / Jun 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of drinking water supply system

1. Basic project information:

1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	Kozideh
1.3. Village	Shanbedeh

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	56
2.3. Population	463
2.4. Direct beneficiary lhs	56

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Obodkor
3.2. Total length m/km	2.4 km
3.3. PDD amount services	894
3.4. Material delivery	8121
3.5. Tender cost of the project	12371
3.6. Total amount project (\$ USD)	21386
3.7. % work completed	60 %
3.8. Scope of work	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
3.9. Ownership of the project	Kozideh Sub district
3.10. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of drinking water supply system

1. Basic project information:

1.1. District	Ishkashim
1.2. Sub District	A.Zamirov
1.3. Village	Andarob

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	64
2.3. Population	456
2.4. Direct beneficiary hhs	64

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Narzan
3.2. Total length m/km	3.5 km
3.3. PDD amount services	1508
3.4. Tender cost of the project	15891
3.5. Material delivery	12759
3.6. Total amount project (\$ USD)	30158
3.7. % work completed	60 %
3.8. Scope of work	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
3.9. Ownership of the project	A.Zamirov Sub district
3.10. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of Medical Point

1. Basic project information:

1.1. District	Rushan
1.2. Sub District	Dodkhudoev
1.3. Village	Derushon

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	302
2.3. Population	1789
2.4. Direct beneficiary hhs	302

3. Project statistic:

3.1. Construction Company (LLC)	Sanobod
3.2. Construction room	2
3.3. PDD amount services	451
3.4. Tender cost of the project	36292
3.5. Total amount project (\$ USD)	36743
3.6. % work completed	10 %
3.7. Scope of work	Lay the foundation, block work, plastering, roofing, painting, lighting
3.8. Ownership of the project	District health center
3.9. Start / End construc. period	Apr / Oct 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Roofing of the secondary school # 12

1. Basic project information:

1.1. District	Rushan
1.2. Sub District	Pastkhuf
1.3. Village	Pastkhuf

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	213
2.3. Population	1246
2.4. Direct beneficiary hhs	213

3. Project statistic:

3.1. Construction Company (LLC)	Akmal
3.2. Total msq. construction	845 msq
3.3. PDD amount services	103
3.4. Tender cost of the project	16770
3.5. Total amount project (\$ USD)	16873
3.6. % work completed	95 %
3.7. Scope of work	Replacement of asbestos cement roofing for metal sheet
3.8. Ownership of the project	Secondary school # 12
3.9. Start / End construc. period	Jan / Mar 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Completion of construction of the road connecting Pastkhuf and Khuf villages

1. Basic project information:

1.1. District	Rushan
1.2. Sub District	Pastkhuf
1.3. Village	Khuf

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	200
2.3. Population	1023
2.4. Direct beneficiary hhs	200

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Panj company
3.2. Total length m/km	3.5
3.3. PDD amount services	1412
3.4. Tender cost of the project	13400
3.5. Total amount project (\$ USD)	14812
3.6. % work completed	10 %
3.7. Scope of work	Land works, drilling-and-blasting, concreting and block works
3.8. Ownership of the project	Local self governance body of sub district
3.9. Start / End construc. period	Apr / Jun 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Rehabilitation of the building and supply canal of small Hydro Power Station

1. Basic project information:

1.1. District	Rushan
1.2. Sub District	Savnob
1.3. Village	Pasor

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	3
2.2. Household	117
2.3. Population	678
2.4. Direct beneficiary hhs	117

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	AHU Rushan-Sarez
3.2. Building rehabilitation (HPS with 15 kw), partial renovation canal	1 room
3.3. PDD amount services	515
3.4. Tender cost of the project	30401
3.5. Total amount project (\$ USD)	30916
3.6. % work completed	0 %
3.7. Scope of work	Block work, plastering, roofing, painting, lighting
3.8. Ownership of the project	Local self governance body of sub district
3.9. Start / End construc. period	May / Sep 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of new classrooms for secondary school # 2 in Deh village

1. Basic project information:

1.1. District	Rushan
1.2. Sub District	M. Abdulvosiev
1.3. Village	Deh

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	93
2.3. Population	424
2.4. Direct beneficiary hhs	93

3. Project statistic:




3.1. Construction Company	Akmal
3.2. Construction room	4
3.3. PDD amount services	1453
3.4. Tender cost of the project	89089
3.5. Total amount project (\$ USD)	90542
3.6. % work completed	10 %
3.7. Scope of work	Land working, lay the foundation, block work, plastering, roofing, painting, lighting
3.8. Ownership of the project	Secondary school # 2
3.9. Start / End construc. period	Apr / Oct 2014

3.10. Photos of existing site conditions:






Project Name: Reconstruction of tank of Ravmed small hydro power station

3.10. Photos of existing site conditions:

1. Basic project information:		
1.1. District	Rushan	
1.2. Sub District	Bartang	
1.3. Village	Ravmed	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	1	
2.2. Household	63	
2.3. Population	333	
2.4. Direct beneficiary hhs	63	
3. Project statistic:		
3.1. Construction Company	Shark	
3.2. Tank construction (HPS with 20kw)	3m/8m	
3.3. PDD amount services	1031	
3.4. Tender cost of the project	12467	
3.5. Total amount project (\$ USD)	13498	
3.6. % work completed	15 %	
3.7. Scope of work	Land works, concreting and block works, welding	
3.8. Ownership of the project	Local self governance body of sub district	
3.9. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014	

Project Name: Construction of inverted siphon for irrigation canal

3.10. Photos of existing site conditions:

1. Basic project information:		
1.1. District	Rushan	
1.2. Sub District	Bartang	
1.3. Village	Ravivd	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	1	
2.2. Household	41	
2.3. Population	204	
2.4. Direct beneficiary hhs	41	
3. Project statistic:		
3.1. Construction Company	Obi Zulol	
3.2. Total length m/km	800m	
3.3. PDD amount services	1022	
3.4. Tender cost of the project	12034	
3.5. Total amount project (\$ USD)	13056	
3.6. % work completed	60 %	
3.7. Scope of work	Land works, installation of plastic pipes, concreting and block work	
3.8. Ownership of the project	Local self governance body of sub district	
3.9. Start / End construc. period	Apr / Jun 2014	

Project Name: Construction of the building and reconstruction of canal for hydro power station

1. Basic project information:

1.1. District	Rushan
1.2. Sub District	Basid
1.3. Village	Basid

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	142
2.3. Population	678
2.4. Direct beneficiary hhs	142

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	AHU Rushan-Sarez
3.2. Building construction (HPS 75 kw & partial renovation canal)	1room, 2 km canal
3.3. PDD amount services	516
3.4. Tender cost of the project	24145
3.5. Total amount project (\$ USD)	24661
3.6. % work completed	20 %
3.7. Scope of work	Land working, lay the foundation, block work, plastering, roofing, and concreting
3.8. Ownership of the project	Local self governance body of sub district
3.9. Start / End construc. period	May / Sep 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Renovation of the therapeutics department at the district hospital

1. Basic project information:

1.1. District	Rushon
1.2. Sub District	Rushon
1.3. Village	Vomar

2. Project beneficiaries:

2.1. Number of VOs	57
2.2. Household	4766
2.3. Population	26249
2.4. Direct beneficiary hhs	4766

3. Project statistic:




3.1. Construction Company	Sanobod
3.2. Renovation of the building	9,5 m/49 m; 10 patient rooms; corridor & toilet
3.3. PDD amount services	722
3.4. Tender cost of the project	82552
3.5. Total amount project (\$ USD)	83274
3.6. % work completed	65 %
3.7. Scope of work	Demolition works; Paneling the walls and ceilings of drywall. Replacement of window units, doors; plastering, renovation of the electrical, heating and water system of building
3.8. Ownership of the project	District health center
3.9. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014

3.10. Photos of existing site conditions:






Project Name: Construction of drinking water supply system	
1. Basic project information:	
1.1. District	Vanj
1.2. Sub District	Vodkhud
1.3. Village	Buniga
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	50
2.3. Population	217
2.4. Direct beneficiary hhs	50
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	Mullo Safar
3.2. Total length m/km	3.6 km
3.3. PDD amount services	730
3.4. Tender cost of the project	12239
3.5. Material delivery	9988
3.6. Total amount project (\$ USD)	22957
3.7. % work completed	95 %
3.8. Scope of work	Land/field works; Partial installation of plastic pipes.
3.9. Ownership of the project	Local self governance body of sub district
3.10. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014

3.11. Photos of existing site conditions:

Project Name: Construction of the Medical Point	
1. Basic project information:	
1.1. District	Vanj
1.2. Sub District	Mahmadullo Abdulloev/ Vanj
1.3. Village	Gishkhon
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	196
2.3. Population	1330
2.4. Direct beneficiary hhs	196
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	Kvazar
3.2. Building construction /room	4
3.3. PDD amount services	451
3.4. Tender cost of the project	34433
3.5. Total amount project (\$ USD)	34884
3.6. % work completed	50 %
3.7. Scope of work	Land/fieldworks; Laying the foundation; Laying the stone walls.
3.8. Ownership of the project	District health center
3.9. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014

3.10. Photos of existing site conditions:

Project Name: Construction of public toilet	
1. Basic project information:	
1.1. District	Vanj
1.2. Sub District	Mahmadullo Abdulloev/ Vanj
1.3. Village	B.Gafurov
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	60
2.3. Population	365
2.4. Direct beneficiary lhs	60
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	Sadbarg
3.2. Building construction	1 WC for M/W
3.3. PDD amount services	1443
3.4. Tender cost of the project	10758
3.5. Total amount project (\$ USD)	12201
3.6. % work completed	100 %
3.7. Scope of work	Land/fieldworks; Digging a hole; Laying the stone walls
3.8. Ownership of the project	District communal services
3.9. Start / End construc. period	Jan / Jun 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Before



Process



Process

Project Name: Construction of drinking water supply system	
1. Basic project information:	
1.1. District	Vanj
1.2. Sub District	Jovidon
1.3. Village	Rav
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	62
2.3. Population	474
2.4. Direct beneficiary lhs	62
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	Mullo Safar
3.2. Total length m/km	6.5 km
3.3. PDD amount services	1460
3.4. Material delivery	15515
3.5. Tender cost of the project	15509
3.6. Total amount project (\$ USD)	32484
3.7. % work completed	50 %
3.8. Scope of work	Land/field works; Partial installation of plastic pipes
3.9. Ownership of the project	Local self governance body of sub district
3.10. Start / End construc. period	Jan / Jul 2014

3.11. Photos of existing site conditions:



Process



Project material delivery

**RURAL DEVELOPMENT PROJECT
IN TAJIK-AFGHAN BORDER AREA OF GORNO-BADAKHSHAN AUTONOMOUS OBLAST
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)**

Project Name: Construction of car bridge and renovation of road Van- Van to Poi Mazor

1. Basic project information:

- 1.1. District Vanj
- 1.2. Sub District Rovand
- 1.3. Villages Van-Van & Poimazor

2. Project beneficiaries:

- 2.1. Number of VOs 2
- 2.2. Household 60
- 2.3. Population 654
- 2.4. Direct beneficiary lhs 60

3. Project statistic:

- 3.1. Construction Company Badakhshonroh
- 3.2. Total length m/km 10m car bridge & 3km partial road renovation
- 3.3. PDD amount services 2021
- 3.4. Tender cost of the project 44514
- 3.5. Total amount project (\$ USD) 46535
- 3.6. % work completed 35 %
- 3.7. Scope of work Partial excavation works, concreting, leveling, land works, lay and concreting foundation, installation of metal ware
- 3.8. Ownership of the project District road operation and maintenance enterprise
- 3.9. Start / End construc. period Jan / Jul 2014

3.11. Photos of existing site conditions:



**RURAL DEVELOPMENT PROJECT
IN TAJIK-AFGHAN BORDER AREA OF GORNO-BADAKHSHAN AUTONOMOUS OBLAST
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)**

Project Name: Partial rehabilitation of domestic road of Jamag and Andarbag villagers

1. Basic project information:

- 1.1. District Vanj
- 1.2. Sub District Yazgulom
- 1.3. Village Jamag

2. Project beneficiaries:

- 2.1. Number of VOs 2
- 2.2. Household 280
- 2.3. Population 1211
- 2.4. Direct beneficiary lhs 280

3. Project statistic:

- 3.1. Construction Company Badakhshonroh
- 3.2. Total length m/km 5 km
- 3.3. PDD amount services 2186
- 3.4. Tender cost of the project 41708
- 3.5. Total amount project (\$ USD) 43894
- 3.6. % work completed 80 %
- 3.7. Scope of work Partial excavation works, concreting, leveling, land works, lay and concreting foundation, installation of metal ware
- 3.8. Ownership of the project District road operation and maintenance enterprise
- 3.9. Start / End construc. period Jan / May 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: River bank stabilization

1. Basic project information:

1.1. District	Vanj
1.2. Sub District	Tekhary
1.3. Village	Chikhokh

2. Number of beneficiaries:

2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	70
2.3. Population	571
2.4. Direct beneficiary hhs	70

3. Project statistic:

3.1. Construction Company	Ganj
3.2. Total length m/km	200 m
3.3. PDD amount services	1095
3.4. Tender cost of the project	12060
3.5. Total amount project (\$ USD)	13155
3.6. % work completed	40 %
3.7. Scope of work	Land works, block work, soil protection measures
3.8. Ownership of the project	Tekhary Sub district
3.9. Start / End construc. period	Apr / Jun 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of footbridge

1. Basic project information:

1.1. District	Vanj
1.2. Sub District	Tekhary
1.3. Village	Ravgada

2. Number of beneficiaries:

2.1. Number of VOs	2
2.2. Household	70
2.3. Population	350
2.4. Direct beneficiary hhs	70

3. Project statistic:

3.1. Construction Company (LLC)	Safari 2
3.2. Total length m/km	50m
3.3. PDD amount services	2021
3.4. Tender cost of the project	46421
3.5. Total amount project (\$ USD)	48442
3.6. % work completed	90 %
3.7. Scope of work	Land works, lay and concreting foundation, installation of metal ware
3.8. Ownership of the project	Local self governance body of sub district
3.9. Start / End construc. period	Jan / Apr 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Project Name: Construction of siphon irrigation system	
1. Basic project information:	
1.1. District	Darvaz
1.2. Sub District	Nulvand
1.3. Village	Yoged
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	115
2.3. Population	708
2.4. Direct beneficiary hhs	96
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	MG Kompaniya
3.2. Total length m/km	3.5 km
3.3. PDD amount services	2555
3.4. Tender cost of the project	70054
3.5. Total project amount (\$ USD)	72609
3.6. % work completed	95 %
3.7. Scope of work	Land/field works on broadening the canal; Installation of the irrigation system.
3.8. Ownership of the project	District water user department
3.9. Start / End construc. period	Jan / Jun 2014

3.10. Photos of existing site conditions:



Process





Project Name: Construction of four additional classroom at primary school # 44	
1. Basic project information:	
1.1. District	Darvaz
1.2. Sub District	Saghirdasht
1.3. Village	Langaro
2. Project beneficiaries:	
2.1. Number of VOs	1
2.2. Household	27
2.3. Population	189
2.4. Direct beneficiary hhs	27
3. Project statistic:	
3.1. Construction Company	Investstroy
3.2. Building construction / room	4
3.3. PDD amount services	1454
3.4. Tender cost of the project	90058
3.5. Total project amount (\$ USD)	91512
3.6. % work completed	0%
3.7. Scope of work	Land working, lay the foundation, block work, plastering, roofing, painting, installation of electricity system
3.8. Ownership of the project	District education department
3.9. Start / End construc. period	May / Oct 2014

3.10. Photos of existing site conditions:





Meeting of MSDSP GBAO & District Managers with Isror Isrorov - Head of JCC & Saidburhoni Saidrahmon - Governor of Darvoz district on CBRD project progress in Darvaz area.

Project Name: Construction of sub-district level Medical Ambulatory

1. Basic project information:		3.10. Photos of existing site conditions:
1.1. District	Darvaz	
1.2. Sub District	Vishkhary	
1.3. Village	Jorf	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	6	
2.2. Household	341	
2.3. Population	2460	
2.4. Direct beneficiary hhs	341	
3. Project statistic:		
3.1. Construction Company	SU-4 (Construction Department)	
3.2. Building construction / room	4	
3.3. PDD amount services	1196	
3.4. Tender cost of the project	59394	
3.5. Total project amount (\$ USD)	60590	
3.6. % work completed	50 %	
3.7. Scope of work	Dismantling of the old building; Land/fieldworks; Laying the foundation.	
3.8. Ownership of the project	District first aid medical & sanitation services	
3.9. Start / End construc. period	Apr / Oct 2014	

Project Name: Construction of additional classroom at main school # 45

1. Basic project information:		3.10. Photos of existing site conditions:
1.1. District	Darvaz	
1.2. Sub District	Kalai-Khumb	
1.3. Village	Sangevni Daroz	
2. Project beneficiaries:		
2.1. Number of VOs	1	
2.2. Household	56	
2.3. Population	433	
2.4. Direct beneficiary hhs	56	
3. Project statistic:		
3.1. Construction Company	Darvoz Sokhtmon	
3.2. Building construction / room	4	
3.3. PDD amount services	1453	
3.4. Tender cost of the project	88685	
3.5. Total project amount (\$ USD)	90138	
3.6. % work completed	45 %	
3.7. Scope of work	Dismantling of the old building; Land/fieldworks; Laying the foundation District education department	
3.8. Ownership of the project	District education department	
3.9. Start / End construc. period	Apr / Aug 2014	

5. 面談者リスト

面談者リスト

	部署・職位	氏名
ゴルノ・バダフシャー自治州 (GBAO) 政府		
1	Governor of GBAO	Mr. Shodikhon Jamshed
2	Deputy Governor of GBAO	Mr. Isror Isrorov
ゴルノ・バダフシャー自治州 (GBAO) シュグナン県		
1	Governor of Shugunan District,	Mr. Aziz Giyoev
2	1st Deputy Governor, TWG Head	
3	Head of Investment and Business Management, TWG member	
4	Head of Communal Servicesm, TWG member,	
5	Head of Social and Labor dept & Irrigation dept. 兼務、TWG member	
6	Head of Economic development dept., TWG member	
7	District architect, TWG member	
アガハーン財団タジキスタン事務所 (AKF-T)		
1	Chief Executive Officer	Mr. Yodgor Faizov
2	Senior Rural Development Programme Officer	Ms Beate Schoreit
3	Chief Finance Officer,	Ms. Julieta Alidodkhonova
山岳地域開発支援プログラム (MSDSP)		
1	General manager of MSDSP Central Office (CO)	Mr Kishwar Abdulalishoev
2	Regional manager MSDSP GBAO	Mr Bakhtiyor Azizmamadov
3	Programme Coordinator, Participatory Governance	Mr Ghulomsho Lutfulloev
4	Cross-boarder programme officer	Mr Saidaziz Sholamov
5	Cross-boarder engineer	Mr Navruz Akdodov
6	Institutional development programme officer	Mr Mamadsaid Mamadsaidov
7	Monitoring and Evaluation officer	Mr Adabjon Abdukodirov
8	MSDP district manager, Shugnan district	Mr. Peruz Fidoev
9	MSDP district manager, Darvaz district	Ms Mohijahon Namakova
10	MSDP district engineer, Darvaz district	Mr. Mamadnazar Kabirov

	部署・職位	氏名
村落開発社会組合連合 (AUDVOs)		
1	ASUDVO manager (Shugnan District)	Mr Gulomnabi Bakhtibekov
2	ASUDVO manager (Ishkashim District)	Mr Nekusho Saodatsairov
3	ASUDVO manager (Vanj District)	Mr Qurbon Bekov
4	ASUDVO manager (Darwaz District)	Mr. Saidali Qalandarov
5	ASUDVO manager (Rushan District)	Mr Raimbekov Yormamad
国連開発計画 (UNDP) Tajikistan		
1	Assistant Resident Representative, Head of Programme Unit	Mr. Mubin Rustamov
2	Programme Manager	Mr. Firuz Khamidov
3	Senior Local Governance Officer	Mr. Jurabek Sattorov
アガハーン財団アフガニスタン事務所 (AKF-A)		
1	Program Manager, Regional Cooperation, AKF-A Khorog	Mr. Arif Ahmed
2	Human Institution Development officer, AKF-A Kabul	Mr. Nicholas Mcgrath
3	Project Management Support Officer, Donor relations, AKF-A Khorog	Ms. Tahira Nizari
4	Financial Management Officer for Northern Region, AKF-A Khorog	Mr. Amir Rali
JICAタジキスタン支所		
1	タジキスタン支所長	末田 和也
2	タジキスタン支所 企画調査員	村上 雅代

